## プロローグ

# 中学生の学習内容は 本当に必要なのか

東京成徳短期大学教授 深谷昌志

## <<< 学力が欠如したままの成長 >>>

筆者は昭和8年生まれなので、変則的な勉強歴をたどっている。小学4年生の頃から第2次大戦が激しくなり、空襲もあって、落ち着いて勉強する雰囲気ではなかった。5年生の終わりに疎開し、戦争が終わったのが6年生の夏だった。食べ物不足で勉強どころではなかったが、旧制の中学に入学した。物資の不足で、配られた紙を折って自分の教科書を作ったくらいだから、勉強する以前の状態だった。その後、633制の導入によって、学習内容が変わり、さらに混乱が続いた。

旧制中学に入っていたので、そのまま高校 入試を受けずに、6年間の中高校生活を終わった。そして、大学入試も進学適正検査まっ さかりの世代なので、知能検査のようなもの を大きくカウントしてもらって、進学した。

こうしたキャリアをたどっているので、う

そみたいな話だが、きちんとした勉強をした 経験がない。山脈や盆地などの学習はしてい ないし、歴史の勉強は江戸時代までを2度習 っただけだ。化学方程式や生物の合成などは むろんのことだが、理科の実験をした思い出 もない。音楽や図画にいたっては、小学校程 度のことも習っていない。

そうした経験を積んでいるので、学力とは何かと考えることが多い。変な話だが、現在でも、基礎学力がついていないと思うことがある。若い人が知っている社会科や理科の知識が欠落しているからだ。だからといって、知識の欠落をそれほど引け目には思っていない。必要があったら覚えればよいと思えるからだ。そうはいっても、まったく音楽を習っていないので長調も短調もわからない。絵の具の混ぜ方も知らない。そういうときに基礎

を学んでおけばよかったと思う。

いずれにせよ、個人的な経験からしても、 学校での勉強はそれほど役に立たないし、必 要になったら学習すればいいと思っている。 ところが、学校では学習内容は犯すことので きない神聖なもののように考えられ、それを 身につけないと、人生から落伍するかのよう にプレッシャーをかけられる。しかし、学習 内容はそんなに絶対的に必要なものなのであ ろうか。

## 〈〈〈 実証性に欠ける論議 〉〉〉

大学院の頃、教育課程の研究室に在籍していた。教育社会学は個人的に好きで、教授に私淑して、研究室の同人に入れてもらったが、教育課程が最初の専攻領域だった。その頃、アメリカの教育課程の編成を調べた。そしてアメリカでは20世紀のはじめから、地域ごとに学校で何を教えたらよいかを実証的に検討しているのを知った。特に教育課程の編成権が市町村に委ねられているので、それぞれの教育委員会なりにカリキュラム編成の根拠を示す必要があった。スコープ・シークエンス法とか青少年欲求法など、名前は様々だが、おとなになるために必要な知識や技術の体系を設定する。そして、その内容を学年別に分けて、学習計画を定める形は共通している。

日本の場合、明治の近代学校が誕生して以来、教育課程の編成権は文部省が握っていた。 そして、第2次大戦後の教育民主化の動きの中でも、コア・カリキュラムがさかんだった数年を除き、教育課程編成権を地方や学校が持つことは考えられなかった。

それだけに、教育課程に組み込まれている 内容が本当に必要なのかについての実証的な 検討はなされていない。

今回の教育課程の改訂で、 学校週5日制の完全実施によって学習時間が短縮されるのに加え、 総合の時間の設定で、他教科に割ける時間が減った、 知識伝達型から問題解決型へ学力観が転換したなどを受けて、主要

教科の内容が削減された。

かねてより筆者は、知識伝達型の教育は生徒に不必要な負担を負わせるだけだと指摘してきた。それだけに、今回の改訂の方向には 賛成だが、そうした筆者でも、本当にこれだけ教材を削減していいのか心配になる。議論はさかんだが、その議論が実証性に欠け、本当はどうなのかに確信を持てないのである。

本モノグラフでは、親たちに問題を解いて もらい、そうした問題を習うことをどう評価 するかを考えてもらった。結果は本文に詳し いが、一口にいって、「基本的なものは教え てほしいが、基本から離れているものは習わ なくていい」につきる。式の計算や日本国憲 法、電流や抵抗などの学習は必要だが、理科 の火成岩の生成や国語の古今和歌集はいらな いという評価である。正直にいって、親なり によく考えているという印象を持った。基本 的には親の評価に納得できるものが多い。

もちろん、だからといって、親の意見をふまえて、教育課程の編成を考えようという気持ちはない。今回の調査もそのひとつだが、教育内容について様々な形の実証研究を行いそうしたデータをふまえて、学力の議論を重ねてはどうかと思う。教育論はさかんだが、教育の中枢である教育課程についての議論が少ない。今回の調査がそうした学力論への実証研究のステップになればと願っている。



## 調査レポート

## 中学の勉強は必要なのか

~ 親たちの意見 ~





- ① 中学校で学ぶ教科に対する親たちが考える必要性は、「とても必要」の数値が最も高い教科は「国語」76.2%、次いで「英語」66.5%、「数学」「社会」はほぼ5割。「美術」「音楽」の芸術教科になると2割にすぎない。「道徳や学級活動」が「とても必要」と答えた割合は54.3%、「数学」や「社会」の必要性を上回る。(p.19表13)
- ② 全項目を通して、最も難しい項目は数学の「二次関数のグラフ上の点Pの座標を相似な三角形の比の関係から求める(65.2%)それに関連した二次関数の項目で「動く座標点を通る直線の式を三角形の面積を条件として求める」(64.6%)であり、最も必要ないと考える学習でもある。(p.33 表28)
- ③ 漢字を読むことは、それほど難しくなく、おおむね必要と考えている。漢字を書く

- ことでは、「克己心」「翻す」「窮地」は「とても+わりと難しい」漢字であり、やさしい漢字は「勧める」「構える」「作法」、難易度が上がるにつれ、必要性は低下する。(p.22 表14)
- ④「尊敬・謙譲・ていねい語の理解」は、「あまり+ぜんぜん難しくない」と答えた親が5割台であるが、生徒の正答率は7~8割。 学習の必要性は7割。(p.23 表15)
- ⑤ 随筆や小説から作者の考え方や人生観などを読みとる学習を必要だと考える親たちは5割にとどまり、漢字の読み書きに比べるとかなり低い。難易度は「あまり+ぜんぜん難しくない」と答える親たちがほぼ4割。この問題の生徒の正答率の平均値は、随筆33.0%、小説39.2%。親たちが考える難易度より生徒たちの方が苦手意識を持っている。(p.24 表16、p.25 表17)

- ⑥「古語の意味や助詞・助動詞の使い方を理解し古典を読む」学習は、「あまり+ぜんぜん難しくない」と感じている親は3~4割、生徒の正答率も平均3割。学習の必要性は25%程度。「特に必要とは思わないが、知っていてもよい」割合は「必要である」数値をかなり上回る。(p.26 表19)
- ⑦「資源の開発や産業の発達と環境問題」については、親も子も関心が高く、必要性の高い学習である。しかし、「イギリス産業革命が生活に与えた影響と同じ時代の日本の様子」「環境破壊以外の地球的規模で取り組む社会問題」「社会問題に取り組むための条例の制定の仕方」など、世界の歴史や日本の歴史と関連づけたり、法的な対処の方法を理解する学習は難易度も高く、生徒の正答率は低くなる。(p.28 表21)
- ⑧「地方自治」については、「条例の制定・改廃などを求める権利」を「とても+わりと難しい」と考える親は約5割、「少し難しい」を合わせると8割に達する。「地方議会の解散請求権」「地方自治に直接民主制が導入されていることを理解する」を難しい学習と感じている親も4割、必要性も高く6割を超える。生徒の正答率は低く、理解できていない。
- 「日本国憲法と国会のしくみ」を必要な学習と考える親は7割。しかし、難易度が高い学習でもある。特に「衆議院の優越」の内容に関する学習は、難易度が高く、生徒の正答率も14.1%とかなり低い。(p.29 表23、p.30 表24)

- ⑨ 数学の基礎的な計算問題はやさしい問題であり、必要な学習と考えられている。生徒の正答率も「因数分解」と「体積を求める公式」を除けば、7~9割と高い。(p.31 表25)
- ⑩「相似比・面積比を使って三角形の面積を求める」ことが「とても+わりと難しい」52.4%、「2つの三角形が相似であることを証明する」は48.3%、「2つの三角形の面積比を求める」44.7%と、図形の学習はかなり難しい問題と感じている。「必要である」割合もほぼ4割にとどまる。生徒たちの正答率をみても、「相似の証明」2.8%、「相似比や面積比を使って三角形の面積を求める」ことを理解している者は11.9%にすぎない。(p.33 表27)
- ① 数学で最も難易度の高い必要でないと考える学習は、「二次関数のグラフ上の点 P の座標を相似な三角形の比の関係から求める」、それに関連した二次関数の項目で「動く座標点を通る直線の式を三角形の面積を条件として求める」である。しかし、これは高校受験にはよく出題される問題であり、義務教育修了時の「必要な学力」と「受験の学力」とに大きなギャップを感じる。(p.33 表28)
- ⑫「炭酸ナトリウムの分解」や「水溶液の性質」はやさしい問題であるが、それほど必要とは考えていない。生徒の正答率は高い。実験・観察を通して理解する学習は、体験を伴う楽しい授業であり、学習意欲を高めている。(p.34 表30、p.35 表31)

- ③「電熱線と電流・抵抗」の学習を「とて も+わりと難しい」と答える親は3割、そ してほぼ5割の親が必要だと答えている。 理科の学習の中では必要性の高い学習であ る。(p.35 表32)
- ④ 理科で最も必要性の高い学習は、「ヒトの機能と働きを理解する」学習で「必要である」割合は6割を超える。難易度は「とても+わりと難しい」と感じる親は2~3割、むしろ「あまり+ぜんぜん難しくない」がほとんどの項目で5割を超え、やさしい学習と感じている。生徒の正答率は「脳組織の名称」が68.2%、「記憶・理解の中枢神経」56.8%と記憶力に重点をおく内容は定着率が高い。他の項目では2~4割程度の正答率で、親と子で難しさの認識に差がある。(p.38表37)
- ⑤ 最も必要性の低い学習は「火成岩の組織や生成」で「とても+わりと難しい」が4割を超える。特に、「アンザン岩に含まれる鉱物」「アンザン岩と同じ斑状の組織を持つ岩石」の項目ではほぼ5割の親たちが難しいと感じている。生徒の正答率をみると、「アンザン岩に含まれる鉱物」はほとんどできていないが、「アンザン岩のでき方」(53.4%)、「アンザン岩と同じ斑状の組織を持つ岩石」(60.2%)はかなり理解している。(p.39表38)
- ®「発音」について、親たちは「必要である」と8割が感じ、「あまり+ぜんぜん難しくない」が7割に達する。生徒の正答率も高い。「文法」についても必要性は高く7割

- を超え、また、やさしいと感じている学習である。(p.40 表41)
- (⑦「英文を読んで内容を理解する」問題はそれほど難しい問題だと感じていない。必要性も高い学習である。しかし、生徒の正答率は低い。英文を読んで内容を理解し、答えを導く形式の問題は、英語力とともに読解力と表現力を必要とする。国語も同様であるが、なかなか定着しない学習である。英語はすべての学習内容で5割を超える必要性の高い学習である。(p.41 表43)
- ⑱「必要な学習」は、「漢字の読み書き」 「尊敬・謙譲・ていねい語の使い方」「日本の 国の位置や地形の理解」「資源の開発・産業 の発展と環境問題」「地方自治」「日本国憲法 と国会の仕組み」「式の計算や公式」「簡単な 方程式」「ヒトの機能や働き」「電熱線と電 流・抵抗」「天気図の理解」があげられる。日 常生活との関連が深く、自分たちの生活の基 礎的な知識や理解につながっている。逆に、 「必要でない学習」は、「『克己心』が書ける」 「万葉集や古今和歌集の作者」「太田道灌と同 時代の人物」「二次方程式の解の公式」「一次 関数・二次関数」「火成岩の組織や生成」が 並ぶ。これらの学習は日常生活に特に必要と 判断されておらず、また、難易度の高い学習 が多い。「特に必要とは思わないが、知ってい てもよい学習」は、「修飾語・被修飾語」「万葉 集や古今和歌集の作者」「古語の意味や助 詞・助動詞の使い方を理解し古典を読む」 「小説を読み作者の人生観を理解する」「降水 量と気温から地域の特徴を知る」「因数分解」

「式の値」「炭酸ナトリウムの分解」「水溶液の性質」「磁石と電流の関係」「地震観測記録の理解」「ホニュウ類の進化」「太陽系と星座」などがあげられる。

これらは日常生活上、特に知らなくても困らないが、古典や小説を読む、天体観測をするなど、興味関心、趣味的なことに重点を置いた、人間生活を豊かにする学習と考えられる。なお、英語についてはすべての項目で「必要性」の高い学習と考えられる。

- ⑨ 行事の中で親が「とても必要」と思う もので数値の高いものは「卒業式」入学式」 そして「修学旅行」である。この3つは 「とても必要」と「わりと必要」を合わせる と80%を超える。(p. 44 図4)
- ② 親たちが学校に求めているものは、「社会人としての常識」「思いやりや優しさ」「正直さや誠実さ」「けんかしても友人同士で解決できる力」で、「とても教えてほしい」が70%を超える。学力だけでなく、社会で必要な力を求めている様子がはっきりうかがえる。(p.45 図5)
- ② 今後の中学校教育に求められるものは「学校以上に、家庭での親子関係やしつけを充実する努力が必要だ」に「賛成」と答えた人が55.9%、「どちらかといえば賛成」を加えると87.3%と、むしろ家庭教育の重要性があげられた。「生きる力」の育成は「賛成+どちらかといえば賛成」を合わせ67.7%、知識重視から意欲重視の学力観への発想の転換がみられる。(p.46 図7)

### [調査概要]

#### 親調査

対象 東京・埼玉の中学3年生の親 時期 1998年7月~10月 方法 学校通しによる質問紙調査 サンプル数 357名

#### 生徒調査

対象 東京・千葉・埼玉の高校1年生 時期 1998年5月~6月 方法 学校通しによる質問紙調査 サンプル数 239名

## 第1章 調査概要とサンプルの属性



新しい学力観では、生涯学習体系の中で生徒たちの自ら学ぶ意欲が重視された。そして、その意欲を支える基礎的基本的な知識の伝達の重要性も強調された。

中学生を取り巻く社会環境をみると、急激な情報化の進展が生徒たちの生活に大きな変化をもたらしている。例えば、変換キーをたたくことで漢字が現れ、漢字は読むことさえできれば書くことはワープロがやってくれる。さらに、字が上手にきれいに書けることはあまり問題にならない。パソコンやワープロを少し工夫すれば印刷にも劣らない仕上がりが期待でき、イラストも容易に取り込める。数学では電卓を使えば、かけ算・わり算から面倒なの計算までも、簡単に誰でも正解を求めることができる。また、簡単な旅行用英会話ならば、英会話スクールで6か月もあれば修得でき、英語・フランス語・ドイツ語など変換可能な携帯機器も普及している。

さらに、世界情勢の変化も著しく、ベルリ

ンの壁の崩壊とソビエト連邦の消滅、イラク問題、アフリカやコソボなど地域紛争による民族の分裂・独立など、10年前に学習した知識は歴史上の出来事となり、それらの国を地図上に探すことが意味を持たなくなっている。一方、国内では政治のあり方の変化、エイズ、ジェンダー、〇-157、ダイオキシン、環境ホルモン、バブル崩壊など、次々と出現する社会問題に新しい知識と対応が求められている。

こうしためまぐるしく変化する社会情勢と 情報化社会の中で、生徒たちに知識を伝達す ることがどれほどの意味を持つのか疑問に感 じることも多い。中学生にとって基礎学力と は、生きる力とは何なのだろうか。義務教育 修了時に身につけるべき必要な学力とは何な のだろうか。2002年からの学校完全週5日 制の実施にともない、授業数の減少に伴って 教科内容の削減が教育課程審議会から答申さ れ、21世紀に向けた学習指導要領が昨年12 月に示された。

何を教育すべきか教育課程審議会で検討され教科内容の削減が示されたものの、「中学生が身につける学力とは何か」学習の当事者である中学生や親たちの意見は広く聞かれていないし、「どのようなことが必要な学力なのか」親たちからの論議もなされていないのが現状である。

そこで、本調査では、親たちを対象に中学生が学ぶ学習の難易度と必要性をたずね、親たちが、子どもたちにどのような学力を必要とし、中学校に何を期待しているのかを明らかにすることを試みようとした。

調査にあたり、親たちから、「子どもが小学生の時は勉強を見てやったり授業参観があったりして、どんな勉強をしているか大体わかっていたが、中学生になると授業参観も少なくなり、その上勉強が難しくなって親が見てやれないので、学習内容はほとんどわからない」という声が多く聞かれた。そこで結果の信頼性をより高めるために、中学生の学ぶ内容を具体的な問題形式で示し、まず親たちに関心のある2教科の問題を解いてもらい、中学生がどのような学習をしているのか理解してもらってから、アンケートに答えてもらう方法を採った。

さらに、メインテーマである親調査を補うために、生徒たちが中学生の学習をどのくらい理解しているかたずねた。生徒調査は親たちの調査項目をテスト形式にし、高校1年生に解いてもらって各項目の正答率を数値で示し、合わせて教科の必要性なども尋ねた。親たちの学習の難易度と必要性、生徒たちの学習の定着率を比較分析することで、中学生に望まれる「学力観」を探ることとした。それだけに、各教科の学習項目の妥当性が問われるので、慎重に検討を重ねた。

ここで調査項目作成の経過に簡単に触れて おきたい。まず、中学校の先生方から、生徒 たちが繰り返し間違えやすい学習はどんな内

容なのか、中学生のほぼ8割くらいが正しく 答えられる内容とはどんな学習なのか、各教 科の授業中の様子などをヒアリングした。次 に、中学生の学習内容を学習指導要領、教科 書、参考書、問題集、高校受験問題などで分 析し、できるだけ重要と思われる内容を抽出 した。第1段階では教科書の例題レベルを中 心とした問題を作成し、中学校の先生方と親 たちから意見を聞いた。中学校の先生方から は問題がやさしすぎ、これらの問題が理解で きても高校入試には役に立たないとの意見が 多かった。親たちに解いてもらった結果はま ずまずの出来であり、この程度の知識は必要 だろうという意見が多かった。そこで教科書 の例題レベルの問題に高校入試問題程度の難 易度を加えて問題を構成し、プリテストを重 ねた(高校入試問題は、だいたい5~6割の 正答率が期待できるように作成してある)

出題範囲は義務教育修了時の学力と考え、 継続的な積み重ねが重視される教科は基本的 には中学3年生の学習内容、理科や社会など 様々な領域を学ぶ教科は3年間全体を網羅し ようと考えた。

なお、音楽、美術、体育、技術・家庭科も 実施するつもりであったが、調査項目数が多 量になることから今回は5教科のみとし、今 後引き続き実施する予定である。

調査時期は親調査が1998年7月~10月、調査対象357名、生徒調査は1998年5月~6月、高校1年生239名である。調査方法は、アンケート用紙と教科の問題用紙を生徒を通して親たちに渡してもらい、興味関心のある2教科を選んで問題を解いてからアンケートに答えてもらい、アンケート用紙を封筒に入れ厳封して学校に提出してもらった。今回の調査で、親たちに5教科の問題を提示したのは、子どもたちがどのような学習をしているのか把握してもらうことが目的であったが、問題に「難しい」イメージが先行し、依頼した多くの学校に断られ調査実施は困難を極めた。

では調査対象の概要を詳しくみてみよう。 図1は調査対象となった親である。回答した のは「父親」39.4%、「母親」59.7%、「その 他」0.9%である。

表 1 は親たちの年齢である。父親は「41~50歳」が73.5%、母親は「36~45歳」が 最も多く74.5%。学歴(推定)を示したの が表 2 である。「高校卒業」は45.2%、「大学またはそれ以上」はほぼ3割。特に、父親の「大学またはそれ以上」が47.1%おり、今回の調査対象はかなり高学歴な親たちであることがうかがえる。職業は表 3 に示した。

次に、子どもへの接し方やわが子をどうみ ているかをみてみよう (表4)、子どもが悩

図1 サンプル数

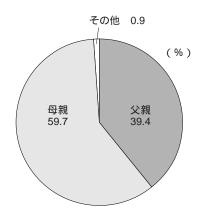


表 1 年齢

(%)

	35歳未満	36~40歳	41~45歳	46~50歳	51歳以上
全 体	3.8	26.4	38.6	24.8	6.4
父 親	1.7	13.7	41.9	31.6	11.1
母 親	4.5	35.8	38.7	18.2	2.8

表 2 学歴(最終学校を卒業した年齢)

				( 70 )
	15歳	18歳くらい	20歳くらい	22歳・ それ以上
全 体	5.4	45.2	22.2	27.2
父親	5.1	31.6	16.2	47.1
母 親	6.2	54.8	26.6	12.4

んだとき、相談相手になっている割合は「とてもそう思う」14.9%、「わりと」を合わせると55.3%と半数を超える。父親・母親別では、母親の方がより相談相手になっていると思っている割合が高い。

「中学生になってから子どもを厳しく(殴るくらい)叱ったことがあるか」をたずねた

のが表5である。「よく+ときどきある」親は31.1%と3人に1人は子どもを厳しく叱った体験を持っているが、叱ったことが「まったくない」親も3割いる。子どもの性別による差はほとんどみられない。

### 表 3 職業

(%)

		フルタイム の仕事	自営業	自由業	農林漁業	特に仕事を していない	その他 (パートタイ ムなど)
全	体	45.6	9.8	4.2	0.0	16.0	24.4
父	親	77.6	10.3	5.2	0.0	0.9	6.0
母	親	23.5	9.4	2.9	0.0	26.5	37.7

### 表 4 子どもの相談相手になっているか

(%)

		とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない
全	体	14.9	40.4	32.3	9.3	3.1
父	親	10.9	37.8	33.6	14.3	3.4
母	親	16.6	42.0	32.0	6.1	3.3

### 表5 中学生になってから厳しく叱ったこと

				( )
	よくある	ときどき ある	1、2回 ある	まったく ない
全 体	5.9	25.2	39.1	29.8
父親	4.2	21.7	41.6	32.5
母 親	7.2	27.8	35.6	29.4

表6は、わが子が勉強をどのくらい理解しているかたずねたものである。「ほとんどわかる」と答えた親は12.5%、「3分の2くらい」を合わせると5割を超える。逆に「ほとんどわからない」と思う親は5.3%おり、父親・母親別では母親の数値が若干高い。では、子どもの成績はどのくらいのレベルと考えているのか。

表7によれば、「上の方」13.7%、「中の上」

35.0%と、わが子が平均より上位に属していると考える親がほぼ5割。父親では「上の方」「中の上」と思っている者がほぼ6割と、子どもの成績評価が高い。

子どもの進路希望については、図2によれば、「高校まで」22.4%、「専門・専修学校まで」12.8%、「短大まで」9.0%、「4年制大学まで」48.6%、「大学院まで」2.5%。父親・母親別では差がみられないが、子どもの

表 6 親からみた子どもの勉強の理解度

(%)

	ほとんど わかる	3分の2 くらいわかる	半分くらい わかる	3分の1 くらいわかる	ほとんど わからない
全 体	12.5	41.1	26.8	14.3	5.3
父 親	12.5	49.2	22.5	13.3	2.5
母 親	12.2	36.9	29.1	14.5	7.3

## 表7 子どもの成績

	上の方	中の上	中	中の下	下の方
全 体	13.7	35.0	28.3	10.9	12.1
父 親	10.0	47.5	22.5	10.8	9.2
母 親	15.6	26.3	32.9	11.2	14.0

性別による差が顕著で、「4年制大学・大学院まで進みたい」と希望している男子は6割を超え、女子との差が大きく開いている。図3は塾に行っている割合である。68.5%が塾に行っている。

次に、親たちの学校への信頼度や満足感を みてみよう。表8は、学校は子どもの能力を 正しく評価していると思うかとたずねた結果 である。「とてもそう思う」5.0%、「わりと」 を合わせると約6割の親たちが学校の評価を 肯定的に受け止めている様子がうかがえる。 一方、「あまり+ぜんぜんそう思わない」と 学校の評価に懐疑的な親も14.7%、「少しそ う思う」とやや否定的な感じ方を合わせると 4割に達する。これは、観点別評価の難しさ や評価の公平さへの不満が背景にあるのでは ないだろうか。

図2 子どもの進路希望

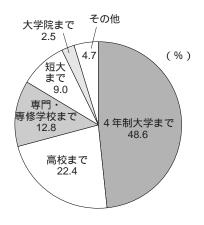


図3 塾に行っているか

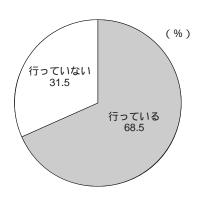


表8 学校は子どもの能力を正しく評価しているか

		とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない
全	体	5.0	53.1	27.2	12.5	2.2
父	親	4.2	53.4	28.3	10.8	3.3
母	親	5.6	55.3	25.1	12.3	1.7

では全体的には学校に満足しているかをたずねると、表9で示したように、「とても満足している」11.9%、「わりと」を合わせると6割の親たちが子どもが通っている中学校に満足している。しかし、子どもへの評価同様、不満を持っている親たちも2割存在する。学校への信頼度や満足感に父親・母親での差はみられない。

親たちの教育観は2章3節で詳しく述べるので表は省略したが、以下、「選択教科について」「知識重視から意欲重視の教育」「家庭での親子関係の充実」の3項目について示した。

- 1. 学ぶ意欲を高めるため 24.5% 30.6% の選択教科の幅を広げ、 55.1% 好きなことを中心に学習 すべきだ
- 2 . 自ら学ぶ力をつけるた 30.4% 37.3% め、知識重視から意欲重視 67.7% 0学力観へ変えるべきだ
- 3.「心の教育」推進のた 55.9% 31.4% めに学校以上に家庭での 87.3% 親子関係を充実する努力 が必要だ

表9 子どもが通う中学校への満足度

(%)

		とても 満足している	わりと 満足している	少し 満足している	あまり 満足していない	ぜんぜん 満足していない
全	体	11.9	48.5	21.4	15.1	3.1
父	親	11.0	46.7	25.4	14.4	2.5
母	親	11.2	50.0	19.7	16.3	2.8

## 表10 子どもの性別

表11 きょうだい関係

	(%)
男子	56.4
女 子	43.6

	(%)
1.一番上の子	39.4
2 . 上または下の子がいる	31.9
3.一番下の子	18.8
4 . 一人っ子	9.9

学校教育に関心が高く、家庭教育や親子関 係を充実させる努力と、子どものしつけは学 校以上に家庭の責任だと感じている親たちの 様子がうかがえる。

以上の結果から、今回のサンプル対象者は、 高学歴で、わが子の学習成績も高く評価し、学 校への信頼や満足感が高く、「心の教育」を推 いてみた感想を表12に示した。

進する上で学校教育以上に家庭教育の必要性 を感じている親たちであるといえる。なお、父 親・母親別ではほとんど差がみられなかった。 表10はアンケート用紙を持ち帰った子ど もの性別であり、きょうだい関係を示したの が表11である。

最後に、中学生の学習問題(5教科)を解

表12 教科の学習の問題を解いた感想

		何も参考にしないで ほとんどできた (やさしかった)	調べたり考えるのに 時間がかかったが ほとんどできた	調べたり考えて やってみたが、 間違いが多かった	何も参考にしないで やったが、ほとんど できなかった(難しかった)
国	語	18.1	45.0	25.3	11.6
数	学	11.4	35.5	31.6	21.5
社	会	12.9	38.9	30.9	17.3
理	科	6.7	34.7	38.6	20.0
英	語	33.1	27.9	19.1	19.9

## 第2章 親と子からみた学習の難易度



生徒たちの学校生活は教科の学習と部活動 などの特別活動、学校行事が考えられる。そ うした毎日を通して、生徒たちは少しずつ学 力をつけ成長している。前述したように、生 徒たちに身につけてもらいたい「学力」は、 学校や教師側から論じられても、親や中学生 の視点から語られたり、具体的に学習内容が 示されることはあまりなかったように思う。 ニュースキャスターの安藤優子氏が高校時代 の留学体験を綴った著書『あの娘は英語がし ゃべれない』(集英社)の中で、「……運転免 許を渡されてふっと気がついた。スピーチも タイピングもそして運転免許もこのハートラ ンドで生きていくためには欠かせない。言う なれば三種の神器なのだ。自分の考えを他人 にどうやったらよりよく伝えることができる か。それをスピーチのクラスでは徹底して教 えた。タイピングの技術は、この先大学に進 学しようが就職しようが最低限身につけてお かなくてはならない。そして自分の足を確保 するにはどうしても運転免許がなくてはなら

ない。この3つが必修単位とされている意味 がはじめてのみこめた。学校は社会そのもの とがっぷり4つに組んで教育をし、なおかつ そこに育つ生徒には、社会生活にどうしても 必要となる技能だけは最低身につけさせる。 彼女とのドライブに格好いいから免許証が必 要なのではなく、ここでは生活の手段として なくてはならない。難しい数学の方程式より も生活の手段.....」と書かれていた。タイピ ングは現在ではワープロかもしれないが、社 会に育つとき何を身につければよいか。日本 のように「生きる力」「心の教育」という抽 象的な表現ではなく、社会生活をするために、 この地域で暮らしていくために義務教育で最 低限何を身につけるべきか、何ができれば暮 らしていけるのかを重視した具体的な学習が なされていることに驚いた。こうした背景に は、地域の中で「何を教えるべきか」が広く 様々な人たちによって論議され決定していく 土壌ができているのだろう。日本では、どの ような教育をするのか教育課程審議会で審議 され、親たちや中学生の意志が直接反映されているとはいえない。そして親たちは、高校入試、大学入試に役立てばと考えるものの、子どもたちが学習している内容が生きていく上で本当に役立つ学習なのか、真剣に考えた

ことがあるのだろうか。

そこで、本章では、親たちに子どもたちが 学ぶ学習を具体的に示し、難易度や必要性を たずね、子どもたちにとって必要な学習とは 何かを探っていくことにした。

## 1. 概観すると DDD

まず親調査から、中学校で学ぶ教科全体に 対する、親たちの感じる必要性をみてみよう。 表13は、国語から英語までの9教科と道 徳・学級活動、部活動などを中学校で学習す ることがどのくらい必要であるかをたずねた。どの教科も「ぜんぜん必要でない」と考える親はほとんどいない。「とても必要」の数値に着目すると、必要性の最も高い教科は

表13 中学校で学ぶ必要性

(%)

	とても 必要	わりと 必要	少し 必要	あまり 必要でない	ぜんぜん 必要でない	* 将来役に立つか 『とても + わりと』
1.国語	76.2	20.4	3.1	0.3	0.0	74.4
	96	3.6				(21.6)
2.社会	45.9	39.6	12.7	1.5	0.3	60.8
	85	5.5				(20.5)
3.数学	47.4	30.7	17.3	4.0	0.6	36.4
	78	3.1				(11.4)
4.理 科	30.0	38.4	22.6	7.1	1.9	24.4
	68	3.4				(6.8)
5 . 美 術	18.6	29.4	39.0	11.8	1.2	11.4
	48	3.0				(5.1)
6.音楽	21.4	30.0	36.9	10.5	1.2	22.9
	51	1.4				(6.9)
7.体育	37.4	40.2	19.0	2.8	0.6	42.5
, , H. B	77	7.6				(12.1)
8.技術・家庭科	24.0	40.5	29.6	5.6	0.3	61.9
3.7.7.	64	¥.5				(25.0)
9.英語	66.5	24.8	7.5	1.2	0.0	77.8
у гус ни	91	Ĭ.3				(45.5)
10.道徳や学級活動	54.3	31.3	11.3	2.2	0.9	49.7
	85	5.6				(20.0)
11.部活動	47.3	32.3	15.7	3.4	1.3	51.4
	79	9.6		J. 4L/+-		(19.4)

\*生徒調査

( )内は「とても役に立つ」割合

「国語」76.2%、次いで「英語」66.5%、「数学」「社会」はほぼ5割。「美術」「音楽」の芸術教科になると2割にすぎない。一方、「道徳や学級活動」が「とても必要」と答えた割合は54.3%と、「数学」や「社会」の必要性を上回っている。この背景には「いじめ」「キレる・ムカつく」といった中学生の行動が社会的にも大きな問題となっていることと無縁ではないように思う。

一方、生徒調査で「中学校の教科学習が将来役に立つか」とたずねた。生徒の考える教科の学習の必要性は、親たちが必要と考える数値をかなり下回る。生徒たちに話を聞くと、中学生までの勉強は基本的な勉強で重要だが、むしろ将来役に立つ勉強は高校での様々な学習であると答えた者も多い。調査時期が高校入学直後の5月~6月ということで、高校生活への期待が大きいことが考えられる。

では、親調査から各教科のそれぞれの学習の難易度と必要性の概観をみていこう。「とても+わりと難しい」数値に着目し各教科最も難しい内容をみていくと、国語では「万葉集の作者」55.0%、社会では「条例の制定・改廃などを求める住民の権利」46.5%、数学では「二次関数のグラフ上の点Pの座標を相似な三角形の比の関係から求める」65.2%、理科では「震源から観測地までの距離の表し方」51.5%、英語では「全文を読んで内容を理解する」31.3%があげられる。

全項目を通して、最も難しい項目は数学の「二次関数のグラフ上の点Pの座標を相似な三角形の比の関係から求める」(65.2%) それに関連した二次関数の項目で「動く座標点を通る直線の式を三角形の面積を条件として求める」(64.6%)が並ぶ。一方、英語は難しいと感じる割合が低く、「とても+わりと」を合わせ50%を超える項目はみられない。

学習の必要性は、全体的には「必要ない」 と答えた数値は低く、「必要ない」が2割を 超える項目は、「万葉集の作者」(20.1%) 「太田道灌と同時代の人物の理解」(20.0%) 「2つの図形の関係を理解し、面積を求める」 (20.4%)と二次関数の「動く座標点を通る直線の式を三角形の面積を条件として求める」(29.9%)「二次関数のグラフ上の点Pの座標を相似な三角形の比の関係から求める」(27.4%) さらに、一次関数の「2点を通る直線がy軸と交わる座標」(20.4%)「点Aの×座標のaの値を求める」(23.0%) 火成岩の組織や生成の「アンザン岩に含まれる鉱物」(27.5%)「アンザン岩のでき方」(21.7%)と、数学や理科の学習に多くみられる。

逆に、「必要である」のトップの項目は、 英語の「発音」(83.3%) 次いで、漢字を 読むことで「需要供給」「蓄える」が8割を 超える。さらに「必要である」が60%を超 えるものを拾い出していくと、英語ではすべ ての項目、国語では「漢字の読み書き」「尊 敬・謙譲・ていねい語の理解』、社会では 「地方自治」「日本国憲法と国会の仕組み」 「資源の開発・産業の発展と環境」、理科では 「ヒトの機能と働き」となる。小学生の親を 対象にした同様の調査では(『モノグラフ・ 小学生ナウ』Vol. 18 - 1 憶える学力・解く 学力)「憲法第9条が言える」「国民主権・ 基本的人権を理解する」と政治や憲法に関す ることが最も難しい学習であり、小学校で学 ぶ必要がないと答えた割合が最も高かった。 中学生の教科の必要性では、社会が「とても 必要」と答えた親は45.9%と低いが、こう した公民的分野は6割以上の親が必要な学習 と考えている。しかし、小学生同様難しい学 習であることに変わりがない。生徒の正答率 をみてもあまり理解はしていない。

子どものときから「難しい」イメージが定着している公民的分野は、理解が十分されない学習となっている。大学生が政治や社会問題に関心が薄いといわれるが、これでは社会や政治への批判力も育たないのは当然であろう。小学生も同様だが、日本国憲法、基本的人権、国民主権など、生徒の視点でもっと具体的な指導のあり方を工夫することが課題と

なる。

英語や国語は全体的には必要性が高いが、「克己心」「翻す」など難しい漢字の書きとり や日常生活に直接必要でない古典は「特に必要とは思わないが、知っていてもよい」内容となる。数学も基礎基本的な計算や方程式程度の学習には必要性が高いが、二次関数などの難しい内容は「必要ない」割合が高くなる。そして、社会や理科は「特に必要とは思わないが、知っていてもよい」学習内容が多い教科と考えられる。

ここで、生徒調査をみてみよう。親たちに 示した問題をテスト形式に配点した結果であ る。各教科の平均点、最高点をあげると次の ようになる。

	平均点	最高点
国語	45.2点	86点
社会	44.9	84
数学	42.3	86
理科	52.6	86
英語	54.6	94

実際、高校生と接しているともう少し平均 点が高くてもよいように思う。しかし、調査 時期が高校に入学し一番ホッとしている時期 であったこと、アンケート形式をとったため 緊張感もなく、通常の試験のように事前勉強 をしないことなどを考えると、この程度が妥 当な正答率なのかもしれない。

これから各教科の詳しい分析をみていくが、それぞれの問題は生徒たちにそれほど定着しておらず簡単ではないような内容も多い。また、親と子の難しさの感じ方が違っている項目も認められた。なお、サンプルの属性や子どもの通塾の有無、将来の進路などによる学習の難易度や必要性の差はほとんどみられなかった。

## 2. 教科別の難易度と必要性 D D D

ここから各教科の詳しい分析を示す。生徒 調査の正答率と関連させながら、各教科の学 習の難易度と必要性をみていく。

## 1)国語

国語の学習では、まず漢字の読み書きが思い浮かぶ。そこで、漢字の読み書きからみてみよう。表14によれば、「漢字を読む」8個、「漢字を書く」10個を示し、わが子にとってこれらの漢字を読むこと書くことが「難しいか」「必要か」をたずねた。これらの漢字は生徒たちの多くが答えられるだろう漢字と間違えやすい漢字を抽出した。漢字を読むことでは、「清廉潔白」「遺憾」が「あまり+ぜんぜん難しくない」と答えた親たちが半数、そ

れ以外の漢字はそれほど難しいとは感じていない。一方、生徒たちの正答率をみると「清廉潔白」が58.0%と低いが、他の漢字は80%以上が正しく読めており、漢字を読む学習の難易度は親たちとほぼ一致している。また親たちの必要性も高い。漢字を書くことでは、読むことに比べ難しさが高くなる。中でも「克己心」「翻す」「窮地」は「とてもりと難しい」と答えた親が4割前後、やさしい漢字は「勧める」「構える」「作法」となる。難易度が上がるにつれ、必要性は低下る。漢字を書くことは、生徒たちにとって、親が考えている以上に難しい学習でありかなり定着しにくい学習となっているが、ワープロを使えば適切な漢字に変換してくれるの

表14 漢字の読み書き

			Ĭ	維易原	支			必要性	ŧ	
		とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
	清廉潔白		15.4	24.6		25.6 5.2	7.6	39.0	53.4	58.0
	遺憾		15.7 0.1	24.9		24.9 5.0	6.6	34.9	58.5	84.1
漢	全国制覇		2.4	14.4		41.7 0.5	2.1	33.1	64.8	97.7
字を	需要供給	2.1	1.4	11.0		43.4 5.5	0.7	18.7	80.6	93.2
読	注釈	1.7	8.6	14.1	43.2	32.4	5.6	32.9	61.5	81.6
む	敬う		6.9	17.6	35.6	38.2	1.4	21.1	77.5	84.1
	静寂		7.9 5.9	20.7		29.0 ).4	2.1	32.4	65.5	93.2
	蓄える		3.4	10.3	_	33.9	1.0	18.2	80.8	96.6
	コッキシン(克己心)	19.3	24.5 3.8	32.4		10.0	19.6	42.6	37.8	10.2
	ヒルガエす ( 翻す )	l .	21.4	35.5		7.2 1.8	11.1	43.1	45.8	10.2
	キュウチ(窮地)		22.8	37.5		9.3	4.9	36.5	58.6	23.9
漢	スイセン(推薦)	7.6 25	17.9 5.5	30.2		13.7 1.3	3.5	25.1	71.4	18.2
字を	土ジョウ(土壌)		15.5 0.7	31.7		16.6	6.3	33.4	60.3	26.1
書	ウれる (熟れる)		10.7	33.7	32.3	19.9	1.0	35.1	63.9	54.5
<	テッ回(撤回)	3.4	9.3	30.6		19.6 5.7	0.7	29.5	69.8	38.6
	ススめる (勧める)	2.4	3.8	21.3	42.3	30.2 2.5	1.7	20.8	77.5	39.8
	カマえる (構える)	1.7	5.9	25.3	39 <u>.3</u>	27.8 7.1	2.8	31.8	65.4	38.6
	サホウ(作法)		3.1	13.4		45.4 1.8	1.4	19.8	78.8	68.2

で、読めればよいと考える高校生も増えてきた。以前は漢字を間違えることは能力のなさを指摘されるようで恥ずかしかったが、ワープロが普及した現在では、漢字の間違えは変換ミスとして処理され、なぜか「間違えたこと」に寛大になってしまっている。

では、他の学習はどうだろうか。表15は修飾語や被修飾語などの文法、尊敬・謙譲・ていねい語の使い方の理解である。「修飾語・被修飾語」は簡単な文章の中の問題でやさしかったのか、「とても+わりと難しい」と答えた親は1割未満、生徒たちの正答率も高い。「尊敬・謙譲・ていねい語の理解」では、「あまり+ぜんぜん難しくない」と答えた親が5割台であるが、生徒の正答率は7~8割に達

している。そして、この学習が「必要である」 と答えた親は7割。近年日本語が乱れている と指摘されることも多いが、生徒の正答率は 高い。かつては家庭内でも普通に使われてい た尊敬・謙譲・ていねい語であるが、家族関 係の変化からか、家庭内ではなかなかこうし た会話がなされなくなっているのが現状であ る。それだけに親たちにとっては、こうした 学習の必要性が高いのだろう。もっとも生徒 たちは校内で、先輩に対してはていねい語を 使い、親しい教師には友だちコトバで話し、 校長・教頭先生など日頃あまり接触のない教 師には尊敬語を使うなど、彼らの価値観でう まく使い分けているように思う。

表15 修飾語・被修飾語、尊敬・謙譲・ていねい語など文法の知識

										( /0 )
			j	維易度	ŧ			必要性	Ė	
		とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
修飾	1.遠い野中の道を <u>ゆっ</u> くりと歩いていく	2.7	5.1 7.8	15.7	49.5 70	27.0 6.5	10.0	49.1	40.9	89.8
修飾語と被修飾語	2 . ひまわりの種を <u>ため</u> <u>しにあちこちに</u> まい てみた	2.1	6.8	25.0	42.8	23.3 5.1	10.7	48.1	41.2	80.7
節語	3.雨が <u>はげしく</u> 窓をた たいている	3.1	4.8	18.1	46.6	27.4 4.0	10.3	46.4	43.3	65.9
尊敬・謙譲・ていね	1 . お客様が <u>いらっしゃ</u> <u>った</u>	2.7	11.0	27.1	36.5 59	22.7 9.2	2.4	26.1	71.5	81.8
ていねい語	2.先生に予定を <u>うかが</u> <u>った</u>	3.4	12.4	30.2	31.7	22.3 4.0	3.1	27.8	69.1	70.5

次に、随筆や小説から作者の考え方や人生 観などを読みとる学習をみてみよう。表16、 17によれば、こうした学習を必要だと考えて いる親たちは5割にとどまり、漢字の読み書 きに比べると必要性はかなり低い。そして学 習の難易度をみると、「あまり+ぜんぜん難 しくない」と答えた親たちがほぼ4割。随筆 の中の項目では「『つくられている』とは何 か」の問題が非常に難しく、正解した生徒は 5.0%にすぎない。さらに随筆や小説を総合 的に捉え正答率の平均値をみると、随筆 33.0%、小説39.2%である。親たちが考える 難易度より生徒たちの方が苦手意識を持って いることがわかる。文学作品を読みとること や作者の考えや人生観を読みとり叙述するこ とは豊かな表現力が必要である。生徒の正答 率をみると、随筆や小説を読み、自分の考えを叙述することができておらず、表現力が育っていないのである。しかし、こうした力はむしろ授業以外にどれだけ本を読ませられるかいかに様々な生活体験をさせることができるかなどにかかっているのではないだろうか。そうした意味で考えると、人生経験を積み上げてきた親たちがやさしいと考えるのは当然な気がする。

古典の理解や知識を表18、19からみてみよう。表18は、万葉集、古今和歌集の作者をたずねた。親たちも「とても+わりと難しい」と答えた者が5割、生徒の正答率は3~5%にすぎず、ほとんど理解できていない。作者をあげ複数の中から選択させる問題にしたら、もう少し正答率が上昇しただろう。

表16 随筆を読んで作者の考え方、感じ方、言いたいことを理解する

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	推 易 原	ŧ		!	必要性	Ė	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.接続詞の組み合わせ	4.2	18.9	36.3	35.0	5.6 ).6	6.7	41.5	51.8	52.3
2.指示語の意味	3.8	17.8	33.6	35.0	9.8 1.8	5.0	41.5	53.5	29.5
3 .「つくられている」とは 何か	6.7	21.1 7.8	36.0	29.5	6.7	4.2	49.5	46.3	5.0
4 .「鈍い」と同じ意味で 使われている単語	6.7	17.5 1.2	35.4	33.0	7.4 0.4	6.4	51.5	42.1	26.1
5 . 文全体の流れを読む	4.6	15.4 0.0	35.4	35.1	9.5 1.6	6.0	42.8	51.2	51.1
6 . 作者の言いたいことを 読みとる	6.6	16.8	37.1	31.5	8.0 9.5	4.2	40.5	55.3	34.1

この学習に親たちは「必要である」と考える割合が1割にすぎず、中学校では重要ではない学習と考えている。こうした学習は、暗記するだけの意味のない学習と非難される場合が多いが、作者を知ることはすなわち、その時代の人々の生き方や社会のあり方を調べたりまとめたりという多様な学習活動へ発展させることができる。生徒たちの表現能力の育成にもつながるものであるが、現状では学習を発展させることに時間的にも無理があるのだろう。

次に、表19の「古語の意味や助詞・助動詞の使い方を理解し古典を読む」ことをみてみよう。表によれば、「あまり+ぜんぜん難しくない」と感じている親たちは3~4割、生徒たちの正答率も平均すると3割台。この学

習の必要性は25%程度と、古典に関する学習は国語の他の学習(漢字の読み書き、文法、随筆・小説などの読みとりなど)と比べると必要性はかなり低い。しかし、「特に必要とは思わないが、知っていてもよい」に着目すると、国語の学習の「漢字の読み書き」「修飾語・被修飾語、尊敬・謙譲・ていねい語の理解」と比較し、「随筆や小説の読みとり」「万葉集などの和歌の理解や古典の文法の理解と読みとり」の数値の方がかなり上回っていることがわかる。随筆や小説の読みとり、古典の理解などの学習は、日常生活をする中では知らなくても生活できるが、人間としての教養を問われるならば身につけたい学力と考えてよさそうである。

表17 小説を読み、作者の人生観や人間観を理解する

		Ĭ	推易原	ŧ		ļ.	必 要 性	ŧ	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.なぜ「よけいな」と言っ ているのか	4.6	16.7 .3	31.9	40.4	6.4	4.3	50.3	45.4	27.3
2.誰が「切り替える」のか	3.9	11.7	26.2	41.9	16.3	5.4	48.8	45.8	60.2
3 .「ほどほどに」がかかる 言葉	3.2	12.4	31.4	39 <u>.</u> 9	13.1	5.0	53.9	41.1	55.7
4 . 時間的経過より表現の効 果を考えた段落	5.3	17.0 2.3	32.5	35.3	9.9	6.1	52.5	41.4	37.5
5.「この辺の山をよく知って いるのか」と尋ねた気持ち と共通する段落	4.9	19.8 7	35.4	30.4	9.5	6.1	55.0	38.9	39.8
6.作者が述べたいことを読みとる	6.4	18.1 5	36.9	30.1	8.5	4.3	48.2	47.5	14.8

## 表18 万葉集や古今和歌集の作者を知る

(%)

		Ĭ	維易原	度	!				
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 .「東の野に炎の」の 作者	21.0	34.0	33.0	11.0	1.0	20.1	70.2	9.7	3.4
2 .「田児の浦うち出でてみ れば」の作者	18.6	26.2 .8	31.4	18.6	5.2 3.8	18.3	68.9	12.8	3.4
3 .「人はいさ心も知らず」 の作者	20.3	31.4	33.8	11.7	2.8 1.5	18.0	72.0	10.0	4.5

## 表19 古語の意味や助詞・助動詞の使い方を理解し古典を読む

		Ĭ	推 易 度	ŧ			必要性	ŧ	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.前後の意味を判断し、適 切な語を選ぶA	9.9 31	21.6 .5	32.8	29.3	6.4	13.5	60.3	26.2	23.9
2.前後の意味を判断し、適 切な語を選ぶB	10.3	20.6	31.9	30.1	7.1	12.8	61.6	25.6	52.3
3 .「鶏の鳴くと同じやうに」 のたとえ	9.5	20.1 9.6	31.2	28.6	10.6	12.5	59.5	28.0	38.6
4 .「顔のさまあしくて」の 理由の説明	12.8	26.6 0.4	34.0	20.6	6.0	16.4	61.5	22.1	44.3
5 .「さらば福の神でござある」 の口語訳	10.6	24.4	35.4	25.4	4.2 9.6	17.1	63.7	19.2	33.0
6 . 亭主の様子を想像し、全 体を読みとる	9.9	28.6 3.5	33.2	22.6	5.7 3.3	12.1	62.3	25.6	28.4

## 2)社会

社会の学習は、地理的分野と歴史的分野、 公民的分野の3分野からなっている。まず、 地理的分野からみていこう。表20は、日本 の国土の位置を知り、地理的な見方や考え方 を理解し、資料を考察し地域の特色を理解 する問題である。「降水量や気温などの資料 をもとに地域の気候の特徴を理解する」学習 は「とても+わりと難しい」28.9%、生徒の 正答率も22.6%とあまり理解できていない。 「国土の位置や地形を理解すること」は、親 にとっては「あまり+ぜんぜん難しくない」 が5割、生徒の正答率も5割と親と子がやさ しいと考える学習である。こうした学習の必 要性をみると、「降水量や気温から地域の気 候の特徴を理解すること」を「必要である」 と考える親は37.5%、「国土の位置や地形を 理解すること」は57.2%と、地理的分野でも内 容により大きな差がみられる。自分たちが住 んでいる国土の位置くらい知ってほしいとい うことだろうか。

次は、資源の開発と地域の産業を成り立た せている地理的諸条件の理解と環境を関連さ せた学習である。環境問題は今日の社会では

最も関心の高いテーマである。表21によれ ば、「地球的規模の環境破壊の実態を知る」 を「あまり+ぜんぜん難しくない」と思う親 は54.8%、生徒たちの86.2%が理解してい る。次いで、「足尾銅山の鉱毒問題に尽くし た人」が「あまり+ぜんぜん難しくない」と する親は44.8%、生徒たちの正答率も88.9% と高い。これら環境問題との関連学習は、一 昨年日本で開かれた地球温暖化京都会議やダ イオキシン汚染・ゴミ問題など、社会的に関 心の高いテーマであり、「必要である」と考 える親が8割と高くなっているのも当然であ ろう。ところが、「イギリス産業革命が生活 に与えた影響と当時の日本の様子」「環境破 壊以外の地球的規模で取り組む社会問題」 「社会問題に取り組むための条例の制定の仕 方」など、世界の歴史や日本の歴史と関連づ けたり、法的な対処の方法を理解する学習は 難易度も高く、生徒の正答率は低くなる。環 境問題 = ゴミ問題ととらえがちな生徒にとっ ては、第3世界の人口増加問題などを知るこ とはなかなか難しいし、世界の歴史と関連さ せ産業の発展や資源の開発が環境にどのよう な影響を与えてきたかを考える問題も正答率 はかなり低くなる。

表20 地形・地図・気候風土

		糞	惟 易 ß	度		И			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.地域の気候の特徴を降水 量と気温から理解する	7.1	21.8 3.9	42.2	21.8	7.1 3.9	10.5	52.0	37.5	22.6
2.日本の国の位置や地形を理解する	5.8 21	15.6 .4	26.0	43.5 52	9.1 2.6	4.5	38.3	57.2	51.5

表22は、歴史的分野の学習を取り上げた。 歴史的諸条件を重点的に選んで国家・社会・ 文化の発展に尽くした人物を取り上げ、その 時代背景を示したのが「太田道灌と同時代の 人物を理解する」の項目である。この学習を 「とても+わりと難しい」と感じる親は32.9%、 生徒の正答率は39.4%。「世界の歴史と日本 世界の歴史を関連させ理解する」ことをやさ しい学習だと考える親は2割、逆に「とて も+わりと難しい」と感じる割合が43.2% とほぼ2倍に達する。そして、生徒たちの正 答率も3割と低い。こうした学習の必要性は どのくらいあるのか。「太田道灌」については2割の親が学ぶ必要はないと答えている。「世界の歴史と日本の歴史を関連させ理解する」学習は約5割の親が学ぶ必要性を認めているが、子どもたちにとっては難しい学習であるとも感じている。

次に、公民的分野をみてみよう。個人の尊厳、人権の尊重、自由と権利、義務などを正しく認識し、民主主義を理解する学習である。ここでは日常生活を通して民主主義を理解できる「地方自治」と「日本国憲法」と「国会のあり方」の学習を示した(表23)。小学生

表21 資源の開発・産業の発展と環境

(%)

		英	能 易 ß	<b></b>		ļ	必 要 性	ŧ	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.地球的規模の環境破壊の実態を知る	5.2	15.5 0.7	24.5	33.5	21.3	0.6	22.6	76.8	86.2
2. イギリス産業革命が生活 に与えた影響と当時の日 本を考える	9.1 34	25.3 .4	36.4	24.7	4.5 9.2	8.3	46.2	45.5	38.4
3.明治時代に足尾銅山の鉱毒 問題に尽くした人物	6.5 27	21.4	27.3	33.8	11.0 4.8	5.2	50.3	44.5	88.9
4.環境破壊以外の地球的規模で取り組む社会問題	11.0 31	<u>2</u> 0.1	33.2	24.7	11.0	0.6	20.1	79.3	13.1
5 . 社会問題に取り組むための 条例制定の仕方	10.5 33	22.9 3.4	33.9	25.5	7.2	3.9	36.8	59.3	64.6

#### 表22 日本史と世界史の理解

		美	能 易 原	芰		ļ			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.太田道灌と同時代の人物を理解する	9.0	23.9	34.2	27.1	5.8 2.9	20.0	54.8	25.2	39.4
2.世界の歴史と日本の歴史を関連させ理解する	15.7 43	27.5 3.2	37.2	16.3	3.3 9.6	8.4	45.5	46.1	30.3

にとっては「憲法第9条が言える」「国民主権・基本的人権を理解する」ことは最も難しい内容であり必要がないと感じる学習であったが、中学生の親調査では、社会の教科が「とても必要」と答えた割合が45.9%。この数値と比較すると、地方自治、日本国憲法、国会のしくみなど公民的分野を「必要である」とする数値が6~7割と必要性が高くなっている。しかし、小学生同様、子どもたちには難しい学習だと感じており、生徒調査の正答率も低い。表23の「地方自治」をもう少しみてみよう。「条例の制定・改廃などを求め

る住民の権利」を「とても+わりと難しい」と考える親は46.5%、「少し難しい」を合わせるとほぼ8割がこうした学習を難しいと考えている。「地方議会の解散請求権」「地方自治に直接民主制が導入されていることを理解する」を「とても+わりと難しい」と感じている親たちは4割、「必要である」割合は6割を超える。しかし、生徒の正答率は低く、「リコール請求権」が5割、「地方自治に直接民主制が導入されていることを理解する」が4割、「条例の制定」「解散請求権」は3割、親たちが必要だと思っているほどには理解で

## 表23 地方自治の理解

		英	# 易 月	度	Ŋ	ŧ			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.条例の制定・改廃などを 求める住民の権利	16.6 46	29.9 5.5	32.5	15.3	5.7 1.0	1.3	36.5	62.2	25.8
2.地方議会の解散請求権	10.9	28.8	34.7	17.9	7.7	1.3	35.5	63.2	34.3
3 . リコール請求権	11.5	22.4	34.7	21.8	9.6	1.3	32.3	66.4	49.5
4.地方自治に直接民主制が 導入されていることを理 解する	12.8	23.7	37.3	17.9	8.3	3.9	33.5	62.6	42.4

きていない難易度の高い学習である。

それでは「日本国憲法と国会のしくみ」についてはどうであろう(表24)。「日本国憲法の理解」「国会の二院制」「国会の権限」が「必要である」と答えた親たちは7割と、憲法や国会のしくみの学習に対する必要性は高い。難易度をみると、最も難しい内容は「国政調査権」でとても+わりと難しい」41.4%、他の項目は3割程度である。生徒調査をみると、「日本国憲法の理解」「国会の二院制」は7割を超える正答率であるが、「衆議院の優越」とはどんな内容なのか全部正解できた生徒は14.1%と知識の定着率はかなり低い。

社会科では、資源の開発や産業の発達に伴う環境問題への関心は親も生徒も高く、生徒の知識の定着率も高い。こうした身近な問題に比べ、歴史的分野で日本の歴史を世界史と関連させ総合的に捉えることは、親も難しいと考えており、生徒の知識の定着率も低い。

高校の地歴・公民科では「日本史」が選択 科目となっている。高校で選択科目を選ぶと き、大学入試に有利だからという理由で「倫理」「政治経済」を選択する者も多く、自分 の国の歴史を中学校で学ぶ「歴史的分野」が 最後の機会になる生徒も少なくない。以前、 アメリカからのALT(外国語指導助手)と 話をする機会があった。日本の印象をいくつ かあげた中に、高校生に日本史が必修になら ない不思議さを語っていた。アメリカの学校 では、歴史を学ぶとき、小さい頃は地域の歴 史を、発達に応じ州の歴史、国の歴史へと学 習を進める。もちろん高校生にアメリカ史は 必修であるという。アメリカは州により様々 な教育制度があり、ALTの出身地ではとい うことなのだろうが、印象深い話であった。

今回の調査結果から、そして高校生と接する中で、日本の歴史を中学校で学んだだけの知識・理解でよいのかという疑問が残る。もちろん、高校の地歴・公民科で「世界史」が必修になった経緯には、専門家たちの活発な論議がなされたと聞いている。しかし、日本史が高校では必修でなく、わが子が日本史を学ぶ機会は中学校が最後になるかもしれないことをどのくらいの親たちが知っているのだろうか。

表24 日本国憲法と国会のしくみ

(%)

		堇	# 易 月	度		:	必要性	Ė	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 . 日本国憲法の理解	16.2	18.2	31.8	26.0	7.8	1.3	29.0	69.7	72.3
2 . 国会の二院制	10.9	17.9 3.8	26.3	34.0	10.9	3.2	23.7	73.1	78.9
3 . 国会の権限	11.0	<u>2</u> 0.1	37.8	22.7	8.4 Ĭ.1	2.6	27.7	69.7	*1 30.3 32.3
4.衆議院の優越	11.8	23.5	34.0	26.8	3.9	3.2	31.8	65.0	14.1 25.3
5.衆議院の優越が認められて いる理由	11.6	21.3 2.9	34.1	26.5 33	6.5	4.5	29.7	65.8	57.6
6.国政調査権	14.6 41	<u>2</u> 6.8	37.6	17.2	3.8	7.7	34.6	57.7	41.4

\*1 = 2つ正解30.3%、1つ正解32.3%

\*2 = 4 つ正解14.1%、3 つ正解25.3%

## 3)数学

数学に対する生徒たちの思いは複雑である。 生徒調査から、数学は、「一番難しい教科」 (32.0%) 「成績がよいと一番うれしい教科」 (31.3%)で最も高い支持を得ているが、 「将来、一番役に立つ教科」では6.7%と9教 科中6位である。こうした数学へのこだわり は、『モノグラフ・高校生 91』(vol.33「高 校生の教科観」) によれば、「望みの大学に合 格できる」「一流企業に勤める」「営業マンと して成功する」「就きたい仕事に就く」「家計 のやりくりをする」「社会的に成功する」「よ い父・母になれる」「市民として生活してい く」など社会的・家庭的達成感に数学の成績 がかなり影響を与えているという傾向が明ら かにされている。中学生の数学の成績の良し 悪しへの思いは大きい。

数学の内容を大きく分けると、数と式、図形、数量関係になる。平方根や因数分解、方程式は数と式に、三平方の定理や三角形の合同や相似・相似比などは図形に、関数や確率統計は数量関係に分類される。

表25は、数学の基礎的な計算問題である。 親たちが最も難しいと考える問題は「二次方程式の解の公式」(「とても+わりと難しい」 40.8%)「因数分解」(同35.9%)「球の体積を求める公式」(同31.6%)で、3割を超える。逆にやさしいと考える問題には「400の平方根」「の計算」「x²-y²の値」「三平方の定理」があげられる。一方、生徒の正答率をみると「因数分解」32.1%、「球の体積を求める公式」49.5%と低いものの、他の計算問題は7~9割が正解できる簡単な学習といえる。

表25 式の計算や公式

									( %)
		糞	能 易 ß	茛		Ų	必要 性	ŧ	
	とても 難しい		少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 .(8a-2a) ÷ 2a	3.5	4.7	7.6	33.1	51.1 4.2	5.4	39.3	55.3	79.8
2 . 400の平方根	5.3	8.8	12.3	_	45.5 3.6	10.8	37.7	51.5	85.3
3 . x²- y²- 4 y - 4の因数 分解	l —	22.4	30.6		12.9 3.5	14.3	44.0	41.7	32.1
4 . x = 3.75 y = 2.25のとき、 x <sup>2</sup> - y <sup>2</sup> の値	7.1 21	14.1 .2	25.3		22.4 3.5	10.2	46.4	43.4	66.1
5 . 8 6-2 6の値	7.1	10.6	18.2	31.2	32.9 4.1	12.0	53.0	35.0	92.7
6.球の体積を求める公式		17.0 .6	27.5		17.5 0.9	10.2	44.3	45.5	49.5
7 . 二次方程式 a x <sup>2</sup> + b x + c = 0 の解の公式	"	21.3 0.8	29.1		11.8 0.1	18.8	44.2	37.0	74.3
8 . 三平方の定理	l —	14.8	23.7		24.3 9.7	9.2	44.8	46.0	78.0

表26は方程式、不等式を使って答えを求 める学習である。「食塩水」の問題は、連立 方程式を学習するときしばしば例題として出 され、親たちも学習した体験を持っている者 も多く、比較的やさしいと感じているようだ。 「必要である」割合も5~6割、例題として 学習することが多いので生徒の正答率も7~ 8割と高い。次に、「長方形の面積と周囲の 関係から縦・横の長さを求める」は、方程式 を使って解くのだが、問題が縦の長さを×と して求めるように指定している。親たちにと っては、数学の問題の中では比較的難しくな い問題と考えられ必要性も高いが、生徒たち の正答率は20%台とかなり低い。生徒の調 査票をみると、周囲の長さと面積の関係から 方程式がたてられず、当然答えを導くことは できない。一方、親たちは縦・横の長さ、周 囲の長さと面積の関係は、生活の中でこうし た考え方を使うこともあり、それほど難しく ない学習だと思っている。

次は「不等式を使って会場に入場した人数

を求める」問題である。この学習も親たちにはそれほど難しい問題ではなく、「必要である」と考える者も5割近くいるが、生徒たちの正答率は26.6%で、正しく理解できる者は少ない。

表27は、図形の問題である。親たちは一 般的に図形の問題は難しいと考えている。 「相似比・面積比を使って三角形の面積を求 める」のが「とても+わりと難しい」52.4%、 「2つの三角形が相似であることの証明」は 48.3%、「2つの三角形の面積比を求める」 44.7%と、かなり難しい問題と感じている。 「必要である」割合もほぼ4割にとどまる。 生徒たちの正答率をみても、「相似の証明」 2.8%、「相似比や面積比を使って三角形の面 積を求める」ことを理解している者は11.9% にすぎず、「角の大きさを求める」問題のみ 6割の正解である。「2つの図形の関係を理 解し、面積を求める」問題も親たちには「と ても+わりと難しい」と感じる者が56.0%、 生徒の正答率も22.9%と低く、中学校で学ぶ

表26 方程式・不等式

		美	能 易 原	芰		Ų	必要 性	ŧ	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 . 6 %の食塩水300gに含まれる食塩の重さを求める	8.2 19	11.2	22.4	31.7 58	26.5 3.2	3.0	38.2	58.8	79.8
2 . 連立方程式を作る	10.0	15.9 5.9	25.9	32.3	15.9 3.2	7.9	45.7	46.4	68.8
3.連立方程式を解く	8.9 27	18.3	24.9	27.8	20.1 7.9	9.1	42.1	48.8	69.7
1 . 長方形の面積と周囲の関係 から方程式を作る	10.2	24.1 I.3	27.1	25 <u>.3</u>	13.3 3.6	5.5	43.9	50.6	27.3
2 . 方程式を解き、縦・横の長 さを求める	11.3	21.4	29.2	24.4	13.7 3.1	7.3	43.0	49.7	27.4
1.不等式を使って子どもの入館者数を求める	10.7	22.5 3.2	34.9	20.7	11.2 1.9	10.8	42.2	47.0	26.6

必要があると答えた割合も3割と、難しく学 ぶ必要のない内容と考えている。

次に、表28で、関数の問題をみてみよう。 これらの問題は高校入試に出題されることの 多い問題である。一次関数の問題を「とて も+わりと難しい」と感じる親は5割、二次 関数の問題では65%に達する。当然学ぶ必 要があると思う割合は低く、むしろ二次関数では「必要ない」が3割で、生徒の正答率も低い。これらの問題は三角形の面積を条件としたり、相似な三角形の比から答えを導き出す複雑な問題で、これが理解できたからといって日常生活に役立つとは思えない難しい学習と考えるのだろう。

### 表27 相似比と面積

(%)

		冀	# 易 月	度		ļ	必 要 性	ŧ	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 . 2 つの三角形が相似であ ることを証明する	14.3	34.0	20.2	23.2	8.3	14.5	46.9	38.6	2.8
2.2つの三角形の面積比を 求める	14.9	29.8 .7	26.8	19.0	9.5	13.3	48.1	38.6	36.7
3 . 相似比・面積比を使って 三角形の面積を求める	19.3 52	33.1 2.4	23.5	15.1	9.0 l.1	11.5	52.1	36.4	11.9
4.角の大きさを求める	10.2	24.0	21.6	25.0	19.2 1.2	9.8	45.7	44.5	59.6
5 . 2 つの図形の関係を理解し、 面積を求める	19.9 56	36.1 5.0	20.5	15.7	7.8	20.4	50.0	29.6	22.9

### 表28 一次関数、二次関数と座標

		糞	惟 易 ß	芰		Ų	ŧ		
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 . 2 点を通る直線の y 軸と 交わる座標を求める	17.4	31.6	23.4	19.2	8.4	20.4	48.1	31.5	30.3
2.点Aの×座標の値aを求め る	20.5	32.6 3.1	27.7	12.0	7.2 9.2	23.0	47.3	29.7	22.0
1 . 二次関数のグラフ上の点P の座標を相似な三角形の 比の関係から求める	35 <u>.</u> 9	29.3 5.2	20.4	10.2	4.2	27.4	47.6	25.0	2.8
2.動く座標点を通る直線の 式を三角形の面積を条件 として求める	38.9	25.7 6	19.2	11.4	4.8 5.2	29.9	43.9	26.2	11.9

表29は確率・統計の問題を示した。「とても+わりと難しい」と答えた割合が4割、「必要である」が37.6%と、必要性をあまり感じない学習である。生徒の正答率は23.9%と低いが、高校生にはかなり興味を示す学習となっている。

数学においては、基本的な式の計算、簡単な方程式は学ぶ必要があるが、複数の問題が組み合わさった難解な問題は不必要と考える傾向がある。つまり教科書の例題程度が中学の数学として必要な学習内容と考えている。しかし、前述したように、教科書の例題程度を理解しただけでは、高校受験の数学としてはやさしすぎる。私立高校を希望するならいっそう難しい数学にチャレンジしなくてはならない。義務教育修了時の「必要な学力」と「受験の学力」との間に大きなギャップを感じる。

## 4)理科

中学校の理科の学習は第1分野は物理、化学的な内容、第2分野は生物・地学的な内容を実験観察を通して科学的に調べる能力と自然現象に対する理解を深める。ここでは、「炭酸ナトリウムの分解」「水溶液の性質」「磁石・電熱線と電流との関係」「地震観測記録の理解」「仕事とエネルギー」「植物の光合成とでんぷん」「ホニュウ類の特徴と進化」「ヒトの機能と働き」「火成岩の組織や生成」「太陽系と星座」「天気図の理解」と、ほぼ3年間に学ぶほとんどの内容を示した。

表を追ってみていきたい。表30「炭酸ナトリウムの分解」を「とても+わりと難しい」と感じる親は20%台と比較的やさしい学習となる。生徒の正答率を平均値でみると83.3%と高く、「石灰水を入れて振ると白く

表29 確率・統計

(%)

		美	惟 易 ß	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		Ų	ŧ		
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.10円硬貨3枚、50円硬貨1枚で作1枚、100円硬貨1枚で作れる金額は全部で何通りか	11 <u>.</u> 2	30.0	27.6	20.0	11.2 (.2	13.3	49.1	37.6	23.9

#### 表30 炭酸ナトリウムの分解

			<b>集易</b> 原	 芰		Į.	 必 要 性	ŧ	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の 正答率
1.気体に石灰水を入れて振 ると白くにごるとき発生 する気体	0.0	16.0	29.3	33.4	13.3	9.7	51.4	38.9	97.7
2 . 分解によってできた化合 物の液体	8.1	20.3	32.4	28.4	10.8	8.3	55.6	36.1	72.7
3.分解とよばれる化学変化	9.7	13.9 3.6	33.3	25 <u>.0</u>	18.1 3.1	6.9	52.8	40.3	79.5

にごるとき発生する気体」を理解している生徒は97.7%に達する。しかし、こうした学習が「必要である」と答えた親は38.9%と低い。

次いで、表31は、「水溶液の性質」を実験・観察を通して理解する学習である。親たちにはやさしいと感じられる学習であるが、必要性はそれほど高くない。一方、生徒にとっては実験・観察を通して理解する学習は、体験を伴う楽しい授業であり、学習意欲を高

める学習となり、それが正答率を高めている ようだ。

では、「磁石や電熱線と電流の関係を理解する」学習をみてみよう。表32によれば、「磁石と電流の関係」「電熱線と電流・抵抗」の学習を「とても+わりと難しい」と答える親は3割、必要性では「電熱線と電流・抵抗」は、ほぼ5割と理科の学習の中では必要性の高い学習である。電気機器は日常生活で欠かすことのできない必需品である。修理までと

表31 水溶液の性質

(%)

		美	惟 易 ß	芰		ų	ŧ		
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.赤色リトマス紙が青色に 変化する液体	5.5 17	12.3	34.2	28.8	19.2	4.2	51.4	44.4	45.5
2.水分を蒸発させた後に固 体の物質が残る液体	6.9	8.3	33.5	31.9 51	19.4	9.7	50.0	40.3	73.9 21.6
3.水溶液の特徴による化学 変化の違いを知る	9.9	14.1	39.3	26.8	9.9	9.9	54.9	35.2	69.9

\* = 2つ正解73.9%、1つ正解21.6%

### 表32 磁石・電熱線と電流との関係

										( 70 )
			美	推 易 恳	Ž			必要性	ŧ	
		とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
磁弦	1 . 棒磁石が作るN極付近 の磁界の様子	11.1	22.2	27.8	29.2	9.7	7.1	55.8	37.1	64.8
磁石と電流の関係	2.検流計の針が(-)に 大きく振れるとき棒 磁石の操作	11.1	23.6	29.2	25.0	11.1 5.1	8.6	60.0	31.4	21.6
の関係	3.棒磁石のN極を下に向 けてコイルの上を水平 に通過させるときの 検流計の針の動き方	15.3 32	16.7	26.4	27.7	13.9 1.6	11.4	52.9	35.7	39.8
電熱線	1.電熱線の抵抗	14.3	14.3	30.0	32.8	8.6	12.7	42.3	45.0	55.7
電熱線と電流・	2.電熱線1本に流れる電 流が最も大きい回路	11 <u>.</u> 4	15.7 7.1	30.0	34.3	8.6	11.3	38.0	50.7	43.2
抵抗	3.電熱線1本に流れる電 流が最も小さい回路	12.9 30	17.1 0.0	27.1	34.3	8.6	9.9	42.3	47.8	35.2

はいかないまでも、使い方や原理は知っていてもよいと思うのだろう。しかし、親が考えるほど、生徒にとって理解するのがやさしい学習ではないようだ。

表33は、「地震観測記録を理解する」学習である。この学習はかなり難しい学習と考えられ、「震源から観測地までの距離の表し方」が「とても+わりと難しい」と答える親は51.5%と5割を超え、「必要である」数値はこの領域の中では最も低く28.6%である。生徒の正答率では、「地震観測記録の理解」の中で、「地震波と震源の位置・時間の関係」

は86.4%の正答率であるが、「地震波を読み 所要時間と到達距離をグラフで示す」「震源 から観測地までの距離の表し方」の正答率は 3割にすぎない。問題の出し方にもよるので あろうが、水溶液の性質や炭酸ナトリウムの 分解のように実験を体験する学習と違って、 模型や機械を使っての机上の実験は定着率も 低くなるのだろう。同様な傾向が表34「仕 事とエネルギー」についてもみられる。また、 「仕事とエネルギー」の学習を「必要ない」 と考える親はほぼ2割に達する。

表35は「植物の光合成とでんぷん」につ

#### 表33 地震観測記録の理解

(%)

		糞	# 易 月	度		ļ	ŧ		
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.地震波と震源の位置・時 間の関係の理解	14.1	22.5	28.1	25 <u>.</u> 4	9.9 5.3	5.6	46.5	47.9	86.4 18.2
2.地震波を読み所要時間と 到達距離をグラフで示す	16.9 39	22.5 0.4	31.0	21.1	8.5 9.6	9.9	53.5	36.6	31.0
3. 震源から観測地までの距 離の表し方	21.5 51	30.0 .5	30.0	11.4	7.1 3.5	12.9	58.5	28.6	28.4
4.地震が放出するエネルギーの大小に影響する要因	16.9 43	26.8	32.4	16.9	7.0 §.9	9.9	52.1	38.0	63.6

\* = A 86.4% B 18.2%

### 表34 仕事とエネルギー

		Ĭ	維易原	Ē		!	必要性	Ė	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 . 台車の高さを変えないで質量を 2 倍にしたとき、物差しが押し込まれる長さ	9.9	16.9 5.8	35.1	26.8	11.3	15.5	45.1	39.4	81.8
2.台車の速さと質量がとも に2倍になると運動エネ ルギーは何倍か	9.9	25.4 5.3	30.8	25.4	8.5 8.9	15.5	47.9	36.6	29.5
3 . 台車の高さが10cm、質量 が 4 kgのとき、物差しは 何cm押し込まれるか	11.3 33	22.5 3.8	32.3	25.4 33	8.5	18.3	46.5	35.2	78.4

いての学習である。古い教科書にみられるこの学習を学んだ体験を持っている親も多いことだろう。「とても+わりと難しい」と感じる親は3割、むしろやさしい内容となっている。生徒の正答率も6割を超え、親と子の難易度の評価が一致する。

表36、37は生物に関する問題である。「ホニュウ類の特徴と進化」を「とても+わりと難しい」と感じる親たちは2~3割、理科ではやさしい問題に分類され、生徒の正答率も高い。理科の学習で最も必要性の高い学習は、表37の「ヒトの機能と働きを理解する」学習

であり、「必要である」割合は6割を超える。 難易度をみると、「とても+わりと難しい」 と感じる親は2~3割、むしろ「あまり+ぜ んぜん難しくない」数値がほとんどの項目で 5割を超え、やさしい学習となっている。近 年、健康志向が強くなっており、健康的な生 活をするためにはこの程度の知識は常識であ るのだろう。生徒の正答率は「脳組織の名称」 が68.2%、「記憶・理解の中枢神経」が 56.8%と高い。しかし、他の項目では2~4 割程度の正答率である。親にとって必要性が 高い学習であるが、親と子で難しさの認識に

#### 表35 植物の光合成とでんぷん

(%)

		美	能 易 原	芰		ļ	ŧ		
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 . 緑色の葉をつけたアサガオ を 1 昼夜暗室に置く理由	5.7	21.4	28.6	32.9	11.4 1.3	8.7	47.8	43.5	64.8
2.ヨウ素液に最も染まるのはどのような葉か	7. <u>1</u>	24.3 .4	28.6	28.6	11.4 5.0	8.7	55.1	36.2	63.6

#### 表36 ホニュウ類の特徴と進化

		美	惟 易 ß	芰	ļ				
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 . ホニュウ類の特徴、ホニュ ウ類でも卵で生まれる動物	7.1	17.1 2	25.7	28.7	21.4 ).1	7.2	53.7	39.1	67.0
2.セキツイ動物の発生で魚 類・ホニュウ類までは共通 の祖先から進化したと考え られる理由	10.1 31	21.8 .9	29.0	29.0	10.1 9.1	8.8	47.1	44.1	52.3

差がある学習でもある。

表38は、「火成岩の組織や生成」の学習で ある。ここでは火成岩を取り上げ、その生成 の過程、含まれる鉱物の名前などを理解させ る内容を取り上げた。この学習は今回調査し た中で、最も必要性の低い学習で、「必要で ある」と答えた親は2割にも達しない。逆に 「必要ない」が2~3割と「必要である」を 上回る。難易度をみると、「とても+わりと 難しい」が4割を超え、特に「アンザン岩に 含まれる鉱物」「アンザン岩と同じ斑状の組 織を持つ岩石」の項目はほぼ5割の親たちが 難しいと感じる内容である。一方、生徒の正 答率をみると、「アンザン岩に含まれる鉱物」 はほとんどできていないが、「アンザン岩の でき方」(53.4%)、「アンザン岩と同じ斑状 の組織を持つ岩石」(60.2%)はかなり理解 している。

表39、40は、「太陽系と星座」「天気図の理解」である。「太陽系と星座」では、「特に必要とは思わないが、知っていてもよい」と考える親たちが多く、「火星としし座の特徴」は「必要である」が26.1%に対し、「特に必

要とは思わないが、知っていてもよい」が66.7%と2倍以上となっている。生徒の正答率は、「星座の間を動いている火星のような天体」が72.7%と高い数値を示しているが、「しし座の星は西へ動いたように見えるが互いの位置は変わらず点のように見える理由」が6.8%と、理由を考え叙述する問題はほとんどできていない。

「天気図の理解」は、「必要である」割合が高く、学習の難易度もそれほど高くない。生徒たちの正答率も高く、近年、気象予報士などの試験が話題になるなど関心も高いのではないだろうか。

理科を総合的にみると、「ヒトの機能と働き」「電熱線と電流・抵抗」「天気図の理解」は生活との関連が高く、必要性の高い学習といえる。逆に、日常生活ではほとんど使わない知識の「火成岩の組織や生成」「仕事とエネルギー」は必要ない学習と位置づけられ、それ以外の学習は「特に必要とは思わないが、知っていてもよい」となる。生徒の正答率は観察・実験を通して直接体験する学習は定着率が高い。

表37 ヒトの機能と働き

(%)

			生 易 5						
		美	芰	ļ					
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1.肺胞へ血液を送り出して いる心臓の部屋の名称		10.0	25.7	40.0	15.7 5.7	4.3	31.9	63.8	33.0
2.二酸化炭素を多く含んた血液が流れている静脈		11.4 0.0	25.7	35.7 54	18.6 4.3	4.3	29.0	66.7	43.2
3 . 毛細血管からしみ出して 織液となるもの		17.1 5.7	28.6	32.8	12.9 5.7	7.2	34.8	58.0	36.4
4.脳組織の名称	11.4	11.4 2.8	27.1	38.7	11.4 ).1	2.9	31.9	65.2	68.2
5.記憶・理解の中枢神経	11.4	14.3 5.7	22.9	40.0	11.4 1.4	2.9	29.0	68.1	56.8
6 . 呼吸器・消化器・心臓の側 きを調節する中枢神経		17.1 2.8	30.1	27.1	10.0	4.3	34.8	60.9	23.9 <sup>*</sup> 1.1

\* = 記号23.9%、名称1.1%

## 表38 火成岩の組織や生成

(%)

	難易度						必要性			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率	
1.アンザン岩のでき方	18.6	21.4	32.9	20.0	7.1 7.1	21.7	59.5	18.8	53.4	
2.アンザン岩に含まれる鉱物	20.0	28.6 8.6	30.0	17.1	4.3	27.5	56.6	15.9	2.3	
3 . アンザン岩と同じはん晶と 石基からなる斑状の組織を もつ岩石	20.3	27.6 7.9	26.1	21.7	4.3	27.5	56.6	15.9	60.2	

## 表39 太陽系と星座

(%)

	難易度						必要性			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率	
1.星座の間を動いている火 星のような天体	12.9	18.6	25.7	28.5	14.3 2.8	7.2	50.8	42.0	72.7	
2. しし座の星は西へ動いた ように見えるが互いの位 置は変わらず点のように 見える理由	18.6 37	18.6	27.1	30.0	5.7 5.7	8.7	60.9	30.4	6.8	
3.火星としし座の特徴	14.3	20.0	38.6	20.0	7.1 7.1	7.2	66.7	26.1	35.2 54.6	

\*=2つ正解35.2%、1つ正解54.6%

## 表40 天気図の理解

									( 70 )	
	難 易 度						必要性			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率	
1.天気図から季節を理解する	7.1 17	10.0	35.7	24.3	22.9	2.9	39.7	57.4	76.1	
2.天気図の気圧を読む	11.4	20.0	31.5	27.1	10.0	5.8	55.1	39.1	48.9	
3 . 天気図から翌日の天気を 予想する	12.9	12.9	25.7	35 <u>.6</u>	12.9 3.5	4.3	37.7	58.0	63.6	

表41 発音・文法の理解

(%)

		難 易 度			Ų				
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1 . 発音	7.6	10.3	15.9	33.8	32.4	1.4	15.3	83.3	74.7
2 . 名詞の複数形	7.0	7.7	13.4	40.2	31.7 1.9	0.7	20.1	79.2	84.9
3.現在完了形	9.1	15.4 .5	25.2	27 <u>.</u> 9	22.4	2.1	27.8	70.1	56.3
4 . be動詞	9.8	10.5	22.4	35.6 57	21.7	2.8	20.8	76.4	38.6

# 表42 英文を日本語に訳す

(%)

		糞	# 易 月	度		ų			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
Mr. and Mrs. March made their daughter a pianist.	9.0	11.0	19.3	36.6	24.1 0.7	0.7	22.4	76.9	47.3
2 . Please don't call me "Shorty".	9.7	11.0	17.2	34.5	27.6 2.1	2.1	23.8	74.1	60.2
3 . The story made me sad.	8.3 18	9.7	20.1	32.7	29.2	2.1	22.4	75.5	74.2
4 . You must keep your room clean.	9.0	9.7	17.9	34.4	29.0	0.7	20.3	79.0	74.2
5 . Playing tennis makes me happy.	9.0	8.3	19.3	34.4	29.0 3.4	2.8	21.7	75.5	74.2

### 5)英語

英語は中学校で学ぶ必要が「とても必要」 66.5%、「わりと」を合わせると91.3%と、 国語に次いで高い必要性のある教科である (P.19 表13)。今回のほとんどすべての調査 項目で必要性が7割を超える。英語教育で求 められているのは、コミュニケーションの手 段に英語が必要であるということだろう。 表41は発音・文法の理解を示した。「発音」について親たちは「必要である」と8割が感じ、「あまり+ぜんぜん難しくない」も7割で、生徒の正答率も高い。「文法」についても必要性は高く7割を超える。「be動詞」では「とても+わりと難しい」と感じるより「あまり+ぜんぜん難しくない」と感じる親がほぼ3倍となっている。しかし、生徒の正答率は発音や名詞の複数形ほど高くない。生

表43 英文を読んで内容を理解する

(%)

							( % )			
			堇	惟 易 ß	芰		Ų	必要!	ŧ	
		とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しく ない	ぜんぜん 難しく ない	必要 ない	特に必要と は思わない が、知って いてもよい	必要で ある	生徒の正答率
1	1 . to do those things の 表していること	9.7	18.8	21.5	38.2	11.8 5.0	2.1	28.4	69.5	42.3
	2 . 内容に関する質問に 英語で答える	11.1	18.1	25.0		11.1	2.1	26.2	71.7	41.1
	3.全文を読んで内容を 理解する	12.5	18.8	27.8		11.1 ).9	2.1	22.7	75.2	26.9
	4 . those experiences の表す意味	11.3	13.5	34.8	_	11.3	2.9	30.2	66.9	38.5
II	1.oneは何を意味するか	8.4	13.3	28.7		18.2	2.1	23.9	74.0	49.4
	2 . thatは何を意味するか	8.4	16.1 .5	31.4	_	14.0 1.1	2.1	26.8	71.1	42.9
III	1.日本文に訳す	11.9	14.7	23.1	37.0	13.3 5.3	2.2	21.0	76.8	36.9
	2.文の内容に適した単 語を書く	11.2	12.6	29.4	_	13.3	2.1	22.7	75.2	39.9
	3.Not todayと同じ意味 の語を選ぶ	11.2	14.7	29.4		11.2 1.7	2.9	26.4	70.7	44.6
	4.本文を読み、内容を 理解する		16.2	30.2		14.1 ).9	1.4	22.1	76.5	34.8
IV	2人の会話を理解して図 書館の位置を知る	10.6	14.9	27.0	23.4	24.1 7.5	1.4	20.6	78.0	53.2

徒たちが学んでいる英語教育と親たちの学ん だ英語教育の差であろう。

表42では簡単な英文を日本語に訳すことを 示した。親たちにとってはこうした学習は必 要であり、やさしい問題と考えられている。 生徒の正答率も高い。

表43は英語の文章を読んで内容について答えを導く問題を示した。親たちにとっては、それほど難しい問題だと感じてはいないし、こうした学習に高い必要性を感じている。しかし、生徒の正答率は低い。英文を読んで内容を理解し、答えを導く形式の問題は英語力の他に読解力と表現力を必要とする。生徒たちにとって、1つ1つの単語を正確に記憶したとしても、全体の文が読みとれなければ答えは出せない。国語の読解力と同じことが要求される。これこそ現代の社会が求めている英語力であろう。

親世代で学習した英語力が社会で通用しないこと、社会で求められている英語の能力とは何か、つまり文法的な正確さや語句の正確さではなく、文を読んで全体を捉え概要や要点を読みとる能力であることを親たちは知っている。そうした観点で英文を読むと、少しくらい単語や発音が正確でなくても全体の文章は読みとることができるので、親たちにとってはやさしい学習と感じるのであろう。

親たちに問題を解いてもらった感想も、「英語」は「何も参考にしないでほとんどできた」33.1%と最も高い。問題がやさしかったこともあろうが、生徒の正答率と比較すると、親たちの方が全体の概要を把握する力が体験的に身についている。今回アンケートということで、ヒアリングテスト調査ができなかったが、英文を聞いて答える問題では親は難しいと感じるだろうし、生徒たちの正答率はもっと高くなっていると推測できる。

以上、5教科の学習内容を詳しくみてきた。 その内容をまとめると、「必要な学習」は、 「漢字の読み書き」「尊敬・謙譲・ていねい語 の使い方」「日本の国の位置や地形の理解」 「資源の開発・産業の発展と環境問題」「地方 自治」「日本国憲法と国会の仕組み」「式の計 算や公式」「簡単な方程式」「ヒトの機能や働 き」「電熱線と電流・抵抗」「天気図の理解」 があげられる。英語については、すべての項 目で必要性が高い。これらの学習は、日常生 活との関連が深く、自分たちの生活の基礎的 な知識や理解になる。

逆に、「必要でない学習」は、「『克己心』が書ける」「万葉集や古今和歌集の作者」「太田道灌と同時代の人物」「二次方程式の解の公式」「一次関数・二次関数」「火成岩の組織や生成」などが並ぶ。これらの学習は、日常生活に特に使わないので必要ないと判断されており、また、難易度の高い学習が多い。

「特に必要とは思わないが、知っていてもよい学習」は、「修飾語・被修飾語」「万葉集や古今和歌集の作者」「古語の意味や助詞・助動詞の使い方を理解し古典を読む」「小説を読み作者の人生観を理解する」「降水量と気温から地域の特徴を知る」「因数分解」「式の値」「炭酸ナトリウムの分解」「水溶液の性質」「磁石と電流の関係」「地震観測記録の理解」「ホニュウ類の進化」「太陽系と星座」などがあげられる。これらは日常生活をする上では、特に知らなくても困らないが、古典や小説を読む、天体観測をするなど、興味関心、趣味的なことに重点を置いた、人間生活を豊かにする学習であり、教養とはこうした学習の積み重ねではないだろうか。

こうした学習をすべて中学校で学習することは、学校週5日制に伴う授業時数削減など

# 3. 教科外の学習の場に求めるものDDD

中学校では、教科の学習以外にも様々な活動をしている。在学中の3年間に行われるそうした行事に対して、親たちはどのような期待をよせているのだろうか。

図4によると、行事の中で保護者が「とて も必要」と思うもので高い割合を示したのが、「卒業式」「入学式」、そして「修学旅行」で ある。この3つは「とても必要」と「わりと 必要」を合わせると80%を超える。「運動会」 「社会見学」「遠足」「文化祭」は70%台。 「授業参観」「合唱祭などの生徒による音楽会」 「芸術鑑賞会」は60%程度になっている。

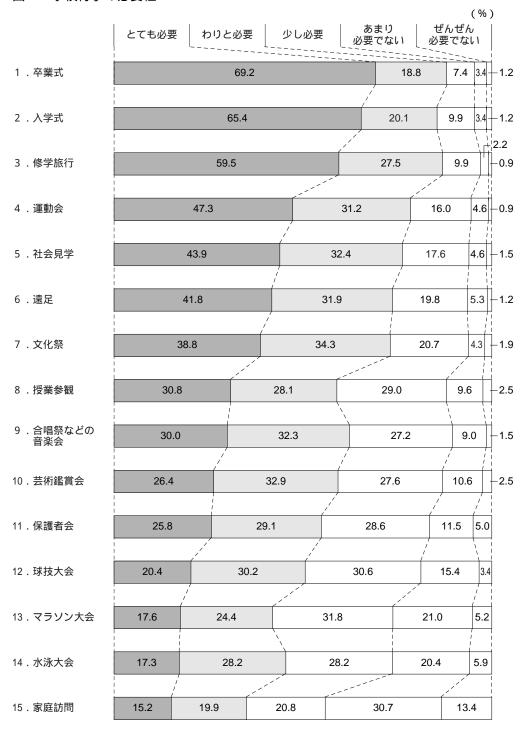
それ以下には「保護者会」「球技大会」「マラソン大会」「水泳大会」「家庭訪問」が並ぶ。 生徒に燃え上がってほしい体育的行事や定期 的な情報交換の場である「保護者会」が軒並み 低いことは気になるところだ。最近は夫婦共 稼ぎ家族の割合が高いためか、「家庭訪問」 は「とても必要」と「わりと必要」を加えた 数値が35.1%にとどまり、それほど必要な ものになっていない。

### 1)中学校で教えてほしいこと

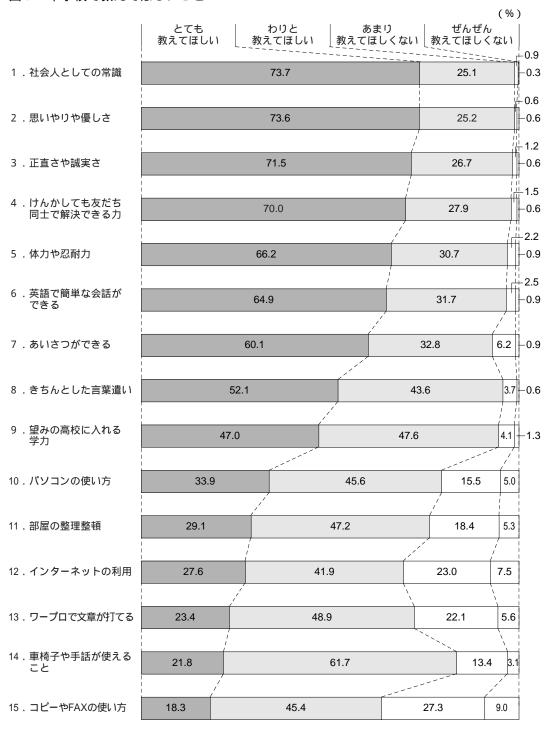
さて、行事以外の面に目を向けてみよう。 親たちが学校に求めているものは図5のようになる。「社会人としての常識」「思いやり や優しさ」「正直さや誠実さ」「けんかしても 友人同士で解決できる力」は「とても教えて ほしい」割合が70%台を示し、「わりと教え てほしい」を加えると90%を大きく超える。 学力だけでなく、社会で必要な力を求めてい る様子がはっきりうかがえる。こうした社会 性の他には、「英語で簡単な会話ができる」 「あいさつ」が60%台、「言葉遣い」のような 日常生活で必要なことや、「望みの高校に入 れる学力」などが40~50%台で続く。

OA機器の発達とともに、家庭での利用率も高まってきたが、「パソコンの使い方」「インターネットの利用」「ワープロで文章が打てる」などは「わりと教えてほしい」の割合を加えると、どれも高い値を示す。「車椅子や手話が使えること」は「とても教えてほしい」の割合は21.8%とそれほど高くないが、「わりと教えてほしい」の61.7%を加えると83.5%に達する。社会の高齢化への思いや、障害のある方々への意識が強く感じられる。

#### 図4 学校行事の必要性



#### 図5 中学校で教えてほしいこと



### 2)通知表について

各学期末に担任から手渡され、親子で一喜 一憂するのが通知表である。

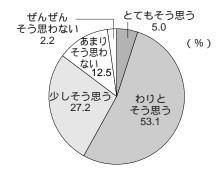
図6は通知表についての考えを示す。「学校は子どもの能力を正しく評価していると思うか」という問いに、「とてもそう思う」親は5.0%にすぎず、通知表に対する親の不満の度合いを強く示している。だが、「わりとそう思う」の53.1%と、「少しそう思う」の27.2%を合わせると85.3%に達し、おおかたの親は子どもの通知表に一応の評価を与えていることがわかる。

### 3)これからの中学校に思うこと

昨年末に新学習指導要領が告示され、中学 校も新たな方向への転換をせまられている。 これからの中学校に求められる改善点についてたずねた結果が図7である。

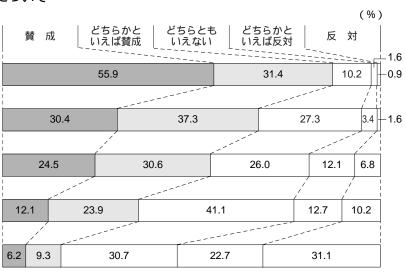
今、「心の教育」が求められているが、家庭でのしつけの重要性を認める声が高いことがわかる。「学校以上に、家庭での親子関係やしつけを充実する努力が必要だ」に賛成と答えた人が55.9%と高く、「どちらかといえば賛成」を加えると87.3%になる。いわゆる「生きる力」を聞いた問いには「賛成」と「どちらかといえば賛成」を加えた値が67.7%を示し、知識重視から意欲重視の学力観への発想の転換は受け入れられている。高校入試では「内申書を重視した選抜を行うべきだ」という意見は12.1%(「どちらかといえば」を加えると36.0%)であり、41.1%が「どちらともいえない」と答えているあたりに、この問題の難しさが現れているようだ。





#### 図7 中学校改善の提案について

- 1.「心の教育」推進のために 学校以上に家庭での親子関 係を充実する努力が必要だ
- 2. 自ら学ぶ力をつけるため、 知識重視から意欲重視の学 力観へ変えるべきだ
- 3.学ぶ意欲を高めるための選 択教科の幅を広げ、好きな ことを中心に学習すべきだ
- 4 . 高校入試では内申書を重視 した選抜を行うべきだ
- 5 . 部活動の指導は地域の社会 体育やスポーツクラブなど で行うべきだ



少子化で学級数や教員定数が減少し、部活動の数も減ってきた。こうした背景から地域社会体育やクラブへの移管も検討されている。しかし、こうした考えに「賛成」は6.2%で、「どちらかといえば賛成」を加えても15.5%にすぎない。「反対」と「どちらかといえば反対」を加えると53.8%となっており、生徒だけでなく保護者の部活動への期待度も依然として高いようだ。

新教育課程では選択教科時数が増えることになっている。このことについての親の反応は「賛成」24.5%、「どちらかといえば賛成」が30.6%、「どちらともいえない」が26.0%である。

#### 4)家庭でしていること

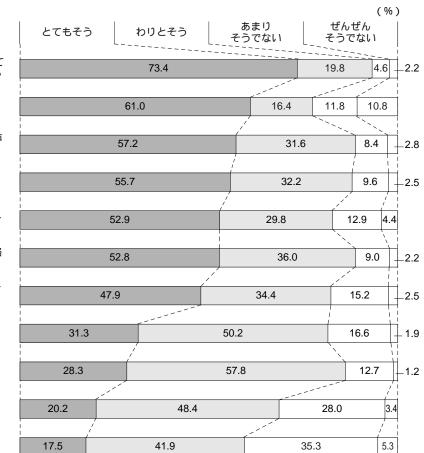
前項で、「学校以上に、家庭での親子関係や

しつけを充実する努力が必要だ」に「賛成」 と答えた人が55.9%、「どちらかといえば賛 成」と答えた人が31.4%いた。こうした意 識を反映しているのが図8の各項目である。

「とてもそう」と「わりとそう」を加えて80%を超えるものが8項目ある。「朝、出かけるとき『行ってらっしゃい』と声をかけ、「子どもが夜中まで起きていたら声をかけ、「『おはよう』『おやすみなさい』のあいさつをする」に、「とてもそう」と答えた割合は55%以上と高い。

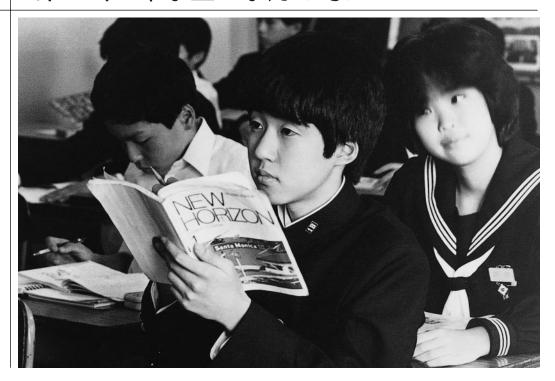
「子ども部屋に1日1回は入ってみる」「外出先や遊び場所は連絡させる」「服装や髪型には注意している」も50%前後の親が「とてもそう」と答え、「わりとそう」を含めると80%を超える。親としての責任を強く感じている様子がよくわかる。

#### 図8 子どもとのかかわり



- 1 . 朝、出かけるとき「行って らっしゃい」と声をかける
- 2.毎月定額のお小遣いを あげている
- 3. 夜中まで起きていたら声 をかける
- 4.あいさつをする
- 5.子ども部屋に1日1回入 ってみる
- 6.外出先や遊び場所は連絡させる
- 7.服装や髪型には注意している
- 8.学校のことを話す
- 9. 友だちを知っている
- 10. 言葉遣いを注意する
- 11. テストや勉強に目を通す

# 第3章 中学生の学力を考える 現場からの報告



中学生にどんな学力が必要なのか、そのためにはどんなことを教えればよいのか。教師一人一人は悩んでいても、何をどう教えるのか具体的な内容は教師同士での議論の域を出ないことが多い。

そこで、この章では、中学生に直接指導している教師の立場からデータを解釈し、各教科でどのような学力を身につけさせたいと考えているのか考察してみた。

# 1.国語 DDD

今回の調査で、親たちの必要性が最も高い 教科は国語である。一方、生徒たちに「将来、 一番役に立つ教科」をたずねると国語は 13.9%で、技術・家庭科、英語、社会に次い で4位となる。親たちが必要な教科のトップ にあげていることと差がみられる。

### 1)学習内容と必要性

では、親たちが考える学習内容の必要性を 項目を追って考えてみたい。今回の調査項目 を、親の必要性の高い学習内容から順位をつ けると以下の通りである。

- 尊敬・謙譲・ていねい語の言い方ができる
- 2. 漢字の読み書き
- 3. 随筆を読んで、作者の考え方や感 じ方、言いたいことを読みとる
- 4.小説を読み、作者の人生観や人間 観を読みとる
- 5.修飾語・被修飾語の理解
- 6. 古語の意味や助詞・助動詞の使い 方を理解し古典を理解する
- 7.万葉集などの古典の知識

この内容を中学校で指導している現状と昨年12月に示された新学習指導要領も視野に入れて考えてみる。

「尊敬・謙譲・ていねい語の言い方」は、 日本の社会では現在でも、敬語をきちんと使 うことを要求される。以前は家庭内の会話で も敬語が使われ、敬語の使われ方は家庭教育 で身につけることが多かった。現状では、国 語の授業以外に学校教育のあらゆる場面で指 導しなければなかなか身につかないものの 1 つである。親の必要性が高いだけに、家庭で のしつけにも期待したいところである。

次に、「漢字の読み書き」である。漢字の学習は、親にとって必要性の高い学習となっている。その中で、親たちが「必要ない」と考える数値の高い漢字は漢字を書くことで、「克己心」19.6%、「翻す」11.1%、この2語がわずかに1~2割である。これら2語の難易度も、ほぼ2割の親が「とても難しい」と答えている。自由で恵まれた社会の中では、「克己心」という語は死語に近い。同様に、「翻す」も日常生活ではあまり使われない語である。一方、必要性の高い他の語は日常生活の中でどれもよく使われており、当然の結果である。

では、随筆や小説を読んで作者の心情や考え方を読みとることはどうだろうか。ほぼ5割を超える親たちが「随筆を読んで、作者の考え方、感じ方、言いたいことを読みとる」ことは必要だと考えている。正確には随筆文は文学的文章と説明的文章の2つに分けられ、今回の例題は説明的文章にあたる。現在の学習指導要領でも必ず押さえる内容で、2002年の新学習指導要領でも1学年で、

話や文章の中の段落の役割や文と文との接続関係などを考えること。

単語の類別について理解し、指示語や接続 詞及びこれらと同じような働きを持つ語句 などに注意すること。

との指導事項がある。調査内容の「段落を結 ぶ接続詞の理解」「指示語が意味する語」「作 者の言いたいことを理解する」は、これらの 事項が達成できるか否かを確かめる問題である。同じ新学習指導要領1学年の「読むこと」 には、

文脈の中における語句の意味を正確にとら え、理解すること。

とあり、「指示語の意味する語」「『鈍い』と同じ意味に使われている単語」「文全体の読 みとり」はそれにかかわる問題である。

小説については随筆よりわずかに必要性が低くなるが、新学習指導要領の第1学年「読むこと」の、

文脈の中における語句の意味を正確にとら え、理解すること。

文章の展開を確かめながら主題を考えたり 要旨をとらえたりすること。

と重要な内容となっている。説明的な文章・ 文学的な文章にかかわらず、読みの基本とな るような力を養う大切な問題と考えられる。 このねらいに合わせて考えると、調査問題の 「なぜ『よけいな』と言っているのか」「『この辺 の山をよく知っているのか』と尋ねた気持ち と共通する段落の理解」が重要な課題である。 しかし、親たちにとっては「『この辺の山をよく 知っているのか』と尋ねた気持ちと共通する段 落の理解」については、小説に関する問題の 中では最も必要性が低く、今回の国語の学習 項目全体からみても必要性が低い。小説に関 する学習は学校での学習より日常生活の中で 本や新聞を読むことで身につけた方がよいと 考えているのか、それとも親たちの学習体験 に基づく考えなのか。

「修飾語と被修飾語の理解」では、修飾語は被修飾語の意味を限定する。だから、本来は、文を理解する上でも、文に述べられていることをイメージする上でも修飾語と被修飾語の関係を理解することは大変重要なことである。しかし、親の必要性は低い。問題の示し方がどの語がどの語にかかっているか考えなくても理解できる単純なものであったためか、日常生活の中で修飾語、被修飾語を意識しないで生活しているために実感が持てないのだろうか。「古語の意味や助詞・助動詞の

使い方を理解し古典を理解する」「万葉集な どの古典の知識」など、古典に関することは どのように考えるのだろうか。

現行の学習指導要領も新学習指導要領でも 指導すべき内容に変化はなく、

古典としての古文や漢文を理解する基礎を 養い古典に親しむ態度を育てるとともに、 我が国の文化や伝統について関心を深める ようにすること。その教材としては、古典 に関心を持たせるように書かれた文章、易 しい文語文や格言・故事成語、親しみやす い古典の文章などを生徒の発達段階に即し て適宜用いるようにすること。

と示されている。語釈も多く与えられている。 調査内容はこの学習指導要領に沿って行われる中学校の古典学習の成果をみる典型的な問題である。しかし、古典に関しては親たちの感じる必要性は低く、「必要ない」とする割合が1~2割。生徒の正答率も低く、特に万葉集の知識についてはまったく記憶していないというのが現状である。

考えてみれば、万葉集や古今集に詠まれた 和歌は、その歌の詠まれた情景やそれを見た ときの作者の気持ちを想像し、作者の心情を 読みとり、歌のリズムを味わうことができれ ばよいのであるから、歌と作者名の知識がわ かるだけでは試験のための知識で終わってし まう。近年、このような問題が出されるとき は、作者名は選択肢として与えられ選ばせて いるのが実状である。特に、新学習指導要領 では「文学作品などの成立年代やその特徴に 触れる場合は、通史的に扱うことをしないこ と」としているので、今後このような問題は 減少すると考えられよう。しかし、古典に対 する思い入れがもう少しあってもよいように 思うし、生徒の古典への関心を持たせる努力 が必要である。

#### 2)今後の国語教育

今回の問題を通し国語の学習全体をみる と、親たちは「敬語の使い方」「漢字の読み 書き」「説明的な文章の読み取り」、特に「敬 語の使い方」をはじめ、きちんとした言葉遣 いは中学校で教えてほしいと期待する割合が 高い。逆に、「古典の理解」「万葉集などの古 典の知識」は必要と感じていないし、子ども にとっても難しい学習内容と考えている。古 典などについては、知らなくても日常生活を する上では何の不自由も感じていないという 体験があるのかもしれない。また、「小説の 読みとり」の中で、登場人物の気持ちを読み とる能力が必要だと実感することもほとんど ない。考えてみると、親たちは国語の学力の 中で、実生活に役立つ力を重視しているとい える。この実学重視は、「文学的な文章の詳 細な読解に偏りがちであった指導のあり方を 改め、社会生活に必要な言語能力を育成する ことを重視し……」という「教育課程審議会 の答申」と合致している。

では、「国語の力」とは何なのだろうか。 国語の学力はペーパー試験では測れないも のが多い。

まず第一に「話すこと・聞くこと」の能力である。新学習指導要領の国語の目標は、表現能力の育成を重視し、「伝え合う力を高める」こととしている。社会生活で要求される「伝え合う力」は、「書くこと」「読むこと」の力よりも「話すこと」「聞くこと」の力である。そして、現在の生徒には聞く力が著しく欠けていると思われる。

また、新聞を読む場合、あるいは必要に応じて何かの解説文を読む場合、如何に客観性を旨として書かれた文章でも、それは確実に書き手の思想や立場の影響を受けている。したがって、文章を読むときには主旨を読みとると同時に、その文章を批判的に読んでいくると同時に、その文章を批判的に読んでいく、一般に行われているペーパーテストでは測れない。これからの世の中ではいっそう情報が氾濫すると予想されるだけに、ますます必要になっていくことだろう。さらに、話を聞く場合でも、相手の意図を正しく聞きとるために、相手の立場も考えなければならない。また、自分のことを話す場合も、自分の気持ちを客観

的に捉えられなくてはならない。これもペーパーテストでは測れない力である。

このような「力」はどのようにしたら身に つくのだろうか。文学作品を読むことにより 人間の様々な生き方・考え方を知ったり、古 典から個人の考え方や物の見方を学ぶことも 大きいので、文学作品や古典も軽んじられない。このように考えると、親たちが必要としている「敬語の使い方や漢字の読み書き」も 当然だが、もっと身につけたい学力は別なことが中学校では重要と考えられる。

昨年7月に出された「教育課程審議会の答申」では、具体的な改善策として、4点が示された。そのうち2点は、

- ①豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる 日本人としての自覚を育成すること
- ②自ら学び、自ら考える力を育成すること

となっている。この2点に国語科が深くかかわっている。①のような自覚を持つには、世界のいろいろな問題について、広く深い認識を身につけていくことが必要である。認識を広めたり、深めたりするのは「読むこと・書くこと」によることが多い。 についても、日本人の場合、日本語を使って考えている。こう考えると、国語というのは言葉による伝達技術さえ教えればすむということではなく、生徒の人間としての発達に深くかかわった教科であると認識させられる。

2002年から、国語も週時間数にして1時間減ることになる。親の要求通り、実生活に役立つ力も身につけさせたいし、多くのものも読ませたい。苦しい時間数である。総合的な学習の時間の有効利用を考えていかなければならないと思っている。

# 2. 社会 DDD

社会科の全体的な問題に対するおとなの認識は、概略すると、地理的分野は難易度が低く、歴史的分野は「日本と世界の歴史を関連させて理解する」という問題【5】で難易度が高い。公民的分野にいたっては、地方自治や国政についての難易度が高い一方で必要性も高いのが特色である。社会科が暗記の教科であるという観念は、この集計結果からはあまり読みとれない。

【1】の「日本の気候の特徴を降水量と気温から理解する」ことの難易度に関しては、少し難しいと考える人が多い。必要性に関しては、最近はアメダスや全国の気象データをいつでもどこでも入手できるためか、知っていてもよいという程度で、さほど気にしていない様子がうかがえる。

世界的な課題となっている【3】の「環境問題を地球規模で考える」は、おとなも興味関心が高いようだ。酸性雨や熱帯雨林の破壊、砂漠化などの諸問題は、世界の問題であると

同時に、我が国でも身近な問題として意識されていると考えられる。

【3】の(1)「さまざまな環境破壊の被害を地球的規模で理解する」や(4)「環境破壊以外にも地球的規模で考えなくてはならない現代社会の課題」も難易度は高いが、80%近くの人が「必要である」と考えているのは、国際化時代が進展していることがうかがえる。

【6】の「地方自治と住民の生活を理解する」については、全体的に難易度は高い。しかし、自分たちの生活にかかわるためか、60%以上の親たちが必要性を感じている。おとなは実感として受け止めることができるが、子どもたちの世界では、実感を伴わず難易度が高くなっているのではないかと考えられる。今後具体的な事例を取り上げるなど、地方自治を理解させる工夫が望まれる。

また、「日本国憲法と国会の仕組みを理解する」ことに関しても同様に、難易度も必要

性も高いが、とくに必要性はほとんどすべての項目で65%以上と、「地方自治と住民の生活を理解する」より高くなっているのが特徴である。

これら2つの結果を比較してみるとよくわかる。

日本人の思考様式が、身近なものにまだまだ浸透していないところがあるのではないか。政治、経済、文化、社会面について、おとなも子どもたちも、中央(国)の政策に目が行き、地方(生活している地域)に目が向いていないように思える。地方公共団体の選挙の投票率などをみると、このことが裏づけ

られる。

社会科の学習のあり方やおとなの生活の実態からくる、現実の社会のあり方まで再考できることになったと考える。

これからの社会科は、もっともっと、考える社会科になり、課題を解決できる力を身につけさせるための工夫が必要である。

新学習指導要項の「総合的な学習の時間」の有効な取り組みも、様々な角度から、子どもたちに「生きた知恵」の定着に役立つものにしなくてはならないだろう。そして、実感として、知識から認識し、行動できる人間の創造に役立つものであってほしい。

# 3.数学 DDD

中学校入学後はじめての数学の授業で生徒に自己紹介してもらうと、「算数は苦手でした」という生徒が多い。そして、「算数から数学に名称が変わり難しくなりそう」という不安な気持ちを抱きながらも、ほとんどの生徒が「新しい学期が始まるからがんばろう」という前向きな気持ちで学習をスタートするのである。

実際、「算数 数学」と名称は変わっても、内容は積み重ねであるから、中学入学時点でかなり差があるのは事実である。そして、この差は中学3年間でさらに大きくなっていく。

一方、保護者からは、「小学校までは子どもと一緒に勉強していたが、中学生になると数学はついていけない」という声がよく聞かれる。そして学年が上がるにつれて、「子どもたちに質問されてもお手上げなので、塾に入れた」という声も多くなっている。はたして、親は中学校の数学の内容についてどのように感じているのだろうか。

今回の調査では、中学生の親に実際に数学の問題を解いてもらい、難易度、必要性について答えてもらった。問題はほとんどが公立高校の入試程度のものである。

## 1)親からみた難易度

『モノグラフ・小学生ナウ』Vol.18-1「憶える学力・解く学力」によると、親が小学校で習う内容について「とても+わりと難しい」と思う割合が最も高いものは25.3%であった。ところが今回の調査では、最高値が65.2%にもなり、24問中19問が25%を超えている(表44)。

5教科の問題の中から数学を選んで解いた 親は170名、今回のアンケートに協力した親 の48%にあたる。おそらく数学に多少なり とも自信のある方たちだと思われるので、 一般的な親の感じる「とても難しい」「わり と難しい」割合は、もっと高くなることが 予想される。

このことから考えて、小学校の算数に比べて中学校の数学は相当難しくなっていると 感じているようである。

特に親が「難しい」と感じたのは、表44によれば、次のような問題である。

【9】(2) ......一次関数(中2) 2乗に比例する関数(中3)の問題であるが、 三角形の面積(小)、二次方程式(中1)

表44 親からみた数学の難易度・必要性

(%)

						( % )
	とても 難しい	わりと 難しい	とても + わりと 難しい	必要ない	問題の レベル	2002年から高等 学校へ移行統合
【9】2)動く座標点を通る直線の式を三角形の 面積を条件として求める	38.9	25.7	64.6	29.9	Dλ	
【9】1)二次関数のグラフ上点Pの座標を相似な 三角形の比の関係から求める	35.9	29.3	65.2	27.4	Dλ	
【 7 】 2 )点Aのx座標の値aを求める	20.5	32.6	53.1	23.0	Dλ	
【8】2つの図形の関係を理解し、図形の面積を求める	19.9	36.1	56.0	20.4	Dλ	
【 1 】 7 )二次方程式ax² + bx + c = 0 の解の公式	19.5	21.3	40.8	18.8	В	
【6】3)相似比・面積比を使って三角形の面積を求める	19.3	33.1	52.4	11.5	D	
【7】1)2点を通る直線のy軸と交わる座標を求める	17.4	31.6	49.0	20.4	С	
【6】2)2つの三角形の面積比を求める	14.9	29.8	44.7	13.3	С	
【1】6)球の体積を求める公式	14.6	17.0	31.6	10.2	C	
【 6 】 1 ) 2 つの三角形が相似であることを証明 する	14.3	34.0	48.3	14.5	D	
【 1 】 3 )x² - y² - 4y - 4の因数分解	13.5	22.4	35.9	14.3	С	
【1】8)三平方の定理	11.8	14.8	26.6	9.2	Α	
【5】2)方程式を解き、縦・横の長さを求める	11.3	21.4	32.7	7.3	С	
【4】10円硬貨3枚、50円硬貨1枚、100円硬貨1枚 からつくれる金額は全部で何通りか	11.2	30.0	41.2	13.3	D	
【3】子どもの入館者数を、条件を考え不等式を使って求める	10.7	22.5	33.2	10.8	C	
【 5 】 1 )長方形の縦の長さをxとして方程式を作る	10.2	24.1	34.3	5.5	С	
【 6 】4 )角の大きさを求める	10.2	24.0	34.2	9.8	В	
【 2 】 2 ) 4 %の食塩水xg、 7 %の食塩水ygとし 連立方程式を作る	10.0	15.9	25.9	7.9	В	
【2】3)連立方程式を解く	8.9	18.3	27.2	9.1	В	
【 2 】 1 )6 %の食塩水300gに含まれる食塩の量	8.2	11.2	19.4	3.0	Α	
【 1 】 4 )x = 3.75、y = 2.25のとき、x² - y²の値	7.1	14.1	21.2	10.2	В	
【1】5)8 6 - 2 6	7.1	10.6	17.7	12.0	Α	
【 1 】 2 )400の平方根	5.3	8.8	14.1	10.8	Α	
【1】11 8a - 2a)÷ 2a	3.5	4.7	8.2	5.4	Α	

「問題のレベル」

Aやさしい Bふつう C少し難しい D難しい

生徒の正答率75%以上 "50%以上75%未満 "25%以上50%未満

" 25%未満 A~Dは教科書レベル、DAは高校入試レベルの問題 の概念も必要。

- 【9】(1) ......2 乗に比例する関数(中3) に加えて、相似な三角形の比(中2) や一次方程式(中1)の概念も必要。
- 【7】(2) ......比例(中1), 一次関数(中2)の問題。三平方の定理(中3)で 学習する2点間の距離の概念も必要。
- 【8】……三平方の定理(中3)または 相似な三角形と比(中2) そして三角 形の面積(小)あるいは相似な図形の 面積比(中3)の概念が必要。

次に、親が「やさしい」と感じている問題 は、次のようになる。

- 【 1 】(1) ......文字式(中1、2)の基本的な内容を理解していればそれほど難しくない問題。
- 【1】(2)(5)...平方根(中3)の基本的な問題。
- 【1】(4) ......代入と式の値(中1)が理解でき、小数の計算をミスしなければ解ける問題。因数分解(中3)の性質を使うと、さらに簡単に解ける。
- 【2】(1) ……小学校で学習する内容。生徒たちにとってこのような比率に関する問題は大の苦手だが、特に食塩水については一次方程式(中1) 連立方程式(中2) そして理科でも中1で学習するので、徐々に苦手意識がなくなっているようである。

親が「難しい」と思うものはいくつかの知識を総合しなければ解けない問題、逆に「やさしい」と思うものは基本的な計算である。そして、前者はあまり教科書には出てこないが、入試などには出てくる内容(実際に国立や私立の入試にはもっと難しいEランク、Fランクの問題が出る)で、後者は教科書に出てくる基本的内容である。分野別でみると、関数や幾何は難しいが、代数はやさしいと感じている傾向がみられる。表をみてもわかるように、これらは生徒と同じ傾向である。

生徒と違うものとしては、【1】(7) があげられる。二次方程式の解の公式を求めるもの

だが、親は難しいと感じているが、生徒にとってはそれほど難しくはない。親の世代ではa x²+ b x + c = 0 の式を変形していって最終的に解の公式を導くということをさせられて、とても大変だったという固定観念があるのではないだろうか。もちろん、今もその過程は教科書に載っていて授業でも扱うが、実際には式の変形よりも、公式をしっかり使えることが要求されている。解の公式に数値を当てはめれば答えを求められるわけで、今の生徒たちはじっくり考えるよりも、むしろこういう問題の方が得意なのである。

#### 2)親からみた必要性

「こんなに難しい数学を何のために勉強するのだろうか」とか、「将来使うことは絶対ないから、わからなくても困らないのでは?」という疑問を持つ生徒は少なくない。しかし、受験のためにはとりあえず勉強しておく必要があるという気持ちは持っている。

今回の調査で親が子どもの学習する数学の内容について「必要ない」と思っている割合は、最も高かったもので29.9%であった。前述の『モノグラフ・小学生ナウ』の調査では最高が4.4%で、今回の24問中23問がこの数値を超えている。しかし、「必要ない」という数値はもっと高くなると予想していたので、意外に少ないという印象を受けた。

「必要ない」が「必要である」を上回ったのは【9】(1)、(2)の2問だけであった。さらに、「必要ない」が20%以上になったのは、この2問に加えて【7】(1)、(2)と、【8】の5問だけである。

逆に「必要である」数値が高かったのは、【2】(1)の「6%の食塩水に含まれる食塩の量」を求める問いである。そして同じ問題の(2)と(3)の連立方程式(あるいは一次方程式)を作って解く問題、【5】(1)と(2)で長方形の面積と周囲の関係から方程式を作って解く問題や【1】にあるいくつかの基本的な計算なども「必要である」と思う割合が高くなっている。

ごく一般的な生活をする場合、中学校で学習する数学の内容を使う場面はほとんどないと思われるが、その中でも比率や割合は買い物や預金の場面で頻繁に出てくるので、食塩水の問題は一番「必要である」と判断しているのではないかと思う。また、面積や長さもよく使うことがあるし、計算力はある程度身につけておいてほしいという願いもあるのであろう。ただ、今回の調査で「必要である」と「特に必要とは思わないが、知っていてもよい」と答えた親の意識の中には、高校入試のこともあるのではないかと思われる。

生徒たちに「数学は何のために学習するのか」と聞いてみると、「知識を増やすため」「脳を鍛えるため」「将来親として子どもに教えるため」「これから先、難しい勉強をするため」「目標とする職業に就くため」というような答えが返ってくるが、「高校入試」のことを意識している生徒はかなり多い。これと同じことが親にも言えるのではないだろうか。

#### 3)これからの数学教育

2002年から新学習指導要領実施によって、中学3年間に学習する必修数学の授業時数は、現在の385時間(1年105、2年140、3年140)から315時間(1年105、2年105、3年105)に削減される。それに伴って削除、軽減されたり、高等学校に移行統合される内容がすでに明らかになっている。

それによると、今回の24問のうち6問は高等学校で学習することになる(表44参照)わけだが、それは教科書レベルの問題の中で比較的親も子も難しく感じた内容である。しかし、親がもっと難しくて、必要がないと感じたものは削除されないことになる。これらはこれまで述べてきたように、学習したことを総合して解く学力を必要とするもの、いわゆる入試レベルの問題である。

25年くらい前の中学校の数学の教科書を見ると、親の世代は今の中学生よりも高度でたくさんのことを学んでいたことがわかる。それから比べると、今の中学生が学習する内容は少しずつやさしく、量的にも減ってきている。しかし一方で、高校入試(特に国立や私立)の問題の難易度はそれほど変わっていないのではないかと思われる。これから学校で学習する教科書の内容と入試問題の間にますますギャップができ、今よりも塾通いが過熱するのではないかと心配になる。

それから、教科書の内容がやさしく量的にも減っていくことは、一般的には歓迎されていると思うが、一方で高校や大学の学習内容に影響を与えないだろうか。そして理系離れが今よりも進んでいくのではないかということも懸念される。

2002年から拡大される選択教科の工夫や、授業において個人差に応じた指導の工夫など、取り組んでいかなければならない課題は多い。

# 4. 理科 DDD

### 1)保護者の持つ理科に関する学力観

今回のアンケート調査の内容は、中学校で学習する理科の内容をほぼ網羅するように設定している。しかし、個々の問題については主に基礎的・基本的な知識に関する理解の状況をみることを中心としていて、自然の事物・現象に対しての関心・意欲・態度や科学的な思考力については、あえて問題からはずしている。

調査問題は、過去の公立高等学校の入試問題そのものや入試問題を改題したものがほとんどである。また、中間テストや期末テストなどでよく出題される問題を選択したつもりでもある。入試問題が科学概念を理解しているかどうかを問うのに適した問題かといえば、必ずしもそうとはいえないのも事実である。ただ、今回は、中学校の理科で学習することになっている内容について、保護者(親)がどのように考えているのかを、実際に問題を解きながら回答してもらうことをねらっているので、公立高等学校の入試問題などを中心とするのが妥当であると考えた。

最近、高等学校や大学で理科教育に携わる 関係者やマスコミなどから、生徒の理科離れ が進んでいることが指摘されている。このこ とについて中学生を持つ親がどのように考え ているのかを知るため、また、新しい学習指導要 領の内容との絡みからも、この調査結果は興 味深い意義のあるものになると考えている。

### 2)理科の学習内容に関する難易度意識

#### ① 保護者の理科に対するイメージ

まず、調査票の問題を解く前段階のイメージとして、保護者は中学校の理科をどのように捉えているのであろうか。この調査では、5教科の中から2教科を選択して回答するよ

うに指示されている。その結果、国語を選択 した人が290名と一番多く、一番少なかった のが理科で70名であった。この結果からも わかるように、理科の問題を積極的に解こう と思う保護者は少ない。問題を解く前の段階 から理科の学習内容は難しいというイメージ が定着しているのだろうか。ある生徒に、 「定期試験の試験勉強をしているとき、理科 の問題でわからないところがあり、父親に質 問したところ、問題を一瞥して、『そんなこ とは教科書をよく読めばわかることだ』と一 喝されてしまった」と、苦笑いしながらの話 を聞いたことがある。要するに生徒の意識の 中には、親にもわからない内容を自分たちは 学習しているのだという思いがあるのかもし れない。

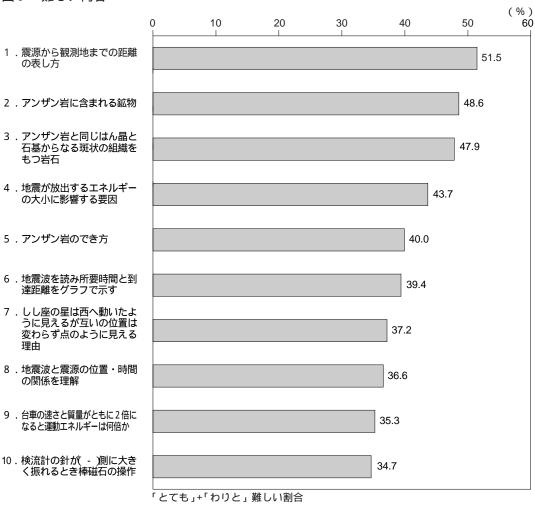
#### ② 理科の学習内容の難しさ

それでは、保護者が難しい学習内容である と考えているのはいったい何なのだろうか。 図9は、調査結果から内容として難しいと判 断されたものについてまとめたものである。 ここでいう「難しい」は、「とても難しい」 に「わりと難しい」を加えた数値である。こ の表によると、上位の項目は地震に関する問 題や火成岩の組織や生成に関する問題であっ た。「震源から観測地までの距離の表し方」 を51.5%の親が「難しい」と捉え、一番の 難問だとしている。そのように捉えている回 答者がほぼ半数という点から考えれば、きわ だった難しさではないようにも思われるのだ が、理科を選んで回答した親たちなのだから、 理科的なセンスがあるのではないかというこ とも推測されるので、一般的にはもっと難し い問題であると考えてもよさそうだ。地震に 関する問題が難しさの中で上位を占めたの は、日常的な問題ではないこと、グラフから

数値を読みとらなければならないこと、複数の操作をしなければならないこと、数学的な処理をしなければならないことなどの理由からだろう。力学に関する内容、電流と磁界に関する内容、地震の内容も、このような理由からではないだろうか。「火成岩の組織や生成に関する問題」は親たちの日常生活ではあまり触れることがないために難しい印象を持つのだろう。

生徒が難しいと捉えているのは、天体に関する内容、電流と磁界に関する内容、力の働きに関する内容、地震に関する内容が主だったものである。このことから考えれば、生徒の苦手意識と保護者の苦手意識はほぼ一致しているようである。事物・現象を抽象的に考えていくことや、論理的に判断し、いくつかの操作を加えながら科学的に思考していくことに困難さを感じているのだろう。

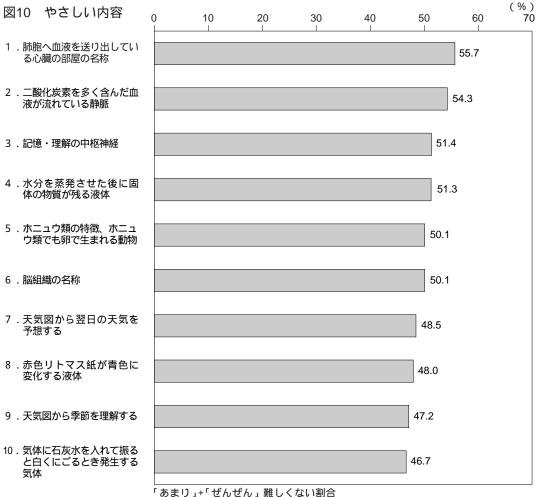
#### 図9 難しい内容



#### ③ 理科の学習内容のやさしさ

図10は、保護者が学習内容としてやさしい 問題であると捉えているものをまとめたもの である。ここで「やさしい」としたのは、「あ まり難しくない」に「ぜんぜん難しくない」 を加えた数値である。この図から「難しくな い、つまりやさしい内容であると回答された ものは、動物に関する内容、天気の変化に関 する内容、化学変化に関する内容である。い ずれも身近な、論理的な思考や複数の操作を 必要としない内容で、簡単にいえば単に記憶 すればよい内容である。ヒトの各器官の名称 やその働きはきわめて身近であり、「どうなっ ているのだろう」「どんな働きをしているのだ ろう」という興味・関心を持ちやすい。また、 おとなにとっては日常生活で知っていた方が 役に立つ内容でもあるのだろう。天気の変化 は、天気予報などで日常生活に直結しており、 天気図からこれからの行動をどうするかにつ いての重要な情報を得ることができる。そう いった意味では、中学校での天気の学習は基 礎的なものになり得るのだろう。

しかし、興味深い内容として、小学校の理科 でも取り上げ、中学校の理科でも学習する内容 がある。その1つとして「二酸化炭素が石灰水 を白濁させる」という事柄がある。繰り返し学 習していることでもあり平易な内容であるが、 やさしいと感じている親が46.7%しかいないの は少々驚かされた。学習内容としてはきわめて 単純で、見た通りのことを答えればよいのであ るからまったく難しくはない。「二酸化炭素が石 灰水を白濁させる」という現象は日常生活では ほとんど見ることはない。そういった意味では、 忘れてもい、内容ということなのかもしれない。



#### ④ 理科の学習内容の必要性

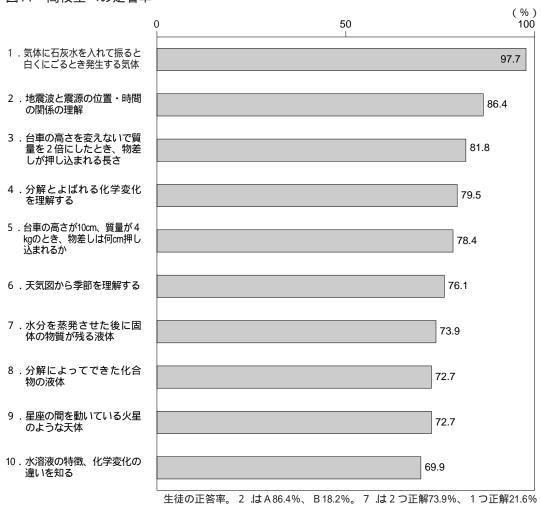
「特に必要とは思わないが、知っていてもよい」に「必要である」を加えた数値を、「とりあえず必要である」と考えると、9割を超えるものがほとんどで、最低でも7割以上が必要であると判断している。高校入試などで知識として必要だと考えているのだろうか。それとも、社会生活をしていく上で様々なことを知っていれば、人間としての幅を広げ豊かな人生を送ることができると考えているからなのだろうか。「必要でない」と断定している学習内容は、岩石にかかわる内容だが3割に満たない数値であった。おそらくは日常的な生活をしていく上では、まったく知らなくてもすんでしまう内容であるからだろう。

### 3) 中学校卒業後の理科学習の定着度

中学校での理科学習の定着度がどの程度なのかを測る1つの尺度という意味で、公立高校の1年生239名に本調査票と同じ問題を解いてもらっている。その結果の正答率が、図11で示したものである。図は正答率の高い問題を10問示している。正答率が高い問題の特徴は、ほとんどが一問一答で答えられる内容だということである。要するに、暗記してしまえばすむものがほとんどを占めている。問題数は小問で38あるが、このうち正答率が60%を超えるものは21問で約半分にあたる。定着度としてはかなりよい数値のように思われる。

定着度が低いのは、岩石に関する問題で「アン

#### 図11 高校生への定着率



ザン岩に含まれる鉱物は何か」を判断することができない(正答率2.3%)。次に正答率が低かったのは、天体に関する内容で、「しし座の星は西へ動いたように見えるが互いの位置は変わらず点のように見える理由」ということである(正答率6.8%)。

保護者の回答で一番難しいと捉えられている地震に関する内容では、「震源から観測地までの距離の表し方(正答率28.4%)、「地震波を読み所要時間と到達距離をグラフで示す」(正答率31.0%)で、思ったほど低くはない。

高校、大学と年齢が進むにつれて、より専門的か つ高度な知識を多く必要とするため、中学では、 基礎的・基本的な知識であったとしても自分の生 活している領域で必要とされなければ徐々に忘れ 去られてしまうのも当然のようにも思われる。

#### 4)まとめ

新しい学習指導要領が2002年からスタートする。週5日制の完全実施との兼ね合いから、

授業時数の削減をしなければならず、学習内容そのものも精選あるいは厳選といった名の下に削減されている。学習内容を基礎的・基本的な内容にするという提案は20数年来議論されてきているが、一向にみえてこない。今回の学習指導要領でも、児童・生徒にわかりにくい内容、あるいは教師が指導しにくい内容といった理由での削減が中心のようである。

今回の保護者の回答の様子からもわかるとおり、保護者(おとな)の理科離れが深く進行しているようにも考えられる。理科を得意としている親に回答してもらえば好意的に答えるのも当たり前である。まず、理科の学習内容の基礎的・基本的な概念を明らかにすること。そして、その概念を獲得するための探究能力を身につけさせることを考えるべきではないのだろうか。基礎的・基本的な科学概念と探究能力が身につけば、それが転移して社会生活をしていく上での真の生きる力になるのではなかろうか。

# 5. 英語 DDD

選択科目として位置づけられてきた「外国 語」が教育課程審議会の答申で必修となった ことが今回の大きな変更点である。これは、 「国際社会に生きる日本人としての自覚を育 成すること」が今回の「教育課程の基準の改 善のねらい」の1つであり、「国際化への対 応」という視点から実施された改善だからで ある。学習指導要領案によると、「外国語」 の中で「英語」を原則履修することになる。 また、「外国語における基礎的・実践的コミ ュニケーション能力の育成」が一層重視され ている。コミュニケーション能力とは話し手、 書き手の意図を理解し、自分の意見や、考え を相手に伝える能力であるといえよう。この ようなコミュニケーション能力の基礎を中学 校で指導することが従来よりさらに強く求め られ、中でも音声によるコミュニケーション

能力の育成が重視されている。こうした変化 を理解した上で、今回の学習内容および保護 者のアンケート結果を分析したい。

今回の内容は、実際に出題された高校の入学試験問題がかなり含まれている。公立高校の英語の入試問題には、リスニングテスト、文章読解テスト、英作文のテストが含まれることが多い。これは、「聞く力」「読む力」「書く力」「話す力」の4つの技能のうち、「話す力」に関する問題を除いた、他の3技能に関するものが出題されるからである。「話す力」をペーパーテストで評価するのは難しいために、このような構成になる。その代わり、音声によるコミュニケーションの指導が重視されている今日、リスニングテストはほとんどの公立高校の入学試験で実施されている。この点をふまえて今回の問題を検討

すると、リスニングテストが含まれていない のが残念であるが、調査方法が学校通しの質 問紙法では無理があるのだろう。保護者が、 中学生の時代には体験しなかったリスニング テストを実際に受けることにより、どんな反 応を示すか、アンケート結果がとても興味深 かった。

では、今回出題された問題と、保護者の反応について分析しよう。

【 1 】①は名詞の複数形の語尾-sの発音が 単数形の語末の発音によって異なるという問 題である。とても基礎的な知識を問う問題で あるが、コミュニケーションの際に誤解を生 じるかどうかという観点からみると、大きな 誤解を生じるとは思われない。同じことは、 【 1 】②の名詞の複数形(children,churches)に 関しても言える。だが、前者に関しては 83.3%、後者に関しては79.2%の保護者が 「必要である」と感じており、今回の英語の 問題の中で最も高い必要性を示している。し かし、この2問はどちらも語法に関する問題 であり、意味の違いを問うものではない。い くら語法に関する知識を持っていても、実際 にその知識を使って英語でコミュニケーショ ンを図らないと、英語を使えるようにはなら ない。したがって、保護者が必要と考える視 点と最近のコミュニケーション重視の英語教 育の視点が必ずしも一致しているわけではな いことが、これらの問題に対する保護者の見 解からうかがえる。

【1】③は現在完了形を正確に使えるか、はbe動詞を正確な時制にできるか、という時制の知識を確認している問題である。英語の時制は未来、現在、現在完了、過去などがあり、それぞれの時制が表す内容に大きな差があり、それによって出来事の時間的な前後関係、現在との時間的な関係などが明確に示される。ここでは単文として示されており、やはり語法上の知識として問われているが、意味を正確に伝えるために大切なことだという点が①、②とは異なる。ところが保護者が考える必要性はそれぞれ70.1%、76.4%で

あり、①、②よりも低いのが気になる。また、ここで難易度が①、②より増加している点も注意すべきかもしれない。つまり、平易なものほど重要で、難しいものほど重要でないという保護者の判断があるのであれば、教える側とは異なった考え方であると言わざるをえない。

【2】は5つの文ともまったく同じ文法的 観点で出題されている。すなわち「動詞+目 的語+補語」であり、違いは主語が単数か、 複数か、命令文か無生物主語かであり、保護 者が考える必要性に大きな差が生じていない 点は妥当であると思う。

【3】では対話文を読んで各問に答えることを求めている。コミュニケーション能力の育成には話し手や書き手の意図を理解することが、まず必要であると上述した。そのためには、単文ではなく一定量の長さの英文を読んで内容を適切に理解する力が必要である。

(1) ではto do those thingsが表す内容を正確に 理解しているか問うている。英語では同じ内容やことがらを違った表現で何回も表すことが多い。対話の流れを理解できることが、話し手の意図を理解する鍵である。つまり、その対話の流れを理解しているかどうかを、この問題で具体的にみているわけである。

この問題を難しいと判断している保護者が 28.5%と比較的高い数値になっていることが 気になる。また、必要性に関しても69.5% とかなり低い数値であることも、上述の視点 から英語を教える側との考え方にギャップが あると考えられる。(2) では、英語で答えさ せることで英文の内容理解度を計っている。 これも難易度が29.2%と高い数値になって いる点が気にかかる。(3) では選択肢から答 えを選ぶことによって内容理解度を確認して いる。(1) ~(4) の中では最も高い必要性を示 すと同時に難易度も31.3%を示している。 (4) は、(1) と同じように、these experiencesが 表す内容を理解しているかを問う問題であ る。したがって、難易度、必要性とも(1) と 似た数値になっているのは妥当であると考え

る。

【4】は一定の長さの英語の文章を読んでその理解度を確認する問題であるが、単文の理解および文脈上の理解など、問題によって問われている内容が異なる。まず、(1)の問題は、下線部の意味を理解しているかどうか日本語に訳させることでその確認をしているが、①はmust notの意味、②はtoo~to...の意味

はto get readyという不定詞の意味、つまり、 基本的な文法項目の表す意味を確認している わけである。これは、伝統的によく出題され る問題であるが、必要性が76.8%というの は、【3】(1)、(4)と比較すると数値が高す ぎるように感じられる。(2) の問題では付加 疑問文の知識を問うているので、やはり文法 項目の確認であると考える。それに対して、 (3) ではNot todayの表す内容を正確に理解し ているかどうか、省略されている語句を補っ て文として適切なものを選ぶよう求めてい る。つまり、文脈を理解していないと答えら れない問題である点が、(1)、(2)とは異な っている。文脈理解は、英語を教える者とし て大事な問題であると考えるが、保護者の判 断では必要性が70.7%と低いのが気になる。 (4) はこの文章の内容に合うものを選ぶ問題 で、必要性が76.5%と高いのは妥当である と考える。しかし、難易度が28.9%と比較 的高い数値になっているのが気になる。

【5】は対話を読んで、地図上のどこに図書館があるか理解する問題である。特に、会話では建物などの場所を説明したり、尋ねたりする方法を指導することが多いことを考えると、この問題はオーラルコミュニケーション上非常に大切な能力を、ペーパー上で判定するねらいがあると考えられる。そこで必要性が78.0%と高いのは妥当であると考えるが、【1】①よりさらに、高い必要性があるのではないかと思われる。

【6】①、②とも短い文章を読んで、それぞれ文脈の中でoneとthatが何を表しているか理解しているかどうかを問うている。その必要性が74.0%、71.1%というのは少し低い

数値ではないかと考えられる。なお、oneと thatの働きは異なるが、【3】(1)、(4)と同様の理解力を問われていると考えられる。

これまでの結果を整理すると、語法、文法 項目の理解度を問う問題と、文脈上の理解度 を問う問題とに大きく区別できると考える。 それらの問題の難易度、必要性のみを表示す ると次のようになる。

ア.語法、	文法項目の理解	度を問う問題
	難易度	必要性
[1]	17.9 %	83.3%
2	14.7	79.2
3	24.5	70.1
4	20.3	76.4
【2】(1)	20.0	76.9
(2)	20.7	74.1
(3)	18.0	75.5
(4)	18.7	79.0
(5)	17.3	75.5
【4】(1)	26.6	76.8
(2)	23.8	75.2

イ.文脈上の理解度を問う問題				
		難易度	必要性	
[3]	(1)	28.5 %	69.5%	
	(2)	29.2	71.7	
	(3)	31.3	75.2	
	(4)	24.8	66.9	
[4]	(3)	25.9	70.7	
	(4)	28.9	76.5	
【5】		25.5	78.0	
[6]	1	21.7	74.0	
	2	24.5	71.1	

ア、イのグループを比較すると、アのグループでは難易度は比較的低いが、必要性はかなり高い。しかし、イのグループでは難易度は比較的高く、必要性は比較的低い。つまり、保護者にとって、やさしいものほど重要と考える傾向が見受けられるが、これは教える側

とは異なる。現在生徒に求められているのは 与えられた一定量の英文を読み、聞き、そし てそれに対して適切な反応をすることであ る。つまり、実践的な英語力の基礎には一定 の長さの英文を理解することが求められてい る。

したがって、イのグループはアのグループより困難であるが、より必要性が高いと考えるべきである。この保護者の考えは、ウ、エのように上位4つの問題を分析すると、さらに顕著に現れる。ウのグループで第4の問題は、最近の英語の授業で指導する機会が多いものであり、この反応は上述したように妥当であると考える。しかし、他の問題については、保護者が必要と考えるものと教える側が必要と考えるものとの間にずれを生じている点に注意すべきである。

ウ.	保護者の選んだ4つの大事な問
	題とその難易度

1 . 名詞の複数形(-s)の発音【1】① [問題の内容](以下同じ)

必要である	83.3%
知っていてもよい	15.3
必要ない	1.4
(とても+わりと難しい)	17 9

2 . 名詞の複数形【1】②

必要である	79.2%
知っていてもよい	20.1
必要ない	0.7
(とても+わりと難しい)	14.7

3.単文を訳すこと【2】(4)

(You must keep your room clean.)

	,
必要である	79.0%
知っていてもよい	20.3
必要ない	0.7
(とても+わりと難しい)	18.7

4.2人の会話を理解して、図書館の 位置を知る【5】

必要である	78.0%
知っていてもよい	20.6
必要ない	1.4
(とても+わりと難しい)	25.5

- エ.保護者の選んだ4つの難しい問題 とその必要性
- 対話文を読み、内容に適した文を 選ぶ【3】(3)

#### [問題の内容](以下同じ)

とても + わりと難しい	31.3%
少し難しい	27.8
あまり難しくない	29.8
ぜんぜん難しくない	11.1
(必要である)	75.2

2.対話文を読み、内容に関する質問に答える【3】(2)

とても + わりと難しい	29.2%
少し難しい	25.0
あまり難しくない	34.7
ぜんぜん難しくない	11.1
(必要である)	71.7

3 . 文章を読み、内容に適した文を選ぶ 【 4 】(4)

とても + わりと難しい	28.9%
少し難しい	30.2
あまり難しくない	26.8
ぜんぜん難しくない	14.1
(必要である)	76.5

4 . 対話文を読み、to do those things が表している内容を答える

#### 【3】(1)

とても+わりと難しい	28.5%
少し難しい	21.5
あまり難しくない	38.2
ぜんぜん難しくない	11.8
(必要である)	69.5

英語の学習そのものは91.3%が「必要性がある」と考えており、中学校では「英語で簡単な会話ができる」ことを96.6%が「教えてほしい」と考えており、この数字は教える側としても納得できる数字である。また、今回の英語の問題に関して、61.0%が「ほとんどできた」と考えており、ある程度英語の素養

のある保護者たちが解答したと考えられる。 しかし、学生時代に学んだ規則などは覚えていて簡単に解けるが、一定量の英語にあまり 触れていなかったため、イのグループの問題 が難しいと感じたのではないだろうか。日常 どの程度英語に触れているのかも知りたいと ころである。

コミュニケーション力をつけるには、文法の規則を覚えるだけではなく、その規則を実

際に使って、ある一定量の英語を聞き、読み、話し、書くことが必要であることを、この機会に保護者の方に理解していただきたい。そして、保護者の世代が学んだ英語の指導内容と、現在、また、新しい学習指導要領の下で行われる英語の指導内容とでは大きな変化が起きていることもこの機会に理解していただければ、幸いである。

# 第4章 まとめに代えて

保護者の調査結果からみた「学力観」の特徴



# 1. はじめに DDD

平成元年(1989)に改訂された現行の学習 指導要領は、「新しい学力観」を打ち出した ことで知られている。正確には、指導要録 の観点別評価の項目が再編成されたことに よるものである。その改訂に当たられた方 にお聞きしたのだが、生徒の「関心・意 欲・態度」を筆頭にもってきた理由は、教 師が授業を改善する場合に、その順番から みて、生徒の学習意欲を増進させたかどう かが最も重要だと考えられたからであると いう。以来、この10年間は、「新しい学力観」 によって評価がなされてきた。

その成果はどうであったか。文部省がこの 指導要領にもとづく教育課程の実施状況を 調査した結果によれば、全体として実現状 況は良好であるが、しかし、思考・判断力 と表現技能において努力を要するところが みられるという。すなわち、各教科への関 心・意欲・態度の観点からみた実現状況は 全体に良好であっても、肝心の論理的な思 考力や表現力が十分に育っていない。この 調査結果は、入念に作られたテストによる ものだが、先生方に話を聞くと、いまの中 学生にみられる知育の現状はもっと深刻で あると指摘する意見も出ている。

昨年12月に改訂された新しい指導要領は、2002年からの週5日制の完全実施に合わせて施行される。今回の改訂では、教科内容を3割近くも削減して、「基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育」の充実が強調されている。これまでの知識重視の学力観から、「自ら学び考える力」

の育成に転換を図るためである。

今回の調査は、こうした学力観の転換を背景に、保護者が実際にテストを受ける形で、中学校の教育内容として必要だと感じる程度をたずねている。その結果は、どの教科でも基礎的で難度の低い事項において、その必要度を感じていることがわかる。この点では、中学生の保護者の多くが「基礎・基本の定着」

を求めていることがわかる。その内容は、教育課程審議会が中学校の教科内容として「厳選」したものと重なり合うのかどうか、興味深いところである。ここでは、ペーパーテストからみた各教科の内容の必要度について、その全体的な傾向からさぐるため、生徒の保護者が中学校教育に寄せる期待を中心に、学力観にみられる特徴を検討してみたい。

# 2.必要度からみた中学校教育への期待 DDD

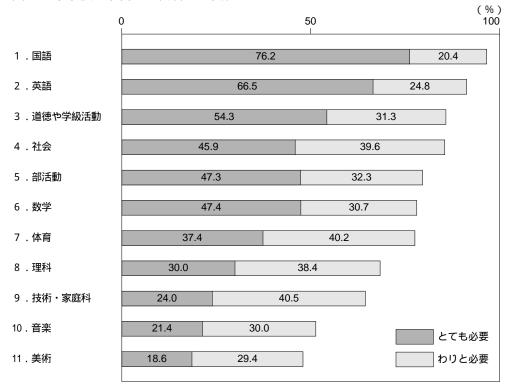
### 1)言語能力と社会性を重視する

まず、図12から、中学校で学習する内容の 必要度をみてみたい。

ここで意外に思われるのは、数学の順位である。11項目中の6位に位置している。受験教科としての順位は高いと思われるが、その必要度については中位である。これは、実

社会に出てみれば、数学の必要性をそれほど 強く感じないためであろうか。数学に比べて、 国語と英語の必要度はかなり高くなってい る。特に国語は、8割弱の保護者が「とても 必要」と回答しているが、その理由は、子ど もが将来、社会生活を送るうえで、国語の基 礎学力がどうしても必要だと予想しているか らであろう。また英語は、保護者が外国に行





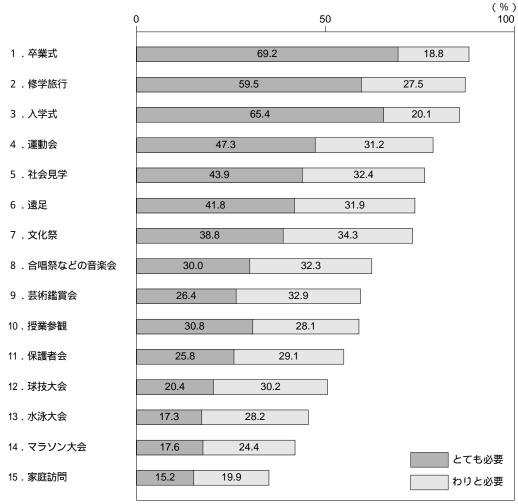
く機会も増えて、外国人と会話できるだけの 英語力を求めるためであろう。 どちらも人と のコミュニケーションにかかわる言語能力で あるので、保護者からすれば、中学生の早い 時期に確実に身につけさせたいという期待を かけている。

道徳や学級活動、社会科、そして部活動が 重視される理由は、社会生活や人間関係にか かわる能力だからであろう。将来、職場集団 の中で働くことを考えれば、この結果は一応 うなづける。ただし、道徳については、教師 の間では一般に家庭教育の分担を求める度合 いが強い。設問として学級活動とは分離して きいてみた方がよかったかもしれない。芸術 系の教科が必要度の点では低くなることは予想されたが、理科と技術・家庭科が「わりと」を加えても7割に満たないことの原因がわからない。母親の回答が6割を占めることが関係しているのかもしれない。

# 2) 入学・卒業式や修学旅行がとても必要な学校行事

次に、図13によって、学校行事や活動の必要度をみてみると、およそ3つのグループに分けることができる。儀式として重要な入学・卒業式、そして「思い出づくり」としての修学旅行が第1グループである。第2グループは、運動会・文化祭の体育・学芸行事、





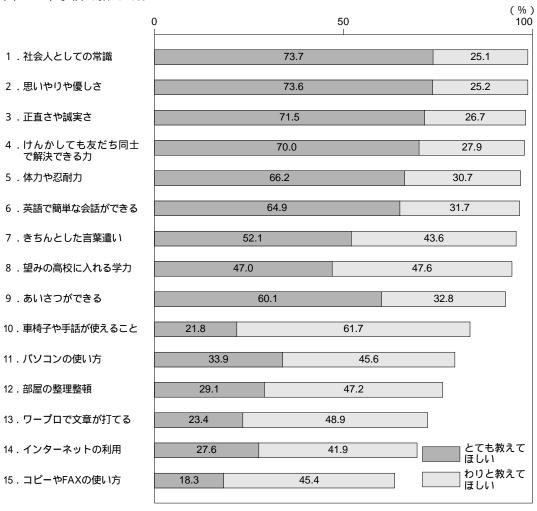
および社会見学・遠足の校外学習である。第3グループは、その他の行事だが、多くの中学校が重視している合唱祭などの音楽会、球技大会、およびマラソン大会などの必要度はあまり高くない。注目される項目は、授業参観・保護者会と家庭訪問の間のズレである。最近は家庭訪問を実施しないケースもあるが、保護者からすれば、先生の訪問に気を遣う行事と受け取られているようである。

# 3)受験学力よりも 常識や人間性を教えてほしい

では、保護者が中学校に教えてほしいと期待する知識、態度、技能の内容には何がある

のだろうか。図14によれば、「とても教えてほしい」という割合が7割を超えた項目は、上から順に、「社会人としての常識」「思いやりや優しさ」「正直さや誠実さ」「けんかしても友だち同士で解決できる力」である。どれも、子どもの自立に関係する社会的能力であることがわかる。次いで、「とても」が6割以上を占める項目が「体力や忍耐力」「英語で簡単な会話ができる」「あいさつができる」である。体力形成への期待が予想より低い。家庭教育の領域と思われるあいさつが学校に期待されている。そして、意外にも、「望みの高校に入れる学力」は「とても」の割合が5割を下回っている。もちろん、「わりと」

図14 中学校で教えてほしいこと



を含めると約95%に達するが、受験のための学力形成がそれほど強く期待されているわけではない。学習塾の方に期待しているというわけでもないだろうが、意外な数字である。今回の調査対象の保護者は、学校に受験学力のみを期待する度合いが比較的強くないのかもしれない。それよりも、子どもが社会人として自立するために必要な常識の方を求めているようである。

では、学校の通知表への信頼性はどうなのであろうか。図15は、「お子さんの通知表を見て、学校の評価はお子さんの能力を正しく評価していると思いますか」の問いへの回答結果である。「そう思わない」の割合は15%にとどまり、大多数が「正しく評価している」とみている。教師の評価に信頼を寄せていることがわかる。ただし、「とても」の割合は低く、「わりと」が過半数を、「少し」が3割弱をそれぞれ占めている点は、保護者の受け止め方に違いがあることを示している。学校の通知表に絶対の信頼をおいているわけではなさそうである。

# 4)「心の教育」を中心に 教育改革の方向を支持する

この点では、保護者の学力観は、学校の成績一辺倒というわけではなさそうである。もっと広い実社会の視点から、わが子の成長を

見守っていることがうかがえる。では、「個性重視」の教育改革は、親の目にどう映っているのだろうか。そこで、現在、進められている教育改革の方向についての意見をきいてみた結果が図16である。

賛成の比率が高い順に、「『心の教育』を進めるための家庭教育の充実」(87.3%)、「生涯学習のための意欲重視の学力観への転換」(67.7%)、「学ぶ意欲を高めるための選択履修の推進」(55.1%)、「内申書重視による高校入試の実施」(36.0%)、および「部活動の指導を社会体育やスポーツ・クラブへの移行」(15.5%)という結果となった。

この結果は、保護者の学力観が、部活動を除けば、おおむね教育改革の方向を支持しているようにみえる。たとえば、「心の教育」を推進することは、大多数の保護者から支持されている。文部省は『家庭教育ノート小・中学生を持つ親のために』を保護者に配付して、具体的に家庭教育のあり方を示している。凶悪な少年犯罪の多発がその背景にはある。このためか、保護者のほとんどが、これまで学校まかせになりがちであった「しつけ」を、充実しなければならないと痛感している。

また、新学力観が強調する意欲重視の学力観への支持率も過半数に上る。保護者自身が受けてきたであろう60年代から70年代の教育

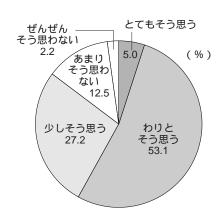


図15 学校は子どもの能力を正しく評価しているか

への批判があるだろうし、また、これまでの知識重視の学力観が実社会において一定の限界をもつことが認識されているのかもしれない。7割弱の多数に上る保護者が学力観の転換に賛成したことは、今後の教育改革に弾みをつけるだろうが、3割弱がどちらとも言いがたいと回答している点に注目すれば、意欲だけで学力が身につくのかどうか、疑問視する向きがみられる。教育改革がもたらす今後の成果を見守りたいという意見なのであろう。

これと関連するが、選択履修幅の拡大も過半数に支持されている。総合的な学習の時間も含めれば選択履修の時間は、中学校の教育課程全体の6分の1くらいにもなる。これだけのカリキュラムを組むことができるかどうか、中学校の現場では負担増を心配する声が聞かれる。しかし、保護者の間では、子どもが「好きなことを中心に学習する方式」を歓迎する意見が強い。反対の意見は2割弱にとどまった。生涯学習の時代を迎えて、意欲重視と選択拡大の政策は肯定的に受け止められている。

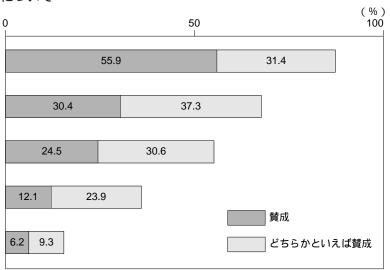
内申書重視の高校入試については、賛否を決めかねるという回答が4割強と最も多かっ

た。その理由には、中学校間の格差も考えられるだろうが、やはり子どもにとって「内申書に響く」という強迫観念がのびのびした学校生活を妨げるのではないかとの不安があるのだろう。確かに、子どもがいつも教師による評価のまなざしに晒されている状況は決して望ましいとはいえない。4割弱の保護者が賛成しているとはいえ、高校入試において内申書を重視する方向が、親の側にジレンマを生じさせていることがうかがえる。

また、部活動の地域スポーツへの移行は過半数が反対している。それだけ、部活動が子どもの成長に大きな意義をもっていると評価されているのだろう。しかし逆に言えば、顧問の教師への負担が大きいことがあまり理解されていないことのあらわれでもある。中学校教育に占める部活動の役割は高く評価されているのだろうが、「学校教育のスリム化」の施策は必ずしも保護者に理解されているわけではない。今後、「生きる力」や「自ら学び、考える力」の育成を図らねばならない各学校にとって、保護者への理解を求めることが必要になるだろう。

#### 図16 中学校改善の提案について

- 「心の教育」推進のために 学校以上に家庭での親子関 係を充実する努力が必要だ
- 2. 自ら学ぶ力をつけるため、 知識重視から意欲重視の 学力観へ変えるべきだ
- 3 . 学ぶ意欲を高めるための選 択教科の幅を広げ、好きな ことを中心に学習すべきだ
- 4 . 高校入試では内申書を重 視した選抜を行うべきだ
- 5.部活動の指導は地域の社 会体育やスポーツクラブ などで行うべきだ



# 3.家庭での子どもとのかかわり方 DDD

### 1)声をかけるが、

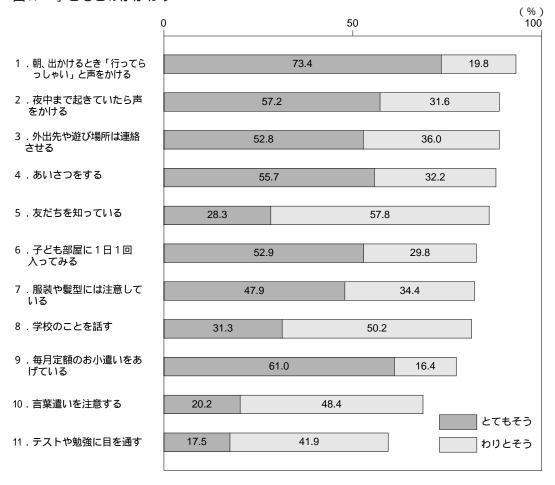
### 注意や勉強、相談はやや手薄

次に、家庭でのかかわり方から、学力観の背景をさぐってみたい。図17は、日頃の子どもへの接し方をたずねた結果である。全体に、「子どもに声をかける」ようにしている割合は高いが、子どもの言動を注意したり、学校生活や学習状況をきいたりする割合は低い。これは、中学生が思春期にあるため親からの介入を嫌うことが関係しているのだろ

う。保護者が学校任せにならないよう努めている様子はうかがえるのだが、子どもの内面に届くような接し方が足りない印象がある。

このことは、図18の「子どもが悩んだときなど相談相手になっているかどうか」の回答にあらわれている。過半数の保護者が相談相手となっているが、3割強が「少しそう思う」としている点が気にかかる。スクール・カウンセラーの導入や養護教諭の相談活動が行われているが、身近にいる保護者が子どもの変化を捉えていないと、十分な対応ができ

### 図17 子どもとのかかわり



ないだろう。その意味で、ふだんの親子関係の中で、悩みを話しやすい雰囲気をつくっておく必要がある。中学生という難しい時期であるがゆえに、相談相手になる機会が足りないところがある。

### 2)厳しく叱ることは少ない

そこで、中学生になってから、厳しく(殴るほど)叱ったことがあるかどうかをきいてみた。母親が6割を占めるので、その頻度は高くないが、7割以上の保護者が強く叱った経験を持っている(図19)

「叱る」親が減っていることが指摘されて

いるが、体罰は逆効果を生むことが多い。それだけに、3分の1くらいを占める「厳しく叱ったことがまったくない」保護者が放任であるとはいえないだろう。しかし、子どもの相談相手にあまりなっていない親が、半数弱を占めている事実とつきあわせて考えると、家庭での親子関係が疎遠になっているケースもあるのだろうと予想される。いずれにしても、親子関係は夫婦関係を投影している面もみられるから、子どもの教育をめぐって、夫婦の話し合いがどれくらい行われているかをたずねることができれば、もっと詳しい分析ができたかもしれない。

図18 子どもの相談相手になっているか

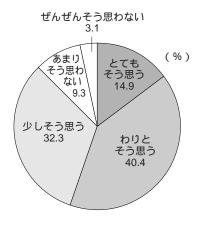
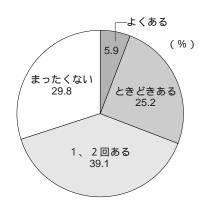


図19 中学生になってから厳しく叱ったこと



# 4.学校教育への満足度と子どもの現状 DDD

最後に、子どもが通う中学校への満足度や子どもの現状について分析して、保護者の学力観と子どもの学校生活との関係をみてみたい。図20は、学校への満足度を示している。6割以上が「とても+わりと満足している」と回答しており、大勢として学校教育への期待が充足されていることがわかる。「満足していない」割合は2割弱にとどまる。もちろん、今回の調査は対象者が少ないことと、これだけ長時間を要する質問紙に回答してくれた保護者の特性を考えて、この数字は割り引いてみる必要はあるだろう。しかし、「とても満足している」の割合が1割強にとどまる点に注目するならば、保護者の間に不満な点があることをうかがうことができる。

### 1)授業の理解度はあまり高くない

図21は、親の目からみた子どもの授業の 理解度である。文部省の学校教育に関する意 識調査(1998年)では、中学2年生(1,988 名)の授業の理解度は、「よくわかる」 (4.7%)、「だいたいわかる」(39.5%)、「半 分くらい」(35.4%)「わからないことが多い」(4.1%)である。これと比較してみれば、「わかる」という割合が高いようである。それは、この調査に協力してくれた保護者の子どもがそうなのかもしれない。学力観は授業の理解度と大いに関係するから、過半数が「わが子が授業の3分の2以上は理解している」という保護者の意見であるという条件をつけて、調査の結果をみなければならない。実際、子どもの成績をたずねた項目によれば、「上の方」(13.7%)「中の上」(35.0%)「中」(28.3%)「中の下」(10.9%)「下の方」(12.1%)という結果である。

新しい学習指導要領は「子どもがわかる」 授業をめざしている。日本の授業内容のレベルが高いことは知られているが、「落ちこぼれ」といわれる子どもを出さないようにするカリキュラムの工夫が求められるところである。特に中学生の授業の理解度が大きく落ち込むことを考えれば、確実に基礎・基本を教えることが必要であろう。

図20 子どもが通う中学校への満足度

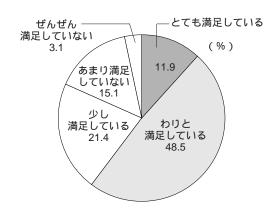
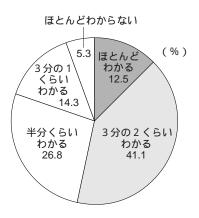
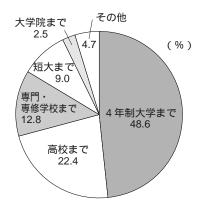


図21 親からみた子どもの勉強の理解度



#### 図22 子どもの進路希望



#### 2)高等教育の希望者は7割弱

図22は、子どもの進路希望の内訳をみたものである。専門・専修学校も含めると、実に7割近くの中学生が高等教育を希望している。こうした進路希望が学力観をかたちづくる

背景にあることは注意しなければならない。これと関連して、文・理系の志望をきいてみたが、5割弱が決めかねていることがわかった。理系の志望が24.1%、文系が27.0%という結果である。

# 5.おわりにDDD

以上、みてきたように保護者の学力観は、 学業成績一辺倒というわけではない。将来を 見渡した広い視野から子どもの成長を見守っ ている傾向がうかがえる。このことは、「心 の教育の必要性」や「意欲重視、選択拡大の 改革」への賛成率が高いことから推察される。 しかし、家庭において子どもの相談相手になったり、厳しく叱る割合はそれほど高くなく、 学校に依存する傾向も若干みられる。

学校の先生方から聞く話に、保護者の学力

指向が強いために、思い切った教育活動を試みられないという不満がある。しかし、今回の調査結果は、そうした学力一辺倒の教育期待が多数派を占めるのでないことを示した。2002年に向けて、新しい教育課程によって特色ある学校づくりを推進することが望まれるが、保護者の期待はそうした試みに期待しているところがある。したがって、各学校がこうした保護者の期待を取り入れて創意工夫をこらすことが必要であろう。

# A「調査票」

#### 保護者の方へ

# アンケートのお願い

私どもは、子どもたちに望まれる「新しい学力観」について考えるために、次のような調査 票を作成いたしました。そして、お子さまを中学に通わせている保護者の方から、日頃感じて いるお子さまの学力について率直なご意見をうかがいたいと存じます。

このアンケートはA「調査票」とB「5教科の問題」がセットになっています。B「5教科の問題」には、お子さまが中学で学ぶ(主に3年生で学習する)国語、数学、社会、理科、英語の問題がまとめてあります。量的な関係で今回は5教科のみとしました。まず、問題をご覧ください。そして、学習内容をより理解してアンケートにお答えいただくため解いてみてください。

アンケートとして回収しますのはA「調査票」のみです。お答えを無記名で、調査票のみを 封筒に入れ厳封してお子さまにお持たせください。結果は全てコンピュータで処理いたします ので、あなたや学校に対してご迷惑をおかけすることは一切ございません。どうぞ率直なご意 見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

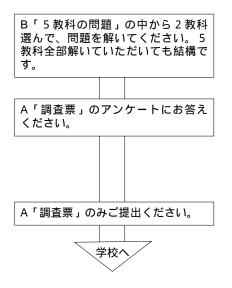
なお結果につきましては、『モノグラフ・中学生の世界』にまとめますので、お子さまの学校にお問い合わせください。

お忙しい中、申し訳ございませんが、どうぞご協力くださいますようお願い申し上げます。 この調査についてご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

1998年6月

尚美学園短期大学教授 深谷昌志

# アンケートのやり方



正解は118~119ページに載せてあります。

調査票の<u>2</u>の教科の難易度、必要性については、ご自分が解いた教科についてお答えください。

例)国語と英語を解いた方は、国語と英語のアンケートにお答えください。 2 以外は全員の方がお答えください。

封筒に、A「調査票」を入れ、厳封して お子さまにお持たせください。

(単位:パーセント)

す、この用紙を持ち帰られたお子さんについてお聞きします。

(1)お子さんの性別………(1.男子 2.女子)○でかこむ 56.4 43.6

(2) お子さんのきょうだい関係

1)一番上の子 39.4

2)上または下の子がいる 31.9

3) 一番下の子 18.8

4) 一人っ子 9.9

(3) あなたとお子さんとの関係

お子さんの (1.お父さん 2.お母さん 3.その他) 39.4 59.7 0.9

ここからは、中学校でお子さんが学習している国語、数学、社会、理科、英語の 学習内容についてお聞きします。少し長くなりますが、各教科ごとに内容がまと めてあります。

B「5教科の問題」の中で2教科選んでやっていただいた教科内容についてお答えください。(5教科全部お答えいただいても結構です。)

例えば、国語と英語の問題をやった方は、国語と英語のアンケートにお答えください。

調査票の項目はB「5教科の問題」の中の問題を要約・簡略していますので、詳しくは、B「5教科の問題」をご覧になりながらお答えください。

なお、調査票の項目番号はB「5教科の問題」の問題番号に対応しています。

② 解いていただいたそれぞれの問題は、あなたのお子さんにとって難しい内容と思われますか、それともやさしい内容と思われますか。またそれは、中学3年生まで(義務教育)で学習する必要があると思いますか。①難易度、②必要性の両方についてお答えください。

### 国語

#### 【1】漢字の読み書き

			〕難易原	②必要性 特に必要と		
						は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
①蓄える	0.7 —	3.4	_ 10.3 -	51.7_	— <b>33.9</b> —	<b>───</b> 1.0 ── 18.2 ── 80.8
②静寂	1.0 —	<u> </u>	_ 20.7 _	41.4_	<u> </u>	2.1 — 32.4 — 65.5
③敬う	1.7 —	<u> </u>	_ 17.6 _	35.6_	_ 38.2 _	——→ 1.4 —— 21.1 —— 77.5

①難易度	②必要性 特に必要と は思わない
とても わりと 少し あまり ぜんぜん 難しい 難しい 難しい 難しくない難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である
④注釈	——→ 5.6 — 32.9 — 61.5
⑤需要供給 2.1 — 1.4 — 11.0 — 42.1 — 43.4 —	0.7 — 18.7 — 80.6
⑥全国制覇	<b>──→</b> 2.1 <b>──</b> 33.1 <b>──</b> 64.8
⑦清廉潔白	7.6 — 39.0 — 53.4
⑧遺憾	→ 6.6 — 34.9 — 58.5
⑨ススめる 2.4 3.8 21.3 42.3 30.2 —	1.7 20.8 77.5
⑩サホウ 1.7— 3.1—13.4—36.4—45.4 —	——→ 1.4 — 19.8 — 78.8
①カマえる 1.7— 5.9—25.3—39.3—27.8 —	2.8 — 31.8 — 65.4
⑫コッキシン ······ 19.3 — 24.5 — 32.4 — 13.8 — 10.0 —	→ 19.6 — 42.6 — 37.8
①キュウチ	4.9 — 36.5 — 58.6
① スイセン ····································	→ 3.5 — 25.1 — 71.4
⑮ヒルガエす······ 18.3 — 21.4 — 35.5 — 17.6 — 7.2 —	——→ 11.1 — 43.1 — 45.8
(lb土ジョウ 5.2 — 15.5 — 31.7 — 31.0 — 16.6 —	6.3 — 33.4 — 60.3
①テッロ 3.4 9.3 30.6 37.1 19.6	——→ 0.7 ——29.5 ——69.8
®ウれる······ 3.4─10.7─33.7─32.3─19.9 ─	1.0 — 35.1 — 63.9

### 【2】文法や古典の知識

### (1)修飾語と被修飾語の理解

		— (Ī	難易原	②必要性		
	とても 雑しい	わりと 難しい	少し	あまり 難しくない	ぜんぜん	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
①遠い <u>野中の</u> 道を <u>ゆっくりと</u> 歩いていく	2.7—	_ 5.1	_ 15.7 _	— 49.5 —	27.0  _	10.0 — 49.1 — 40.9
②ひまわりの種を <u>ためしに</u> あちこちにまいてみた	2.1 —	- 6.8—	– 25.0 –	— 42.8 —	— 23.3 —	10.7 — 48.1 — 41.2
③雨が <u>はげしく</u> 窓をたたいて いる	3.1 —	- 4.8 <i>-</i>	– 18.1 –	— 46.6 —	27.4  _	<b></b> 10.3 — 46.4 — 43.3

#### (2)尊敬、謙譲、ていねいの言い方ができる

		(	1)難易	(2)必要性 特に必要と		
						特に必要とは思わない
	とても 難しい				ぜんぜん 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である
①お客様が <u>いらっしゃった</u>	2.7 –	11.0_	27.1 _	<u> </u>	22.7 _	<b>2.4 26.1 71.5</b>
②先生に予定を <u>うかがった</u>	3.4 –	12.4_	_ 30.2 _	31.7_	22.3 _	3.1 — 27.8 — 69.1

### (3)万葉集などの古典の知識

		①難易度 ————	②必要性 特に必要と は思わない
	とても わりと 難しい 難しい		が、知って 必要ない いてもよい 必要である
①「東の野に炎の」の 作者 ····································	21.0 — 34.0	33.011.0 1.0	—→ 20.1 — 70.2 —   9.7
②「田児の浦うち出でてみれば…」の作者 ······	··· 18.6 — 26.2	31.418.6 5.2	—→ 18.3 — 68.9 — 12.8
③「人はいさ心も知らず」 の作者	20.3 — 31.4	33.811.7 2.8	— <b>→</b> 18.0 — 72.0 — 10.0

#### 【 3 】 随筆を読んで作者の考え方、感じ方、言いたいことを読みとる

	①難易度						- ②必要性 特に必要と は思わない	
<u> </u>	とても 雑しい			あまり ゼ 難しくない 難		必要	が、知って ない いてもよい 必要	である
(1) 文中の接続詞の 組み合わせ	4.2	18.9	_ 36.3 _	35.0	5.6 —	6	7—41.5—5	1.8
(2)「指示語」の意味	3.8	17.8	_ 33.6 _	35.0	9.8 —	<b></b> 5	0 41.5 5	3.5
(3)「つくられている」とは 何がつくられるのか	6.7	_ 21.1 _	<b>- 36.0</b> -	— 29.5 —	6.7 –	4	2 49.5 4	6.3
(4)「鈍い」と同じ意味で 使われている単語	6.7	17.5	_ 35.4_	33.0	7.4 –	6	4 51.5 4	2.1
(5)文全体の流れを読みとり、 適切な語を選ぶ	4.6	15.4	_ 35.4 _	35.1	9.5 —	<b>→</b> 6	0 — 42.8 — 5	1.2
(6)「そう」の表している意味、 作者は何が言いたいのかを 読みとる	6.6-	— 16.8 —	_ 37.1 _	— 31.5 —	8.0 —	<b></b> 4	2 40.5 5	5.3

#### 【4】古語の意味や助詞・助動詞の使い方を理解し古典を読解する

		(	〕難易	- ②必要性 特に必要と は思わない	
	とても 難しい			あまり ぜんぜん 難しくない 難しくない	が、知って
(1) 前後の意味を判断し、 適切な語を選ぶA	9.9_	<u> </u>	— 32.8 –	29.3 6.4	
(2)前後の意味を判断し、 適切な語を選ぶB	10.3 –	— 20.6 —	— 31.9 -	30.1 7.1	——→ 12.8 — 61.6 — 25.6
(3)「鶏の鳴くと同じやうに」 のたとえ	9.5 –	— 20.1 —	— 31.2 -	— 28.6 — 10.6	——→ 12.5 — 59.5 — 28.0
(4)「顔のさまあしくて」の 理由の説明	12.8	<u>       26.6                            </u>	34.0 _	—20.6— 6.0	——→ 16.4 — 61.5 — 22.1
(5)「さらば福の神でござある」 の口語訳	10.6 –	24.4_	35.4 -	25.44.2	——→ 17.1 — 63.7 — 19.2
(6) 亭主の様子を想像し、全体 を読みとる	9.9_	28.6 _	33.2 -	22.6 5.7	——→ 12.1 — 62.3 — 25.6

#### 【5】小説を読み、作者の人生観や人間観を読みとる

		— (ī	難易	②必要性 ——		
	とても	わりと	心し	あまり	ぜんぜん	特に必要と   は思わない が、知って
<b>j</b>	難しい	難しい		難しくない		必要ない いてもよい 必要である
(1)なぜ「よけいな」と言って いるのか	4.6	16.7	_ 31.9 _	40.4	_ 6.4 _	4.3 — 50.3 — 45.4
(2)誰が「切り替える」のか	3.9	11.7	_ 26.2 _	<u>41.9</u>	_ 16.3 _	<b>→</b> 5.4 <b>—</b> 48.8 <b>—</b> 45.8
(3)「ほどほどに」がかかる 言葉	3.2	12.4	_ 31.4 _	39.9	_ 13.1 _	<b>5.0 53.9 41.1</b>
(4)時間的経過より表現の効果 を考えて先に書いた段落	5.3	17.0	_ 32.5 _	35.3	_ 9.9 _	——→ 6.1 — 52.5 — 41.4
(5)「この辺の山をよく知ってい るのか」と尋ねた気持ち と共通した気持ちを表す 段落	4.9_	— 19.8 —	_ 35.4 _	30.4	_ 9.5 _	
(6)筆者が述べたいことを読み とる	6.4	18.1	_ 36.9 _	30.1	_ 8.5 _	<b></b> 4.3 — 48.2 — 47.5

## 数学

### 【1】式の計算や公式

		難易度	②必要性 特に必要と は思わない		
(1)(8a-2a)÷2a	難しい 難しい	少し あまり ぜんぜん 難しい 難しくない 難しくない - 7.6 33.1 51.1	が、知って 必要ない いてもよい 必要である		
(2)400の平方根	··· 5.3— 8.8—	_ 12.3 28.1 45.5	10.8 — 37.7 — 51.5		
(3) x² - y² - 4y - 4の因数 分解	13.5 — 22.4 —	_ 30.6 20.6 12.9	14.3 — 44.0 — 41.7		
(4)x=3.75 y=2.25のとき、 x²-y²の値	··· 7.1 — 14.1 —	_ 25.3 31.1 22.4	10.2 — 46.4 — 43.4		
(5) 8 6 - 2 6	··· 7.1 — 10.6 —	_ 18.2 <i></i> 31.2 <i></i> 32.9 <i></i>	→ 12.0 — 53.0 — 35.0		
(6)球の体積を求める公式	14.6 — 17.0 —	_ 27.5 23.4 17.5	<b>10.2 44.3 45.5</b>		
(7) 二次方程式 ax²+bx+c= 0 の 解の公式	··· 19.5 — 21.3 —	– 29.1 — 18.3 — 11.8  —	<b>──</b> 18.8 <u>─</u> 44.2 <u>─</u> 37.0		
(8) 三平方の定理	11.8 14.8	- 23.7 — 25.4 — 24.3  —	9.2 — 44.8 — 46.0		

### 【2】連立方程式を組み立て答えを求める

	(	〕難易度 ——		②必要性 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――
	とても わりと 難しい 難しい	少し あまり † 難しい 難しくない 動		は思わない が、知って い いてもよい 必要である
(1)6%の食塩水300gに 含まれる食塩の量	·· 8.2—11.2-	22.431.7	-26.5 3.0	38.258.8
(2) 4 %の食塩水をxg、 7 %の 食塩水をygとし連立方程式 を作る	·· 10.0 — 15.9 –	— 25.9 — 32.3 —	-15.9 <b></b> 7.9	45.7 <i></i> _46.4
(3)連立方程式を解く	8.9 — 18.3 –	24.927.8	- 20.1 9.1	42.148.8
【3】子どもの入館者数を、条件を考え不等式を使って求める	·· 10.7 — 22.5 –	34.9 20.7	-11.2	42.247.0
【4】10円硬貨3枚、50円硬貨1枚、 100円硬貨1枚からつくれる金 額は全部で何通りか(場合の数)…	·· 11.2 <i></i> 30.0 <i>-</i>	— 27.6 — 20.0 —	-11.2	49.137.6

#### 【5】長方形の面積と周囲の長さの関係から方程式を用いて縦、横の長さを求める

		(	D難易/	②必要性 ——		
						特に必要とは思わない
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい		ぜんぜん ! 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である
(1) 長方形の縦の長さをxと						
して方程式を作る	10.2 –	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	— 13.3  —	→ 5.5 — 43.9 — 50.6
(2) 方程式を解き、縦・横の 長さを求める	11.3—	21.4	29.2 _	24.4_	13.7	7.3 — 43.0 — 49.7
【6】相似比と面積比の関係						
		(	〕難易原	隻		②必要性 ——
						特に必要と は思わない
(1) 2 つの三角形が相似である	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい		ぜんぜん ! 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である
ことを証明する	14.3 —	34.0 _	20.2 _	23.2 _	8.3	—— <b>→</b> 14.5 — 46.9 — 38.6
(2) 2つの三角形の面積比を					_	
求める	14.9 —	— 29.8 —	<u>       26.8                             </u>	<u> </u>	— 9.5 —	—— <b>→</b> 13.3 — 48.1 — 38.6
(3) 相似比・面積比を使って 三角形の面積を求める	···· 19.3 <i>—</i>	33.1 _	— 23.5 –	<u> </u>	— 9.0 —	——→ 11.5 — 52.1 — 36.4
(4)角の大きさを求める	10.2	24.0_	21.6 _	25.0 _	19.2	9.8 — 45.7 — 44.5
【7】一次関数と座標						
		(	〕難易原	隻		②必要性 ——
		(	〕難易原	芰——		特に必要と
	とても 難しい	ーーー ( わりと 難しい	シュー シュ 少し	あまり	ぜんぜん ! 難しくない	
(1) 2 点を通る直線のy軸と 交わる座標を求める	難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	1 難しくない	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
交わる座標を求める	難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	1 難しくない	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
	難しい ···· 17.4 —	わりと 難しい — 31.6 –	少し 難しい — 23.4 -	あまり 難しくない 19.2 -	・難しくない	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である 
交わる座標を求める (2) 点 A のx 座標の値 a を	難しい ····· 17.4 — ···· 20.5 —	わりと 難しい — 31.6 —	少し 難しい — 23.4 - — 27.7 -	あまり 難しくない 19.2 12.0 -	・難しくない 8.4 7.2	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である 
交わる座標を求める         (2) 点Aのx座標の値aを 求める         【8】2つの図形の関係を理解し、	難しい ····· 17.4 — ···· 20.5 —	わりと 難しい — 31.6 —	少し 難しい — 23.4 - — 27.7 -	あまり 難しくない 19.2 12.0 -	・難しくない 8.4 7.2	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である 
交わる座標を求める         (2) 点Aのx座標の値aを 求める         【8】2つの図形の関係を理解し、	難しい ····· 17.4 — ···· 20.5 —	わりと 難しい 31.6 32.6	少し 難しい 23.4	あまり 難しくない 19.2 15.7 -	・難しくない 8.4 7.2	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である 
交わる座標を求める	難しい ····· 17.4 — ···· 20.5 —	わりと 難しい 31.6 32.6	少し 難しい — 23.4 - — 27.7 -	あまり 難しくない 19.2 15.7 -	・難しくない 8.4 7.2	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である 
交わる座標を求める	難しい 17.4— 20.5— 19.9—	わりと 難しい 31.6 32.6 36.1	少し、 難しい 23.4 - 27.7 - 20.5 - ①難易』	あまり 難しくない 	<ul><li>難しくない</li><li>8.4 —</li><li>7.2 —</li><li>7.8 —</li><li>ぜんぜん</li></ul>	特に必要と は思わない が、知って 必要ないいてもよい必要である 
交わる座標を求める	難しい 17.4 — 20.5 — 19.9 — 難しい	わりと 難しい 31.6( むりと 難しい	少し、 型しい - 23.4 - - 27.7 - - 20.5 - )難易ル 単しい	あまり 難しくない 	<ul> <li>難しくない</li> <li>8.4 —</li> <li>7.2 —</li> <li>7.8 —</li> <li>ぜんぜん 難しくない</li> </ul>	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
交わる座標を求める	難しい 17.4 — 20.5 — 19.9 — 難しい	わりと 難しい 31.6( むりと 難しい	少し、 型しい - 23.4 - - 27.7 - - 20.5 - )難易ル 単しい	あまり 難しくない 	<ul> <li>難しくない</li> <li>8.4 —</li> <li>7.2 —</li> <li>7.8 —</li> <li>ぜんぜん 難しくない</li> </ul>	特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である

## 社 会

		(	D難易!	②必要性 ―― 特に必要と	7		
【1】地域の気候の特徴を	とても 難しい	わりと 難しい			ぜんぜん 難しくない	は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である	3
降水量と気温から理解 する	7.1 –	21.8	— 42.2 –	— 21.8 –	— 7.1 —	→ 10.5 — 52.0 — 37.5	
【 2 】日本の国の位置や地形を 理解する	··· 5.8-	— 15.6 —	— 26.0 –	— 43.5 –	— 9.1 —	4.5 — 38.3 — 57.2	
【3】環境問題を地球的規模で考える							
		(	〕難易原	芰		②必要性 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	7
	とても 難しい	わりと 難しい			ぜんぜん 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である	ś
(1) さまざまな環境破壊の被害 を地球的規模で理解する	5.2	15.5	24.5_	33.5 _	21.3 _	<b>0.6</b> <u>22.6</u> <u>76.8</u>	
(2) イギリスの産業革命と 日本の歴史を関連させ 理解する	··· 9.1 –	25.3	36.4_	24.7_	— 4.5 —	8.3 — 46.2 — 45.5	
(3)明治時代、公害(足尾銅山) に尽くした人物	6.5 –	21.4	27.3_	33.8_	— 11.0  —	5.2 — 50.3 — 44.5	
(4) 環境破壊以外にも地球的 規模で考えなければなら ない現代社会の課題	··· 11.0_	20.1	33.2 _	24.7 _	11.0	——→ 0.6 — 20.1 — 79.3	
(5)条例制定	10.5	22.9	33.9 _	25.5 _	7.2 _	3.9 — 36.8 — 59.3	
【4】太田道灌と同時代の人物を 理解する	9.0 –	— 23.9 —	34.2 _	27.1 _	_ 5.8 _	<b>20.0 54.8 25.2</b>	
【5】世界の歴史と日本の歴史を 関連させ理解する	15.7_	27.5	37.2_	16.3_	_ 3.3 _	8.4 — 45.5 — 46.1	

#### 【6】地方自治と住民の生活を理解する

		①難易度 ————	②必要性 特に必要と		
(1)条例制定・改廃を求める	とても わりと 難しい 難しい		は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である		
権利など住民の権利と関連 する法律	16.6 — 29.9	32.515.3 5.7	—→ 1.3 — 36.5 — 62.2		
(2)地方議会の解散を求める 権利	10.9——28.8	34.717.97.7	—→ 1.3 — 35.5 — 63.2		
(3)住民がリコール請求できる 権利	11.5 — 22.4	34.721.8 9.6	1.3 — 32.3 — 66.4		
(4)地方政治に直接民主制が 採用されている理由	12.8 — 23.7	37.3 <i>_</i> 17.9 <i>_</i> 8.3 <i>_</i>	3.9 — 33.5 — 62.6		

### 【7】日本国憲法と国会の仕組みを理解する

		(	〕難易原	度 ——		②必要性 ——
	 とても 難しい	わりと 難しい			ぜんぜん 難しくない	特に必要と   は思わない が、知って   必要ない いてもよい 必要である
(1) 日本国憲法第41条、 第64条	16.2_	18.2_	_ 31.8 _	26.0 _	7.8 _	1.3 — 29.0 — 69.7
(2) 国会の二院制	10.9	<u> </u>	<u> </u>	34.0 _	— 10.9 —	3.2 — 23.7 — 73.1
(3)国会の権限	11.0–	<u> </u>	_ 37.8 -	— 22.7 –	— 8.4 —	2.6 — 27.7 — 69.7
(4) 衆議院の優越	11.8_	23.5	_ 34.0 _	26.8_	_ 3.9 _	3.2 — 31.8 — 65.0
(5)衆議院の優越が認められて いる理由	11.6–	21.3_	34.1 _	26.5_	— 6.5 —	4.5 - 29.7 - 65.8
(6) 両院の国の政治を調査し、 証人の出頭、証言、記録を 提出させる権限は何か	··· 14.6_	26.8	_ 37.6 _	17.2_	_ 3.8 _	

## 理 科

### 【1】炭酸水素ナトリウムの分解

		②必要性
	① 美4 列 及	特に必要と
	とても わりと 少し あまり ぜんぜん 難しい 難しい 難しい 難しくない難しくない	は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
(1) 気体に石灰水を入れて振る	ALOVI ALOVI ALOVIALOVIALOVIALOVIALOVIALOVIALOVIALOVI	DEAN NOON DECOM
と白くにごるとき発生する 気休	····· 8.0 — 16.0 — 29.3 — 33.4 — 13.3 ——	9.7 51.4 38.9
	0.0 10.0 20.0 00.4 10.0	
(2)分解によってできた化合物 の液体	8.1 — 20.3 — 32.4 — 28.4 — 10.8 —	→ 8.3 — 55.6 — 36.1
(3)分解とよばれる化学変化	9.7 — 13.9 — 33.3 — 25.0 — 18.1 —	→ 6.9 — 52.8 — 40.3
【2】いろいろな水溶液の性質		
	①難易度 ———	②必要性 ——
		特に必要と は思わない
	とても わりと 少し あまり ぜんぜん 難しい 難しい 難しい 難しくない難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である
(1) 赤色リトマス紙が青色に 変化する液体	····· 5.5—12.3—34.2—28.8—19.2—	→ 4.2 — 51.4 — 44.4
(2)水分を蒸発させた後に 固体の物質が残る液体	···· 6.9 — 8.3 — 33.5 — 31.9 — 19.4 ——	9.7 — 50.0 — 40.3
(3) さまざまな水溶液による 化学反応の違い	9.9 — 14.1 — 39.3 — 26.8 — 9.9 ——	→ 9.9 — 54.9 — 35.2
【3】磁石の運動によって生じる電流を	<b>を調べる実験</b>	
	①難易度 ———	②必要性 ———
	SKE-7JIX	特に必要と
	とても わりと 少し あまり ぜんぜん 難しい 難しい 難しい 難しくない難しくない	は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
(1) 棒磁石が作るN極付近の		
磁界のようす	·····11.1 — 22.2 — 27.8 — 29.2 — 9.7 ——	→ 7.1 — 55.8 — 37.1
(2)検流計の針が(- )側に大 きく振れるとき、棒磁石 の操作	····· 11.1 — 23.6 — 29.2 — 25.0 — 11.1 ——	→ 8.6 — 60.0 — 31.4
(2) 梼磁五のN域をてに向けて		
(3) 棒磁石のN極を下に向けて コイルの上を水平に通過さ		
せるときの検流計の針の 動き方	15.3 — 16.7 — 26.4 — 27.7 — 13.9 —	—→ 11.4 — 52.9 — 35.7

### 【4】電熱線と電流の関係

[

[

		(	〕難易	②必要性 ——		
					特に必要と	
	とても	わりと	少し	あまり ぜんぜん	は思わない が、知って	
	難しい			難しくない 難しくない	必要ない いてもよい 必要である	
(1) 電熱線の抵抗	14.3 –	<u> </u>	— 30.0 -	— 32.8 —   8.6  —	—→ 12.7—42.3—45.0	
(2) 電熱線 1 本に流れる電流が 最も大きい回路	11.4 –	<u> </u>	— 30.0 -	34.3 8.6	—→ 11.3 — 38.0 — 50.7	
(3) 電熱線 1 本に流れる電流が 最も小さい回路	···· 12.9 –	— 17.1 —	27.1 -	34.3 8.6	9.9 — 42.3 — 47.8	
5】地震観測記録の理解						
			1)難易/	<del></del>	②必要性 ——	
			<b>少天性<b>の</b>1</b>	2	特に必要と	
	とても	わりと	少し	」 あまり ぜんぜん	は思わない が、知って	
	難しい			難しくない 難しくない	必要ない いてもよい 必要である	
(1) 地震波と震源の位置・		00 <b>-</b>	00.4	05.4	50 405 470	
時間の関係	14.1 –	— 22.5 —	<u> </u>	— 25.4 —   9.9  —	→ 5.6 — 46.5 — 47.9	
(2)地震波を読み所要時間と 到達距離をグラフに書く	··· 16.9_	— 22.5 —	31.0 -	—21.1— 8.5 —	9.9 — 53.5 — 36.6	
(3)震源から観測地までの						
距離の表し方	··· 21.5 –	— 30.0 —	<u> </u>	—11.4 <i>—</i> 7.1 —	→ 12.9 — 58.5 — 28.6	
(4) 地震が放出するエネルギー の大小に影響する要因	··· 16.9_	— 26.8 —	_ 32.4 -	— 16.9 —   7.0  —	—→ 9.9 — 52.1 — 38.0	
6】仕事とエネルギー						
		(	〕難易	度 ————	②必要性 ——	
					特に必要とは思わない	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し難しい	あまり ぜんぜん 難しくない 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である	
(1)台車の高さを変えないで 質量を2倍にしたとき、 ものさしが押し込まれる	<del>χ</del> μ Ο <b>ν</b> 1	AL OVI	¥£ 0 v ·	ALO VIGOTI ALO VIGOTI	ZZGWI VICOWI ZZCWZ	
長さ	9.9 –	<u> </u>	<u> </u>	<u> 26.8 11.3     </u>	→ 15.5 — 45.1 — 39.4	
(2) 台車の速さと質量がとも に2倍になると運動エネ ルギーは何倍か	9.9_	25.4_	_ 30.8 -	25.4 8.5	<del>-</del> 15.5 47.9 36.6	
(3)台車の高さが10cmで、 質量が4kgのとき、もの さしは何m押し込まれる か	11.3 –	22.5 _	32.3 -	25.4 8.5	—— <b>→</b> 18.3 — 46.5 — 35.2	

### 【7】植物の光合成とでんぷん、植物の働き

			〕難易原	②必要性 ——			
		`	> <b>X- 73</b>	~		特に必要とは思わない	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい		ぜんぜん 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である	
(1) 緑色の葉をつけたアサガオ を1昼夜暗室に置く理由 …							
(2) ヨウ素液に最も染まるのは どのような葉か	7.1 –	24.3	28.6 _	28.6	11.4		
【8】ホニュウ類の特徴、ホニュウ 類でも卵で生まれる動物	7.1 –	— 17.1 —	25.7 _	28.7	—21.4 —	7.2 — 53.7 — 39.1	
【 9 】セキツイ動物の発生で魚類、 ホニュウ類までは共通の先祖 から進化したと考えられる 理由	10.1 –	21.8	— 29.0 –	— 29.0 —	—10.1 —		
【10】ヒトの肺、心臓、血管の関係							
			〕難易原	复——		②必要性 ——	
						特に必要とは思わない	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい		ぜんぜん 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である	
(1) 肺胞へ血液を送り出して いる心臓の部屋の名称	8.6 –	10.0	25.7_	40.0_	15.7 _	4.3 — 31.9 — 63.8	
(2)二酸化炭素を多く含んだ 血液が流れている静脈	8.6 –	11.4	25.7_	35.7_	18.6  _	4.3 — 29.0 — 66.7	
(3) 毛細血管からしみ出して 組織液となるもの	8.6 –	17.1 _	28.6 _	32.8	—12.9 <i>—</i>	7.2 — 34.8 — 58.0	
【11】ヒトの脳の働き							
		(	〕難易原	隻 ——		②必要性 ——	
						特に必要とは思わない	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい		ぜんぜん 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である	
(1) 脳組織の名称	11.4 –	11.4	27.1 _	38.7 _	11.4 _	2.9 — 31.9 — 65.2	
(2)記憶・理解の中枢神経	11.4 –	14.3_	22.9_	— 40.0 —	—11.4 —	2.9 — 29.0 — 68.1	
(3) 呼吸器・消化器・心臓の 働きを調節する中枢神経	15.7 –	<u> </u>	_ 30.1_	27.1 _	10.0  _	4.3 — 34.8 — 60.9	

#### 【12】火成岩の組織や生成

			〕難易原	②必要性		
	とても 難しい			あまり 難しくない		は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
(1) アンザン岩のでき方	18.6	21.4_	<u> </u>	<u> </u>	_ 7.1 <u>_</u>	——→ 21.7 — 59.5 — 18.8
(2) アンザン岩に含まれる 鉱物	··· 20.0 <i>—</i>	— 28.6 —	— 30.0 –	<u> </u>	- 4.3 -	<b></b> 27.5 — 56.6 — 15.9
(3) アンザン岩と同じはん晶と 石基からなる斑状の組織を もつ岩石	20.3	27.6	_ 26.1 -	21.7	_ 4.3 _	—— <b>→</b> 27.5 — 56.6 — 15.9

### 【13】太陽系の星座 (火星とその星座の見方)

		(	〕難易原	②必要性 ——		
	 とても 難しい	わりと 難しい		あまり 難しくない		特に必要と は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である
(1) 星座の間を動いて見える 火星のような天体を何と いうか	12.9_	— 18.6 —	_ 25.7 _	— 28.5 —	— 14.3  —	7.2 — 50.8 — 42.0
(2) しし座の星は西へ動いたように見えるが互いの位置は 変わらず点のように見える						
理由	18.6 –	<u> </u>	_ 27.1 _	30.0	_ 5.7 _	8.7 — 60.9 — 30.4
(3)火星としし座の特徴	14.3_	20.0_	_ 38.6 _	20.0	_ 7.1 _	7.2 — 66.7 — 26.1

### 【14】天気図の理解

	①難易度 ——	②必要性 特に必要と
	とても わりと 少し あまり	は思わない
	難しい 難しい 難しい 難しくない	難しくない 必要ない いてもよい 必要である
(1)天気図で示された季節は いつか	····· 7.1 — 10.0 — 35.7 — 24.3 —	<b>−22.9 −−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−</b>
(2)福岡での気圧はいくらか …	11.4 — 20.0 — 31.5 — 27.1 —	<b>−10.0 −−−−− 5.8 −−−55.1 −−−39.1</b>
(3)天気図を理解して、次の 日の天気を予想する	12.9 — 12.9 — 25.7 — 35.6 —	- 12.9→ 4.3 37.7 58.0

## 英 語

### 【1】発音・文法の理解

			<b>∿##</b> 目	—— ②必亜州 ——			
			1)難易/	特に必要と			
	とても	わりと	少し		ぜんぜん	は思わない が、知って	
(1) 発音	難しい 7.6	難しい 10.3			難しくない <b>32.</b> /	必要ない いてもよい 必要である	
(1)元酉	7.0 –	— 10.5 –	— 13.9-	— 55.0 –	— JZ.4  —	1.4 — 15.5 — 65.5	
(2)名詞の複数形	7.0 –	7.7_	13.4_	40.2_	31.7	——→ 0.7 — 20.1 — 79.2	
(3) 現在完了形	9.1 –	15.4 _	25.2 -	27.9_	22.4	2.1 — 27.8 — 70.1	
(4) be動詞	9.8	10.5 _	22.4 _	35.6 _	21.7 <i>_</i> _	2.8 — 20.8 — 76.4	
【2】英文を日本語に訳すこと							
		(	〕難易	芰		②必要性 ——	
						特に必要と は思わない	
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい		ぜんぜん 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である	
(1) Mr. and Mrs. March							
made their daughter a pianist. ······	9.0 –	11.0 _	<u> </u>	36.6 _	<u> </u>	——→ 0.7 —— 22.4 —— 76.9	
(2) Please don't call me							
"Shorty"	9.7	11.0_	17.2 -	34.5 _	—27.6 —	——→ 2.1 ——23.8 ——74.1	
(3) The story made me sad	8.3 –	— 9.7-	— 20.1 -	32.7 _	— 29.2  —	2.1 — 22.4 — 75.5	
(4) You must keep your room							
clean. ·····	9.0 –	— 9.7–	<u> </u>	34.4 _	— 29.0  —	→ 0.7 — 20.3 — 79.0	
(5) Playing tennis makes me happy	9.0 –	— 8.3-	— 19.3 -	34.4_	—29.0 —	——→ 2.8 —— 21.7 —— 75.5	
【3】英文を読んで内容を理解する							
		(	1)難易	查		②必要性 ———	
			∴¥ <b>⊬∕∕</b> J1	×		特に必要と	
		わりと			ぜんぜん 難しくない	は思わない が、知って 必要ない いてもよい 必要である	
(1) to do those things	天住 しい!	天住 ひゅう	天住 ひりり	**ロイルリ	大正してんい	少女ない いくしみい 少女(のな	
はどんなことを表して	o <del>-</del>	40.0	04.5	00.0	44.0	0.4 00.4 00.7	
いるか	9.7 –	— 18.8 –	<u> </u>	<u> </u>	— 11.8  —	<b></b> 2.1 — 28.4 — 69.5	
(2)本文の内容に関する質問を							
読んで英語で答える	···· 11.1 –	<u> </u>	<u> </u>	34.7 _	—11.1 <i>—</i>	——→ 2.1 ——26.2 ——71.7	

		(	〕難易』	变——		②必要性 ——			
						特に必要とは思わない			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい		ぜんぜん ! 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である			
(3)全文を読んで内容を理解									
する	12.5 –	<u> </u>	27.8 _	29.8 _	—11.1 —	——→ 2.1 — 22.7 — 75.2			
(4) those experiences									
はどんなことを表して	44.0	40.5	24.0	20.4	44.0	20 202 000			
いるか	11.3—	— 13.5 —	— 34.8 –	— 29. I –	— II.3 —	—— <b>→</b> 2.9 — 30.2 — 00.9			
【4】英文を読んで内容を理解する									
		(	1)難易/	隻		②必要性 ——			
			O 74.	~		特に必要とは思わない			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し難しい		ぜんぜん 1 難しくない	<sup>は忘わない</sup> が、知って 必要ない いてもよい 必要である			
(1)英文を日本文になおす									
(2) 立の中容に流した逆流を									
(2) 文の内容に適した単語を 書く	11.2_	12.6_	29.4 _	33.5 _	13.3 <i></i> _	→ 2.1 — 22.7 — 75.2			
(A) Note to the little of the second									
(3) Not today と同じ意味を 選ぶ	11.2_	14.7_	29.4 _	33.5_	11.2 <i></i> _	→ 2.9—26.4—70.7			
(4) 本文を読んで内容を理解 する	12 7_	162_	30 2 _	26.8_	141	—→ 14—221—765			
		10.2	00.2	20.0		111 2211 7010			
【 5 】 2 人の会話を理解して、 図書館の位置がわかる	10.6	1/0	27.0	23.4	2/11	. 1.4 20.6 78.0			
四目的の位置が12月で	10.0 —	— 1 <del>4</del> .5—	— Z1.0 -	— 23. <del>4</del> –	— 2 <del>4</del> .1 —	1.4 — 20.0 — 70.0			
【 6 】英文を読んで内容を理解する									
		(	〕難易』	变 ——		②必要性 ——			
						特に必要とは思わない			
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい		ぜんぜん 1 難しくない	が、知って 必要ない いてもよい 必要である			
(1) one は何を意味するか									
(2) that は何を意味するか	8.4	16.1 _	31.4_	30.1 _	14.0	2.1 — 26.8 — 71.1			

ここからは、全員の方がお答えください。 中学校の授業や教科以外の学習・評価についてお聞きします。

③ あなたは、全体として、中学校で学習する授業、部活動などがどのくらい必要だと思いますか。

		わりと 必要		あまり 必要でない	
1 . 国語	···· 76.2 —	— 20.4 —	3.1	— 0.3 <i>—</i>	— 0.0
2 . 社会	···· 45.9 —	— 39.6 —	— 12.7 —	— 1.5 <i>—</i>	<b>—</b> 0.3
3.数学	···· 47.4 —	— 30.7 —	— 17.3 —	— 4.0 <i>—</i>	- 0.6
4.理科	30.0 —	— 38.4 —	— 22.6 —	— 7.1 —	1.9
5.美術	···· 18.6 —	— 29.4 —	— 39.0 —	<u> </u>	1.2
6 . 音楽	···· 21.4 <i>-</i>	— 30.0 —	— 36.9 —	— 10.5 —	1.2
7.体育	···· 37.4 <i>-</i>	— 40.2 —	— 19.0 —	2.8	<b>—</b> 0.6
8.技術・家庭科	····· 24.0 —	— 40.5 —	— 29.6 —	— 5.6 <i>—</i>	0.3
9 . 英語	···· 66.5 —	— 24.8 —	— 7.5 <i>—</i>	1.2	<b>—</b> 0.0
10. 道徳や学級活動	····· 54.3 <i>-</i>	— 31.3 —	—11.3—	2.2	— 0.9
11. 部活動	···· 47.3 <i></i>	— 32.3 —	— 15.7 —	3.4	1.3

4 あなたは、次のような行事や活動について、学校で行う必要があると思いますか。

1.遠足	必要	必要	必要	あまり 必要でない 5.3	必要でない
2 . 修学旅行(林間、スキー教室なども含める)・	59.5	_ 27.5 <i></i>	- 9.9 <i>-</i>	2.2	<b>—</b> 0.9
3 . 社会見学 (工場や資料館など)	··· 43.9 —	- 32.4	— 17.6 —	— 4.6 <i>—</i>	— 1.5
4 . 運動会	··· 47.3 <i></i>	−31.2 <i>−</i> −−	<b>-16.0</b>	— 4.6 <i>—</i>	— 0.9
5 . 水泳大会	··· 17.3——	- 28.2	-28.2 <i></i>	20.4	5.9
6 . マラソン大会	···· 17.6 ——	— 24.4 ——	_31.8 <i></i>	<u> </u>	5.2
7 . 球技大会	··· 20.4 <i></i>	-30.2 <i></i>	-30.6 <i>-</i>	— 15.4 —	— 3.4
8 . 文化祭	38.8	— 34.3 ——	-20.7-	— 4.3 <i>—</i>	— 1.9
9 . 合唱祭などの生徒による音楽会	30.0	_ 32.3 <i></i>	- 27.2 <i>-</i>	— 9.0 <i>—</i>	— 1.5

10 . 芸術鑑賞会		わりと 必要 32.9			
11 . 入学式	····· 65.4 —	20.1	— 9.9 <i>—</i>	— 3.4 —	— 1.2
12 . 卒業式	····· 69.2 <i>-</i>	18.8	— 7.4 <i>—</i>	3.4	1.2
13. 授業参観	30.8 —	28.1	— 29.0 —	— 9.6 —	2.5
14 . 家庭訪問	····· 15.2 <i>—</i>	— 19.9 —	— 20.8 —	30.7	— 13.4
15.保護者会(支部別PTA会なども含める)…	····· 25.8 <i>-</i>	<u> </u>	— 28.6 —	—— 11.5 —	<b>—</b> 5.0

### 5 あなたは、次のようなことを中学校で教えてほしいと思いますか。

1 . 望みの高校に入れる学力		わりと 教えてほしい 47.6		
2 . 社会人としての常識	····· 73.7 —	25.1	0.9	0.3
3 . 体力や忍耐力	66.2 —	30.7	2.2	—— 0.9
4.正直さや誠実さ	······ 71.5 ——	26.7	1.2	<b>——</b> 0.6
5.思いやりや優しさ	····· 73.6 —	25.2	0.6	<b>——</b> 0.6
6 . けんかしても友だち同士で解決できる力 …	····· 70.0 —	27.9	1.5	0.6
7 . 尊敬語やていねい語などきちんとした 言葉遣い	····· 52.1 ——	43.6	3.7	<b></b> 0.6
8 .「こんにちは」「おはよう」 などの あいさつができる	······ 60.1 —	32.8 —	6.2 —	0.9
9 . 身の回りや部屋の整理整頓	29.1 —	—— 47.2 ——	18.4	5.3
10 . ワープロで文章が打てる	23.4	48.9 —	22.1	5.6
11 . パソコンの使い方	33.9 —	45.6 —	15.5	5.0
12 . インターネットの利用	····· 27.6 —	—— 41.9 ——	23.0	<b></b> 7.5
13. コピーやFAXの使い方	····· 18.3 —	45.4	27.3	9.0
14. 車椅子や手話が使えること	21.8 —	61.7 —	13.4	3.1
15 . 英語で簡単な会話ができる	64.9 —	31.7	2.5	<b></b> 0.9

⑥ あなたは、お子さんの通知表を見て、学校の評価はお子さんの能力を正しく評価していると 思いますか。

- ① いまの中学校を改善するため、次のような提案がなされています。この提案について賛成されますか、それとも反対されますか。ご意見をお聞かせください。
  - 1.部活動の指導は、学校にとって負担 になっているので、これからは地域 どちらとも どちらかと いえば賛成 賛成 反対 の社会体育やスポーツクラブなどで いえない 行うべきだ ------------------------ 6.2 ---- 9.3 ----- 30.7 ----- 22.7 ----- 31.1 2. 中学生の学ぶ意欲を高めるために、 選択教科の幅を広げて、好きなこと を中心に学習させる方式を取り入れ るべきだ ......24.5 — 30.6 — 26.0 — 12.1 — 6.8 3. 高校入試では、ふだんの学習態度を 評価するため、内申書を重視した選 4. 生涯にわたって自ら学ぶ力をつける ため、知識重視の学力観から、意欲 重視の学力観に発想を変えるべきだ …… 30.4 — 37.3 — 27.3 — 3.4 — 1.6 5.「心の教育」を推進するために、学校 以上に、家庭での親子関係やしつけ を充実する努力が必要だ ························55.9 ----- 31.4 ----- 10.2 ---- 1.6 ---- 0.9

最後に、この用紙を持ち帰られたお子さんとあなたのことについてお聞きします。

® あなたのご家庭では、お子さんに次のようなことをされていますか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	
1 .「おはよう」「おやすみなさい」の あいさつをする	55.7 —	32.2	9.6 —	2.5
2 . 尊敬語やていねい語など言葉遣いを 注意する	···· 20.2 —	48.4	28.0	3.4
3 . 子どもが夜12時頃まで起きていたら、 声をかける	····· 57.2 ——	31.6	8.4 —	2.8
4.子どものテストや勉強に目を通している …	····· 17.5 —	—— 41.9 ——	35.3	5.3

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
5 . 子どもの友だちは知っている	····· 28.3 —	57.8	—— 12.7 ——	1.2
6 . 子どもと学校のことを話すようにしている・	····· 31.3 —	50.2	—— 16.6 ——	1.9
7.子ども部屋には1日1回は入ってみる。	····· 52.9 —	29.8	12.9	4.4
8.外出先や遊び場所は連絡させる	····· 52.8 —	36.0	9.0 —	2.2
9 . 朝、出かけるとき「行ってらっしゃい」 と声をかける	····· 73.4 —	—— 19.8 ——	— 4.6 —	2.2
10.服装や髪型には注意している	····· 47.9 —	34.4	—— 15.2 ——	2.5
11.毎月決まった額のお小遣いをあげている…	····· 61.0 —	16.4	— 11.8 —	10.8

⑨ あなたは、お子さんが悩んだときなど相談相手になっていると思いますか。

⑩ お子さんが中学生になってから、厳しく(殴るほど)叱ったことがありますか。

Ⅲ あなたは、お子さんが通っている中学校に満足していますか。

12 現在、お子さんは塾に行っていますか。

13 あなたのお子さんは、学校の勉強をどのくらい理解していると思いますか。

```
ほとんど 3分の2くらい 半分くらい 3分の1くらい ほとんど わかる わかる わかる わかる わかる わからない 12.5 — 41.1 — 26.8 — 14.3 — 5.3
```

函 お子さんは、中学卒業後はどのような進路を希望していますか。

- 1.就職 0.0
- 2. 高校まで 22.4
- 3. 専門・専修学校まで 12.8
- 4. 短大まで 9.0
- 5.4年制大学まで 48.6
- 6. 大学院まで 2.5
- 7. その他 4.7

IB お子さんは、理系・文系どちらを志望していますか。

絶対	できれば	できれば	絶対	どちらか決めていない
理系	理系	文系	文系	(特に考えていない)
5.4 —	<u> </u>	<u> </u>	— 6.0 —	<del> 48.9</del>

16 お子さんの成績はどのくらいですか。

- □ もしお差し支えなかったら、次の質問にお答えください。
  - (1)現在、あなたはおいくつですか。

(2) あなたが最後に学校を出られた大体の年齢をお聞かせください。

```
    15歳
    18歳くらい
    20歳くらい
    22歳・それ以上

    5.4
    45.2
    22.2
    27.2
```

#### (3) あなたのお仕事はどのようなものですか。

1.フルタイムの仕事(会社員や公務員など)	45.6
2 . 自営業 (工場・商店の経営など)	9.8
3 . 自由業	4.2
4.農林漁業	0.0
5 . 特に仕事をしていない	16.0
6 . その他 ( )	24.4

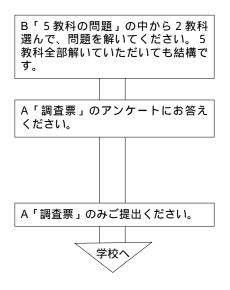
### (4)今回問題を実際に解いてみた方にお聞きします。感想をお聞かせください。

	何も参考にしないで ほとんどできた (やさしかった)	調べたり考えるのに 時間がかかったが ほとんどできた	調べたり考えて やってみたが、 間違いが多かった	
1.国語 ······	······ 18.1 —	<del></del>	25.3	<del></del> 11.6
2.数学	······ 11.4 —	35.5 —	31.6	21.5
3 . 社会	····· 12.9 —	38.9	30.9	—— 17.3
4.理科	6.7 —	34.7	38.6	20.0
5 . 英語	33.1 —	27.9	19.1	—— 19.9

### B「5教科の問題」

これはお子さんが中学3年生までに学ぶ内容です。問題を解いて別紙のアンケートにお答えください。118~119ページに正解が載せてあります。問題は数学から、国語は後ろ(117ページ)から綴ってあります。

### アンケートのやり方 -



正解は118~119ページに載せてあります。

調査票の<u>2</u>の教科の難易度、必要性については、ご自分が解いた教科についてお答えください。

例)国語と英語を解いた方は、国語と英語のアンケートにお答えください。 2 以外は全員の方がお答えください。

封筒に、A「調査票」を入れ、厳封して お子さまにお持たせください。

数学		[	] は生徒	の正答率(単位は%)
【1】次の答えを求めなさい。				
(1) $(8 a - 2 a) \div 2 a$	(		)	[ 79.8 ]
(2) 400の平方根	(		)	[ 85.3 ]
<ul><li>(3) x<sup>2</sup>-y<sup>2</sup>-4y-4を因数分解する</li></ul>	(		)	[32.1]
(4) $x = 3.75$ $y = 2.25$ のとき $x^2 - y^2$ の値	(		)	[66.1]
(5) 8√6-2√6の値	(		)	[ 92.7 ]
(6) 球の体積を求める公式	(		)	[ 49.5 ]
(7) 二次方程式 a x ² + b x + c = 0 の解の公式	(		)	[74.3]
(8) c b のときのa、b、cの関係 (三平方の定理)	(		)	[ 78.0 ]
【2】 4%の食塩水と7%の食塩水を混ぜ合わせて、6 (1)~(3)の答えを求めなさい。	%の食塩水を	:300 g	作りたい	\ <sub>0</sub>
(1) 6%の食塩水300gに含まれる食塩の重さは何 ( )	gか。			[ 79.8 ]
(2) 4%の食塩水xgと7%の食塩水ygを混ぜる	うわせるとし <sup>、</sup>	τ、 x	とyの	
連立方程式を作りなさい。 ( )				[ 68.8 ]
(3) (2)で作った連立方程式を解いて、xとyの値	直を求めなさい	<i>ا</i> ر		
( )				[ 69.7 ]
【3】博物館の入館料は、大人1人250円、子ども1人1 は大人と子どもを合わせて220人で、入館料の合計に 子どもの入館者は、少なくとも何人であったか。				
( )				[ 26.6 ]
【4】10円硬貨3枚、50円硬貨1枚、100円硬貨1枚の- 金額は、全部で何通りあるか。	一部または全部	部を用	いてつく	これる
・				[ 23.9 ]

【5】周囲が20cmの長方形がある。横の長さを2cm増やし、縦の長さを4cm減らすと、との面積の半分になる。もとの長方形の縦、横の長さを求めなさい。	£
$(1)$ もとの長方形の縦の長さを $\mathbf{x}$ cmとして方程式を作りなさい。 ( )	[ 27.3 ]
<ul><li>(2) もとの長方形の縦、横の長さを求めなさい。</li><li>縦 ( ) cm 横 ( ) cm</li></ul>	[ 27.4 ]
【6】右の図で、BDとCEは△ABCの中線である。 このとき、次の問いに答えなさい。	
(1) △GDE∽△GBCを証明しなさい。 ( ) E G C	[ 2.8]
(2) △GDEと△GBCの面積の比を求めなさい。	[36.7]
<ul><li>(3) △ABCの面積を36cm<sup>2</sup>とすると、△GDEの面積はいくらか。</li><li>( )</li></ul>	[11.9]
(4) ∠EDB=20° のとき、∠DBCは何度か。 ( )	[59.6]
【7】右の図のように、x軸上の点A(a, 0)、点B (-2, 4)、点C(-4, -4)および原点Oがある。 2点A、Bを通る直線と2点C、Oを通る直線との 交点をDとするとき、次の問い(1)、(2)に答えな さい。 ただし、a>0とする。	
(1) 2点C、Bを通る直線がy軸と交わる点の座標を求めなさい。 ( )	[ 30.3 ]
(2) CO=4ODのとき、点Aのx座標の値aを求めなさい。	
(	[22.0]

### 調査票見本(B)および集計結果

【8】1辺の長さが6cmの正方形ABCDと、斜辺の 長さが10cmの直角二等辺三角形EFGがあります。 右の図のように、この正方形と直角二等辺三角 形を、正方形の対角線の交点に直角二等辺三角形 の直角の頂点Eがくるように重ねます。

このとき、かげ( )とつけた図形の面積を 求めなさい。

(

(

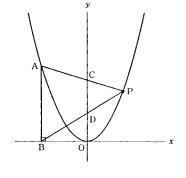
[22.9] )

【9】右の図のように、関数 $y = -x^2$ のグラフ上にx座標が-4となる点Aをとり、この点Aからx軸に 垂線ABをひきます。

点Pはこのグラフ上にあり、x>0の範囲を動き ます。

このとき、次の各間に答えなさい。 ただし、座標軸の単位の長さを1cmとします。

(1) y軸と線分AP、BPとの交点をそれぞれC、D とします。線分CDの長さが2cmとなるとき、点P の座標を求めなさい。



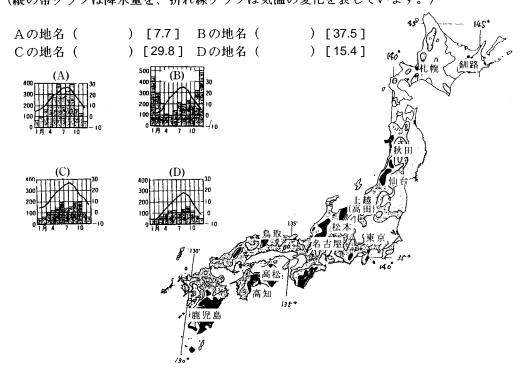
) [2.8]

(2) △ABPの面積が24cmとなるとき、直線APの式を求めなさい。 [11.9]

### 社会

【1】日本の各地の気候についてお聞きします。

下の図の気候について、1年間の降水量を示す地図(色の濃いところは多雨)と、 気温の変化を示すグラフをよく見て、A~Dのグラフが地図上の地名のどこの気温と 降水量の変化を表しているか、地名を()の中に記入しなさい。 (縦の帯グラフは降水量を、折れ線グラフは気温の変化を表しています。)



【2】日本の国土は、東西よりも南北に長いのが特徴です。下の $A \sim D$ の4つの箇所は日本の北端(N)、東端(E)、南端(S)、西端(W)の地名です。( )の中に、記号(N、E、S、W)で正しくその場所を示しなさい。

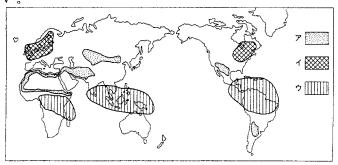
 A 択捉島
 ( )[79.8]
 B 南鳥島
 ( )[33.7]

 C 沖ノ鳥島
 ( )[44.2]
 D 与那国島
 ( )[48.1]

【3】次の文は、社会科の授業で「環境破壊をどのように解決したらよいか」というテーマで話し合ったようすです。この文を読んで、問(1)~問(5)に答えなさい。

まこと 「大きな問題となっている環境破壊をどのように解決したらよいのだろう。」 みちよ a 「酸性雨、熱帯雨林の破壊、砂漠化などの地球的規模の環境破壊が進んでいるのだから、解決のためには地球的規模の見方が必要だと私は思います。」 たかし b 「産業革命のあと、c 公害や環境破壊が大きく問題化したのだと思います。 僕は、人々や政府がどのように解決を図ってきたのか、その歴史を振り返る必要があると思います。」

- ゆうこ 「産業社会が進展して、現代の私たちの生活は豊かになったと思うのですが……。」
- みちよ 「しかし、同時にさまざまな問題も発生したと私は考えます。それは単に 1 つの国の問題にとどまりません。だからこそ地球的な規模の見方が必要 なのです。」
- たかし d<sup>「</sup>環境破壊以外にも地球的規模の取り組みで解決しなければならない現代 社会の課題がたくさんありますね。」
- まこと 「そのような大きな視野も重要ですが、僕は、まず自分たちが住んでいる 地域の問題から解決していくことが大切だと思います。例えば、e地方自治では有権者の50分の1以上の署名をもとに条例制定をもとめることができ 
  ると授業で学びましたが、そういう方法を考えてみることも必要ではないでしょうか。」
- ゆうこ 「ほんのささいなことであっても、毎日の生活の中で私たちに今すぐにできることを実行することが大切ではないでしょうか。」
- (1) 次の地図のア〜ウで示した地域は、文中の下線部aの地球的規模の環境破壊の被害がそれぞれ特に大きい地域を示しています。酸性雨、熱帯雨林の破壊、砂漠化の被害が特に大きい地域を、地図中のア〜ウからそれぞれ選び、その記号を書きなさ



熱帯雨林の破壊 ( )[83.8]

酸性雨()

[ 86.9 <u>]</u>

砂漠化() [87.9]

(通商産業省環境立地局監修「環境総覧 1996」から作成)

- (2) 文中の下線部 b の産業革命は、イギリスで世界に先がけておこりました。イギリスで産業革命がはじまったころ、日本ではどのようなできごとがありましたか。次のア〜エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。
  - ア 田沼意次は、幕府財政の立て直しを図り、海産物の輸出を奨励したり、蝦夷 地の開発を計画したりした。
  - イ 三代将軍徳川家光は、日本船が外国へ行くことと、海外に住む日本人が帰国 することを禁止した。
  - ウ 明治政府は、学制を発布し、6歳以上の男女すべてが小学校教育を受けることとした。
  - エ 井伊直弼は、開国に反対する勢力をおさえ、日米修好通商条約に調印した。

( ) [38.4]

(3) 文中の下線部 c の公害について、明治時代に足尾銅山の鉱毒問題がおこりましたが、その問題解決のために尽力した人物名を、次のア~エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。

ア 福沢諭吉 イ 板垣退助 ウ 原 敬 エ 田中正造 ( )[88.9]

(4) 又中の下線部 d の地球的規模の取り組みで解決しなければな 課題を、環境破壊以外で 1 つあげ、その課題がどのようなもの 課題( ) 説明(		[13.1]
(5) 文中の下線部 e の、地方自治で有権者の50分の1以上の署名を求めることができることは、次のア〜エの中のいずれの権利か。もっとも適当なものを1つ選び、その記号を書きなさい。	に基づくものです	
ア 直接請求権 イ 団体交渉権 ウ 国政調査権 エ (	<b>当</b> 多賠負請水催 )	[64.6]
【4】太田道灌(1432年~86年)は、江戸城を築いた人物です。下のA この人とは同時代でない人物を1名だけ選んで、A~Dの記号で答 A 足利義政 B 北条早雲 C 北条政子 D 日野富子		
(	)	[ 39.4 ]
【5】下の左側には、日本の歴史の流れを時代順に並べました。右側は 来事ですが、左側と同じように、時代順に並べかえなさい。	は世界の歴史上の出	
1. 水田耕作がはじまる ( ) クリミヤ戦争がおこ 2. 倭(わ) 王武が中国の宋へ使いを送る ( ) ドイツでナチスが政 3. 北条氏が執権政治をはじめる ( ) モンゴルのチンギス 4. 山城国一揆・加賀の一向一揆がおこる ( ) 秦 (しん) の始皇帝 5. 松平定信が寛政の改革をおこなう ( ) コロンブスがアメリ 6. ペリーが浦賀へ来る ( ) 中国で辛亥革命が成 7. 護憲運動がおこる ( ) フランス革命がおこ 8. 5. 15事件がおこる ( ) 西ローマ帝国が滅び	な権を手に入れる ニハンが即位する が中国を統一する カに着く ひする	
【6】次の文を読んで、下の問いに答えなさい。		[30.3]
わが国の地方自治制度においては、a条例の制定・改廃を求める権解職を求める権利、c地方議会の解散を求める権利、d事務の監査を記住民の権利として認められ、直接民主制が採用されている。		
(1) 下線部 a ~ d の権利をまとめて何というか、その名称を書きらした権利を定めている法律は何か、書きなさい。 名称 ( ) 法律 ( )	なさい。また、こ	[ 25.8 ]
(2) 下線部 c により、地域住民が地方議会の解散を求めるには、 だけの署名が必要か、次のア〜エから1つ選びなさい。	有権者の最低どれ	
ア 有権者の3分の2以上の署名が必要である イ 有権者の過半数の署名が必要である ウ 有権者の3分の1以上の署名が必要である		
エ 有権者の50分の1以上の署名が必要である (	)	[34.3]

(3) 下線部 a ~ d のうちリコールにあ	たるものはどれか	•	
	(	)	[ 49.5 ]
(4) 地方の政治に直接民主制が採用さ 用いて、簡単に書きなさい。	れている理由を、	「住民の意思」	という語を
(		)	[ 42.4 ]
【7】次の文章を読んで、下の問いに答えフ	なさい。		
日本国憲法は、「国会は、国権の最高と規定している。この国会は、a 衆議院 衆議院にはいくつかの点で優越した権限 国会の仕事は、国の基本的な意思を2のそれぞれが国の政治について調査を存提出させたりする権限をもち、また、最 裁判所を設ける権限をもっている。	と参議院の二院制 根が与えられている 決めることである。 行い、そのために 重大なあやまちのる	(両院制) を採 る。 が、そのほか、  正人をよび出し	用しているが、 国会は、 <sub>C</sub> <u>両院</u> たり、記録を
A ( ) B (	)		[72.3]
<ul><li>(2) 下線部 a の二院制について正しくなさい。</li><li>ア 二院制は、異なる利益を代表すイ 衆議院は都道府県を、参議院は</li></ul>	<sup>-</sup> るために設けられ 〈全国を代表する議	ている。 追員で構成されて	
ウ 審議を慎重にする意味から、二 エ 両議院の議員の選挙権、権被選			)[78.9]
(3) 下線部 b について、次のア〜キが ものではないものを、2つ選びな		:事)として <u>規定</u>	<u> </u>
ア 条約の締結 イ 法律の制定 エ 予算の議決 オ 条約の承認		の処理	
キ 内閣総理大臣の指名	( ) (		[2つ正解 30.3][1つ正解 32.3]
(4) (3)のア~キのうち、衆議院の優	<b>越が認められてい</b>	るものをすべて	こあげなさい。
,			[4つ正解 14.1]
(		)	[3つ正解 25.3]
(5) 衆議院の優越が認められているの にあてはまる語を書きなさい。	)はなぜか。その理	!由を述べた次 <i>0</i>	)文の
衆議院のほうが参議院より議員の あって、世論を敏感に反映すると			t ₺ [ 57.6 ]
(6) 下線部cの権限を何というか、漢 ( )	[字 5字で書きなさ	٧١°	[ 41.4 ]

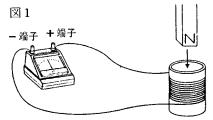
# 理科

【1】右の図は、炭酸水素ナトリウム ある。次の問いに答えなさい。	^を分解する実	験で	炭酸水素ナトリウム	
(1) 発生した気体を集気びんに 灰水を入れて振ると、石灰水 この気体の化学式を書きなさ	が白くにごった		集気び	
	(	) ,,,,,,	hamanananananananananananananananananana	[ 97.7 ]
(2) 試験管の内側には、分解に 合物の名称を書きなさい。	よってできたイ	化合物が液体と	こなってついた。こ	この化
口物の石体を青さならい。	(	)		[72.7]
(3) 分解とよばれる化学変化は、	、次のどれか。	、記号で答えた	<b>なさい。</b>	
ア 塩化銅を水に溶かした。				
イ 水に電流を流して、水素と	酸素を発生さ	せた。		
ウ 食塩水を水と食塩に分けた。 エ 銅と硫黄を加熱して、硫化	•			
エ 麺で伽魚を加熱して、伽化	啊をひくつた。	(	)	[79.5]
【2】右の図のように、A~Dの4本	の試験管を	A	в с	D
用意し、各試験管にそれぞれ塩化 水溶液、エタノール水溶液、水酸	ンナトリウム			] [
ム水溶液(石灰水)、うすい硫酸	を入れた。		_	
これらを用いて行う実験について に答えなさい。	、次の問い	塩化ナトリウム エタ 水溶液 水流	ノール 水酸化カルシウム う 語液 水溶液	ナい破骸
(1) 去名リトラフ紙が表名に亦	ルナス計験性)			- <b>≑</b> ⊓
(1) 赤色リトマス紙が青色に変ん 号で答えなさい。	169の武練官(	よと11/13。 Aへ	*ロから1*2速ん(	
( )				[ 45.5 ]
(2) それぞれの水溶液を少量ず				
固体の物質が残るのはどの試験	験管か。A~]	つから2つ選ん		
( ) ( )			=	E解 73.9] E解 21.6]
(3) それぞれの水溶液を少量ず	つとってそのイ	生質を調べたと		
な反応がみられる試験管はどれ	れか。A~Do	の記号で答えな	?さい。 ?さい。	, <del>c.</del> )
ア 亜鉛を加えると気体が発生	する。	(	)	[79.5]
イ 電圧を加えても電流が流れた		(	)	[73.9]
ウ 二酸化炭素を通すと白くに、 エ 硝酸銀水溶液を加えると白い	-	( 5. (	)	[ 65.9 ] [ 60.2 ]
THE STATE OF THE	100/X/4 C C 4	<b>~</b> 0 \	,	ر ۵۵۰۰ _

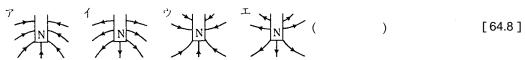
### <u>資料2 調査票見本(B)</u>および集計結果

【3】磁石の運動によって生じる電流を調べるため、 次のような実験をした。これについて、次の問い に答えなさい。

[実験] 図1のように、検流計を接続したコイルの上から、棒磁石のN極を下に向けてゆっくりとコイルに近づけると、検流計の針が+側に振れた。



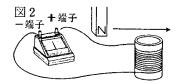
(1) 棒磁石がつくるN極付近の磁界のようすを、磁力線で正しく表したものはどれか。下のア〜エの中から1つ選びなさい。



(2) 実験装置を使い、同じ棒磁石をコイルの上から近づけたら、上の実験とは逆に 検流計の針は一側に、実験のときより大きく振れた。このとき、棒磁石をどのように操作したのか。

( ) [21.6]

(3) 実験装置をそのまま用いて、図2のように、 棒磁石のN極を下に向けてコイルの上を水平 に通過させると、検流計の針はどうなるか。 次のア~オから1つ選びなさい。



ア +側に振れる。

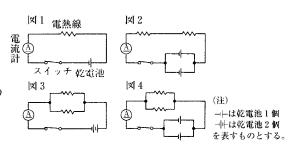
イ ー側に振れる。

ウ +側に振れたあと-側に振れる。

エ ー側に振れたあと+側に振れる。

オ 振れない。 ( ) [39.8]

【4】抵抗の大きさが等しい電熱線と、つねに一定の電圧 1.5Vを示す乾電池が数個ずつある。これらを使って図1~図4のような回路をつくり、流れる電流を測定したところ、図1の回路では250mAになった。これについて、次の問いに答えなさい。ただし、電熱線の抵抗は、温度によって変化しないものとする。



 (1) 図1のとき、電熱線の抵抗はいくらか。

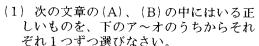
 単位をつけて答えなさい。
 ( ) [55.7]

(2) 電熱線1本あたりに流れる電流が、もっとも大きいのはどれか。次のア〜エから1つ選びなさい。

ア図1 イ図2 ウ図3 エ図4 ( ) [43.2]

(3) 電熱線1本あたりに流れる電流が、もっとも小さいのはどれか。次のア〜エから1つ選びなさい。

【5】右の図は、ある地震について、震源から 距離のちがらa~cの3地点にそれぞれ地 震計を置き、観測した記録である。





震源から遠くなるにつれて (A ) は長くなり、 (B

)は小さくなる。

ア 地震波の速度 イ 主要動の継続時間

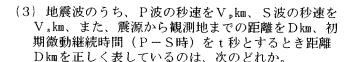
ウ 地盤沈下の速度

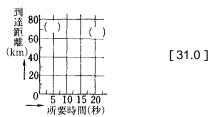
[A 86.4]

エ 初期微動の継続時間 オ 主要動の振動

[B 18.2]

(2) 遅い波(S) と速い波(P) について、それぞれの 到達距離と所要時間との関係をグラフで書き() の中にS・Pいずれかを記入しなさい。





$$\mathcal{T} D = \frac{V_{p} - V_{s}}{V_{p} \cdot V_{s}} t \qquad \mathcal{T} D = \frac{V_{p} + V_{s}}{V_{s} - V_{p}} t$$

$$\mathcal{T} D = \frac{V_{p} - V_{s}}{V_{s} + V_{s}} t \qquad \mathcal{T} D = \frac{V_{p} \cdot V_{s}}{V_{p} + V_{s}} t$$



(4) 地震が放出するエネルギーの大小にもっとも関係のあるものを、次のア〜エの うちから1つ選びなさい。

ア 初期微動の継続時間

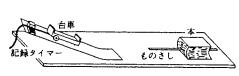
イ 主要動の継続時間

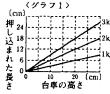
ウ 初期微動の振幅と継続時間 エ 主要動の振幅と継続時間

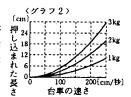
[63.6]

【6】図のように、斜面上にある高さから、台車を静かに放したところ、台車は厚い本に はさまれたものさしに衝突し、ものさしを押し込んで静止した。台車の高さと質量を それぞれ変えてこの実験をくりかえし、衝突直前の速さは記録タイマーで測定した。 結果はグラフ1、グラフ2のようになった。

あとの問いに、記号で答えなさい。







(1) 台車の高さを変えないで、質量を2倍にすると、ものさしが押し込まれる長さ は何倍になるか。

ア 1倍 イ 2 倍 ウ 3 倍 エ 4 倍 (

[81.8]

(2) 台車の速さと質量がともに2倍になると、運動エネルギーは何倍になるか。

ア 2 倍 イ 4 倍 ウ 8 倍 エ 16 倍

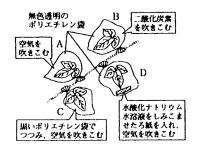
[29.5]

#### 調査票見本(B)および集計結果 資料2

(3) 台車の高さが10cmで、質量が4kgのときには、ものさしは何cm押し込ま	れるか。
--	------

ア 6 cm イ 9 cm ウ 12cm 工 15cm ) [78.4]

【7】緑色の葉をつけた鉢植えのアサガオを、 あらかじめ1昼夜ほど暗室に置き、右の図 のように4枚の葉にそれぞれ操作をしたポ リエチレンの袋をかぶせた後、数時間日光 にあてた。その後、それぞれの葉をつみと って熱湯につけ、さらに湯であたためたエ タノールに入れて脱色し、ヨウ素液に浸し た。この実験について、次の問いに答えな さい。



(1) アサガオを1昼夜ほど暗室に置いたのはなぜか。正しいものを次のア~エから 選びなさい。

ア 葉における呼吸をおさえるため

イ 葉の中のデンプンをふやすため

ウ 葉の中のデンプンをなくすため

エ 葉の中の葉緑体をなくすため ) [64.8]

(

(2) 4枚の葉のうち、ヨウ素液にもっともよく染まると考えられるのは、A~Dの どの葉か。

> [63.6] )

【8】次のうち、ホニュウ類であって、卵で生まれる動物はどれか。ア〜エから1つ選び、 その記号を書きなさい。

アカメ イペンギン ウクジラ エカモノハシ ( [67.0] )

【9】右の図は、セキツイ動物の発生を比較した ものである。この図より、魚類からホニュウ 類までの動物は、共通の祖先から進化してき たと推察できる。その理由を20字以内で述べ なさい。 (



ハチュウ類 鳥類 ホニュウ類

[52.3]

【10】右の図は、ヒトの肺、心臓、血管の関係を模式的に示した ものである。次の問いに答えなさい。	
(1) 肺胞へ血液を送り出している心臓の部屋を何というか。 その名称を書きなさい。 ( )	[ 33.0 ]
(2) 二酸化炭素を多く含んだ血液が流れている静脈はどれ D-{	[ 43.2 ]
(3) 血液の成分で、毛細血管 E からしみ出して組織液となるものは何か。その名称を書きなさい。( )	[36.4]
【11】右の図は、ヒトの脳の断面を示したものである。 次の問いに答えなさい。 (1) 図のBは何と呼ばれているか。ア〜エから選びなさい。	
D	[ 68.2 ]
(2) 読んだ本の内容を理解したり、記憶したりする中枢神経はどこにあるか。ア〜 エから選びなさい。	
ア 大脳 イ 中脳 ウ 小脳 エ 間脳 ( )	[ 56.8 ]
(3) 呼吸器・消化器・心臓などの働きを調節する中枢神経は、どこにあるか。図の 記号で示し、その名称も書きなさい。	
( ) [記号 [名称	23.9 ] 1.1 ]
【12】次の(1)~(3)の問いに答えなさい。 右の図は、アンザン岩をうすくすりへらして顕微鏡で観察し、スケッチしたものである。	
(1) この岩石は、どのようにしてできたと考えられるか。1つ選び なさい。	
ア マグマが、地下の深い所で、ゆっくり冷え固まってできた。 イ マグマが、地表またはその付近で、急速に冷え固まってできた。	
ウ 地下深くにある岩石が、強い圧力や高い熱をうけてできた。	[53.4]
(2) 図のAは、やや大きな黒っぽい鉱物の結晶である。この鉱物は何か。 ( )	[2.3]

#### 調査票見本(B)および集計結果

(3)	ふつう	、アンザ	ン岩と同じよ	うに、	はん晶と石基からなる斑状の組織をもった
岩	石は、	次のア~	エのどれか。	1つ選	選びなさい。

ア ゲンブ岩 イ センリョク岩 ウ セッカイ岩 エ 結晶片岩 ( ) [60.2]

- 【13】日の出前のある時刻に火星を探したところ、しし座の近く にみつけることができた。1か月後の同じ時刻に探すと、火 星は右の図のようにしし座に対して位置を変えていた。次の 問いに答えなさい。

(1) 星座の間を動いているように見える火星のような天体 を、一般に何というか。

(

[72.7]

(2) しし座のそれぞれの星は西へ動いたが、たがいの位置は変わらず、望遠鏡で見 ても点のように小さいままであった。このように見える理由を書きなさい。

(

[6.8]

(3) 次のア〜エの中から、火星としし座の星についていえるものを、2つずつ選び なさい。

火星(

火星 しし座の星

ア 一年後、天球のもとの位置にもどる。

[2つ正解 35.2 35.2] [1つ正解 53.4 55.7]

イ 自ら光を出さない。

ウ満ち欠けをする。

エ よくまたたいて見える。

) しし座の星( )

- 【14】右の図は、ある季節の代表的な天気図である。 次の問いに答えなさい。
  - (1) 季節はいつか。 (



[76.1]

(2) P地点(福岡)での気圧を書きなさい。 )

(

[48.9]

(3) 図から、次の日(18日)のP地点の天気は どのように変化すると予想されるか。

ア 寒さは残るが、くもりから次第に晴れてくる。

- イ 次第に気温が上がり、一日中雨が降り続く。
- ウ 晴れから次第にくもりになり、雨が降り始める。
- ) [ 63.6 ] エ 南風がふき、気温が上がり、はげしい雨となる。

## 英語

【1】下記の問いに答えなさい。	
① 次の語の下線の発音は $1[s]$ 、 $2[z]$ 、 $3[iz]$ のどれですか。( )に番	
号を書きなさい。	
(1) brothers ( ) (2) books ( ) (3) bags ( )	[74.7]
② 次の文の下線の語を正しい形になおして、( )内に書きなさい。	
(1) How many <u>child</u> are there in the room? ( )	
(2) We have two <u>church</u> in our town.	[84.9]
③ 次の文を、( )内の語を用いて、現在完了形に書き換えなさい。	
(1) Miss Lovelace goes home. (already)	[56.3]
(2) They arrive in Tokyo, (just)	
④ 次の文の に、be動詞を適当な形にして記入しなさい。	
(1) My father sick since last Monday.	[38.6]
(2) Please come and see me when you free.	
【2】次の文の意味を日本語で書きなさい。	
[2] ハツスツ心外では今明で自己なです。	
(1) Mr. and Mrs. March made their daughter a pianist.	[47.3]
(2) Please don't call me "Shorty."	[60.2]
(3) The story made me sad,	[74.2]
(b) The Story made he sad,	
(4) You must keep your room clean.	[74.2]
(5) Playing tennis makes me happy,	[74.2]
【3】次の文章を読んで、(1)~(4)の問いに答えなさい。	
W. J	
Helen is an AET from America. Akiko meets her on the way to school. They talk while they walk to school together.	
Helen: How was your summer vacation, Akiko?	
Akiko: 0h, I had a very good experience. I did volunteer work with my	
friends. We visited the homes for old people in our city.	
Helen:Oh, really? That's good. What did you do there?	

Akiko: Well, we helped some of the old people to take a walk in the garden.  We helped some of them to eat lunch, too. It was not easy for them  Oto do those things without any help.  Helen: That's true. What else did you do?  Akiko: Some of them made otedamas for us and we played with them together.  At the end of our visit, we all sang old Japanese songs together.  They looked very happy. They wanted us to come again. We should try	
to visit homes for old people more often. Helen:That's right. I also did volunteer work when I was a high school	
student.	
Akiko: What kind of volunteer work did you do?  Helen: I went camping with some children and taught them how to live in nature. We made a fire and we cooked dinner. I also took them to the beach and we cleaned it. There were a lot of papers and cans.  Through ②these experiences, they learned the importance of nature and working together.	
<ul><li>(注) while~~している間 experience体験 elseほかに otedamasお手玉(小さい布の袋にあずきなどを入れたおもちゃ) went campingキャンプに行った nature自然 fire火 beach浜辺 cans缶 through~~を通して</li></ul>	
(1) 下線部①は、どんなことを表していますか。日本語で書きなさい。 [ [	[ 42.3 ]
(2) 本文の内容に関する次の質問 1)、2)に、英語で答えなさい。答えは( )の中に英語を一語ずつ書きなさい。 質問 1): Did Helen go to the home for old people during the summer vacation with Akiko? 答え 1): ( ),( )( ).	[41.1]
質問 2): What did some of the old people make for Akiko and her friends? 答え 2): ( ) ( ) for Akiko and her friends.	
(3) 本文の内容と合うものを、次のア〜エの中から1つ選び、その記号に○をつけなさい。	
ア The old people just listened to the songs and didn't sing with Akiko and her friends.  イ The old people wanted Akiko and her friends to visit them again. ウ Helen didn't do volunteer work when she was in high school in America. エ Akiko cleaned the beach with her friends.	[ 26.9 ]
(4) 下線部②は、どんなことを表していますか。日本語で書きなさい。	[ 38.5 ]

[34.8]

#### 資料2 調査票見本(B)および集計結果

#### 【4】次の英文を読んで、(1)~(4)の問いに答えなさい。

Susan Hall and her mother and father were having breakfast, Mr. Hall was going to open his new fruit store on Main Street that day.

Mr. Hall looked at his watch. "It's time for me to go to my new store. ①I must not be late on my first day."

"When will you take me to see your new store, Father?" asked Susan.
"Not today, Susan," said Mr. Hall. @ "I'm too busy to take you today. I have a lot of things to do. I will take you some day when I am not so busy."
Then he said good-by and went out,

One morning a few days later Mr. Hall said to Susan, "You want to see my new store, () ( ) ?"

"Oh, yes, Father!" cried Susan. "I want to see your new store today. Are you going, Mother?"

Mrs. Hall was taking the breakfast dishes off the table. @ "Not today," she said. "Today is your day to go."

<u>Susan ran upstairs to get ready</u>. Five minutes later she came down. Mr. Hall was waiting for Susan at the door.

(1) 下線①②⑤の文を日本語になおしなさい。

1	
2	[ 36.9 ]
(5)	
(2) ③の ( ) に入れる正しいものを(a) ~ (e) の中から1つ選び、その記号 を○でかこみなさい。	
(a) isn't it (b) aren't you (c) can't you (d) don't you (e) won't you	[ 39.9 ]
(3) ④の Not today と同じ意味の文を(a)~(e)の中から1つ選び、その記号を○ でかこみなさい。	
<ul> <li>(a) I cannot take you today.</li> <li>(b) He cannot take you today.</li> <li>(c) I am not going today.</li> <li>(d) You are not going today.</li> <li>(e) He is not going today</li> </ul>	[ 44.6 ]
(4) 本文の内容に合うものを $(a)\sim (e)$ の中から $1$ つ選び、その記号を $\bigcirc$ でかこみなさい。	
(a) Mr. Hall was going to buy some fruit after breakfast.	
(b) Mrs. Hall took Susan to the new store on Main Street.	

(c) Susan went to see the new store with her mother.(d) Susan asked her mother to take her to the new store.

(e) Susan wanted to see the new store.

【5】次の Betty と Masao の会話から判断するとき、図書館は地図中のア〜エのどれに あたりますか。

Betty and Masao are standing in front of the flower shop.

Betty: Will you tell me how to get to the library, Masao?

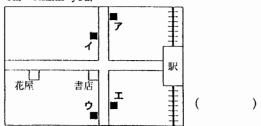
Masao :Sure. You can see the station over there. Go along this street, and you will see a bookstore on the corner.

Betty : I see.

Masao :Turn to the right there and go straight. Soon you will find the

library on your left.

Betty : OK. Thank you.



[53.2]

【6】次の英文中の下線部① <u>one</u>、 下線部② <u>that</u> がそれぞれ表す内容としてもっとも 適当なものをア〜エから選びなさい。

Kate said to Mariko. "Last Saturday I was glad that a salesclerk at a bookstore asked me if I needed a bookcover. I said that I didn't need <u>Oone</u>." Mariko said, "My mother goes to stores with her shopping bag and many salesclerks are very happy with <u>Othat</u>."

- [注] salesclerk 店員 ask~if…~に…かどうかと尋ねる
- ① ア a bookcover イ a book ウ a shopping bag エ a newspaper [49.4]
- ② ア ケイトが先週の土曜日に書店へ行ったこと イ 真理子の母が、自分の買い物袋を持って店へ来ること ウ 店員がブックカバーは必要かどうか尋ねてくれること エ 真理子が、ビニールの買い物袋は必要でないと言ったこと [42.9]

[5] 次の文章を読んで、 あとの間 いに答えなさ

うして皮をこちこちに凍らせてしまったことが二、<br />
三度あった たものの、それを土間にそろえておくのは少々心配だった。こ みぞれにぬれて水を吸った山ぐつに、 新聞紙をつめてはおい (I)

心づもりに首を横に振るのだった。 けと、どてらの前を何度もかき合わせながら私の夜道をあるく その声で目をさましたこの家の主が、何がなんでも泊まっていうところまで来ると、私のあかりを犬が見つけて激しくほえ、 るき続けるつもりになっていた。もうここが最後の部落だとい 私はその晩、あかりをつけて、 どこまで行くことになるかあ 

ろにあぐらを(d)かいた。 いさつを(b)すませると、 のには、そう骨は折れなかった。そして、Cほどほどに Aよけいな親切を、 頭の中でありがたい親切にB切り替える (c)すすめられるままに炉端のむし (a)あ

D 主 は、 までに登った近くの山の名を三つ四つあげた。その中にはもら んは、 燃え移る。煙は私の右肩をかすめ、自在に低くかけられたやかくだの火が明るく燃えあがり、その火が太く割ったたきぎに まっ黒にすすけて、方々にくぼみができていた。……④ この辺の山をよく知っているのかと尋ねた。 私はこれ

に光っている。 いくらか目がなれてくると、大きなのこぎりが、 兀 十年前の山旅もはいっていた。 私の着ているものからはしきりに湯気がたつ。 主はきこりであった。 暗い部屋にも それだけ板壁

土間=家の中の床のない地面のままの所。 そだ=切り取った木の枝で、たきぎなどにするもの 炉端=いろりのそば どてら=ゆったり仕立てた綿を入れた着物

自在=やかんやなべをいろりの上からつり下げる自在かぎのこと。

(2)(3)(1)( )までの中でもっとも適当なものの記号を書きなさい。]Cは、直接には下のどのことばにカカそぇ なさい。 以内で書きなさい。 B は、 Aにおいて、なぜ「よけいな」といっているのか。 だれが 「切り替える」のか。 (句読点を含む) 本文中のことばで書き」 五十字 [60.2 [27.3]

効果を高めるために、先に書いている段落はどれか。 時間の順序にしたがえばあとになるはずのものを、 番 号 で [ 37.5 ] 表現の

(4)

答えなさい。

(6)(5)デ〜エの中からもっとも適当なものを選んで、記号で答えな】筆者はこの文章において、何を述へよ^^。 段落にあるか。番号で答えなさい。

ようとしている。 筆者の体験を述べて、 冬山の危険なことを読者に知らせ

イ 「情けは人のためならず」ということわざに相当するこ とを、 例をあげて示そうとしている。

ウ 他人の親切はすなおに受けるべきだと教えている。 山旅の途中できこりから受けた親切を思い返している。

114

へに エ やうやく	なものを、次から一つ選んで、その記号を書きなさい。2 文章中のB ̄ ̄ ̄の中に入れることばとしてもっとも適当	ウ かりそめに エ やすらかに ( ) 23.9 ア いたづらに イ ねんごろに	なものを、次から一つ選んで、その記号を書きなさい。  (注4)すなわち=すぐに (注5)膳をあげ=食事をすませて (注4)すなわち=すぐに (注5)膳をあげ=食事をすませて	(注2) 大つごらの事ではそれで、(注3) 大つごらの事ではなる者。並はずれて何かと縁起をかつぐ者とあらする。」と言うた。 と言うた。 かいとま申座敷を立ちざまに、「③さらば福の神でござある。おいとま申 正記 が でいまし、 (注5) 膳をあげ、 (注5) 膳をあげ、	思ひ、つくづく思案しゐて、宵に教へし福の神をうち忘れ、Bり、亭主②顔のさまあしくて、さらに物言はず。与次郎不審に誰そ。」と問ふ。「いや、与次郎。」と答ふる。門をあけてよに起きて、門に待ちゐけり。案のごとく戸をたたく。「誰そ、───言ひ含めてのち、亭主は心にかけ、①鷄の鳴くと同じやうと答へよ。(注4)すなわち戸をあけて呼び入れん。」と、A ̄	たけ。内より『誰そや。』と問ふとき、『福の神にてさうらふ。』(注3)とく宿に帰りて休み、あすは早々起きて来たり、門をたに、(注2)大つごもりの晩言ひ教へけるは、「今宵はつねより(注1)けしからず物ごとに祝ふ者ありて、与次郎といふ下男4)次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。
エ きげんをなおして下男をほめた。 ( )28.4 ) やれやれよかったと安心した。 ( )28.4 ]7 下男にふきげんな顔を見せたことを反省した。	ア ますますきげんが悪くなった。	ない。 次からもっとも適当なものを一つ選んで、その記号を書きな(6) この話の直後、亭主の様子はどうであったと想像されるか。	さあ、福の神のお通さて、わたくしは福	ア さて、畐の呻が卸着座こなります。(いものを、次から一つ選んで、その記号を書きなさい。(5)文章中の③さらば福の神でござある。の口語訳として正し))	エ 門をあけても、下男がすぐにはいってこなかったから ア男の答えようが悪かったから イ 亭主に「誰そ、誰そ。」と二回言わせたから 3.7 亭主を待たせたから	さい。  (3) 文章中の①鶏の鳴くと同じやうには、どういうことをたと (3) 文章中の①鶏の鳴くと同じやうには、どういうことをたと (5) (1) (2) (3) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7

[3] 心するのだ。 生かして、彼らは人間を成就の彼岸にもってゆかねばならないるのだ。人間はDそうつくられているのだ。このつくられ方を(3)苦しいところを何度も通って生きぬいてきた人生を賛美すた動物になったであろう。ぼくは今の人間で満足し、苦しいが、ことでは子供を育てること(d)ず、今の人間とはまるでちがっことでは子供を育てること(d)ず、今の人間とはまるでちがっまた自分が死んでも、そう苦しみも(c)ず、悲しみもしなかっまだは分が死んでも、ましむことを(a)ず、病気しても(b)ず、も親はけろりとして、悲しむことを(a)ず、病気しても(b)ず、 の 生 か し また自分が死んでも、そう苦しみも(c)ず、悲しみもしなかっも親はけろりとして、悲しむことを(a)ず、病気しても(b)ず、たら、人間はもっと気楽に生きられるものと思う。(2)随分の愛情や悲しみがもっとあっさりにしかつくることができなかの愛情や悲しみがもっとあっさりにしかつくることができなかのでいまえのこととは思えない。たいしたことに思える。人間あたりまえのことに思うかと思うが、ぼくにはこれは人々はあたりまえのことに思うかと思うが、ぼくには てるお本 (1)きるように人間をつくることができたのかと。 するのだ。どうしてそんなに深い愛情を起こされることがでなにまで子供を愛させるように親をつくった生命にぼくは感この悲しみの深さは、愛の深さを語っているのだ。そしてそ つ選んで記号を○でかこみなさい。で入れるのがもっとも適当か。あと。 (1) < (3) の中には、次の a < a 次の文章を読 (組み合わせ) d そのかわり(語) a それだけ かないと子供は育たないからだ。 能が強いようにBつくられている。 一人前になるまでに長い年月を要するものは子供を愛すそうつくられているからにすぎないのだ。他の動物でも子供に死なれては親はたまらないだろう。(1)それは人 a b c  $\begin{array}{c} e \\ c \\ a \end{array}$ ん で、 カイ あ との問 c d a Ç b e ė だからて b a e Ø いに答えなさ あとの組み合わせの中からa~eの、どの語を、どの順 キウ b e d a d c その親愛を強くつくっ  $\mathbf{c}$ L か ェ d Ç b 一序 [52.3] (6)(5)(2) (4)(3)ゥ (組み合わせ 当なの どの順序で入れるともっとも正しい文章になるか。 語 かこみなさい。 つくられるのか。文中の語を抜き出して答えなさい 5 1 み合わせから一つ選んで記号を○でかこみなさい。 文中の (a) ~ はどれか。 生きている人間はいつ死ぬかわからない 子供を愛する本能が強いように 供に死なれ 心配せ 2-3-1-6 3-5-1-6 せ 線Cの 線D「そう」があらわすものを書きなさい。 は次の 文中から一つ抜き出して答えなさい ア〜ウの中のどれか。 「鈍い」と同じような意味で使われ ては親はたまらない  $\frac{\widehat{\mathbf{d}}}{\mathcal{O}}$ 線Bに「つくられている」とあるが 線Aの「そう」の内容として、 6 2 でき 行 か 中には、 オ イ 6-2-4-5 1-5-3-4 次の 3 知 ように 一つ選んで記号を○で b ウ ように 4 4-2-6-1 どの語 もっとも適 7 あとの ・る単 を 何 が [5.0] [34.1] [51.1] [26.1] [29.5]

❸ このバナナはかなり引れている (	♡ 前言をデッ回する (	19 土ジョウの成分を分析する (	⑤ 考えをヒルガエす (	① 国体選手にスイセンされる (	19 人の親切でキュウチから脱出できた (	取コッキシンを養う	⊕ 駅の近くに店をカマえる (	⑩ 正しい食事のサホウを身につける (	⑨ 入会をススめる (	⑧ もてる力を遺憾なく発揮した (	⑦ 清廉潔白な人柄 (	⑥全国制覇をなした(	⑤ 物価は需要供給に関係する (	④ 注釈を読んで確かめる (	③ 目上の人を敬う	②あたりは静寂に包まれた(	① 地震に備えて食料を蓄える (		【さい。 1 次の ̄ ̄ ̄の漢字は読み仮名をつけ、カタヤ		国語 ① [9 ② [9 ③ [8 ⑥ [9 ⑦ [5 ⑥ [9 ⑥ [6] ⑥ [6] ⑥ [6]	3.2 ] 4.1 ] 1.6 ] 3.2 ] 7.7 ] 8.0 ] 4.1 ] 9.8 ] 8.2 ] 8.6 ] 0.2 ]	
· · ·	<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>	<b>→</b>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>		カタカナは漢字にしな	(	13 [ 23 14 [ 13 15 [ 10 16 [ 20 17 [ 38	8.2 ] 0.2 ] 6.1 ]	
③ 人はいさ心も知らずふるさとは花ぞ昔の香ににほひける ]		日りの行うせんできます。	② 田見の甫うら出ででみれば真白こそ ( ) ( ) ( )	① 東の野に炎の立つ見えてかへりみすれば月傾きぬ 4]	(ジの気部の代表名を書きたる)		① (1.8] (2) (2) (5).5]	ねい】	先生に予定をうかがっ	① お客様がいらっしゃった。	のか、【】の中から選	2 次の①、②の文中の ̄ ̄ ̄の部分はどの言い方に当たる			③ 雨がはげしく窓をたたいている。	オースオースススススススススススススススススススススススススススススススススス	② ひまわりの種をためした あちこちだまいてみた。	① 遠い野中の道をゆっくりと歩いていく。	抜き書きしなさい	【1)次の ̄ ̄ ̄の部分はどの語を修飾しているか。被修修	⑱ 2 次の問いに答えなさい。 アイウ [5.		

### 模範解答

#### 〈国語〉

- 【1】① たくわ(える) ② せいじゃく ③ うやま(う) ④ ちゅうしゃく
  - ⑤ じゅようきょうきゅう ⑥ ぜんこくせいは ⑦ せいれんけっぱく ⑧ いかん
  - ⑨ 勧(める) ⑩ 作法 ⑪ 構(える) ⑫ 克己心 ⑬ 窮地 ⑭ 推薦 ⑮ 翻(す)
  - (16) (土) 壌 (17) 撤(回) (18) 熟(れている)
- 【2】(1) ア 道 イ 歩いていく ウ まいてみた エ まいてみた オ たたいている
  - (2) ① 尊敬 ② 謙譲 (3) ① 柿本人麻呂 ② 山部赤人 ③ 紀貫之
- 【3】(1) イ (2) イ (3) 生命 (4) 間ぬけな (5) エ
  - (6) 苦しいところを何度も通って生き抜くこと
- 【4】(1) イ (2) エ (3) 朝の早いこと (4) ウ (5) イ (6) ア
- 【5】(1) 私は夜道を歩き続けるつもりになっていたのに、主が無理に泊まっていけと 言って止めたから (2) 私 (3) b (4) ① (5) ② (6) エ

#### 〈数学〉

- [1] (1) 3 (2) 20 (3) (x-y-2)(x+y+2) (4) 9 (5)  $6\sqrt{6}$  (6)  $\frac{4}{3}\pi r^3$  (7)  $x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 4 a c}}{2 a}$  (8)  $c^2 = a^2 + b^2$
- [2] (1) 18 g (2) x + y = 300, 0.04 x + 0.07 y = 18 (3) x = 100, y = 200
- 【3】 116人
- 【4】 15通り
- 【5】(1) x<sup>2</sup>-22x+96=0 (2) 縦6cm、横4cm
- 【6】(1) DG:GB=EG:GC=1:2, ∠EGD=∠CGB, よって△GDE∞△GBC (2辺の比とはさむ角)
  - (2) 1:4 (3) 3 cm<sup>2</sup> (4) 20°
- [7] (1) (0, 12) (2) (a = 2)
- [8] 16cm<sup>2</sup>
- [9] (1)  $(\frac{4}{3}, \frac{8}{9})$  (2) y = -x + 4

#### 〈社会〉

- 【1】A 髙知 B 上越(高田) C 東京 D 釧路
- [2] A (N) B (E) C (S) D (W)
- 【3】(1)酸性雨=イ,熱帯雨林の破壊=ウ,砂漠化=ア (2)ア (3)エ (4)課題:人口増加の問題説明:第3世界を中心に急激に人口が増加している問題(5)ア
- [4] C
- 【5】 1. 秦の始皇帝が中国を統一する 2. 西ローマ帝国が滅びる
  - 3. モンゴルのチンギス=ハンが即位する 4. コロンブスがアメリカに着く
  - 5. フランス革命がおこる 6. クリミヤ戦争がおこる
  - 7. 中国で辛亥革命が成功する 8. ドイツでナチスが政権を手に入れる
- 【6】(1)名称:直接請求権 法律:地方自治法 (2) ウ (3) b
  - (4) 住民の意思が政治に反映されやすいように

- 【7】(1) A:立法 B:弾劾 (2) ウ (3) ア,カ (4) イ,エ,オ,キ
  - (5) 解散 (6) 国政調査権

#### 〈理科〉

- 【1】(1) CO<sub>2</sub> (2) 水 (3) イ
- [2] (1) C (2) A, C (3) r:D : A:B : D:C : A
- 【3】(1) エ (2) S極を下にして、実験より早く近づけた (3) ウ
- [4] (1) 6 $\Omega$  (2)  $\dot{\mathcal{P}}$  (3)  $\dot{\mathcal{T}}$
- 【5】(1) A:エ B:イ
- (2) (2) (2) (2) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (10) (
- (3) ウ (4) エ
- 【6】(1) イ (2) ウ (3) ウ
- 【7】(1) ウ (2) B
- 【8】エ
- 【9】 発生の初期がみな形がよく似ているから
- 【10】(1) 右心室 (2) D (3) 血しょう
- 【11】(1) ウ (2) ア (3)記号: C 名称:延髄
- 【12】(1) イ (2) キ石 (3) ア
- 【13】(1) 惑星 (2) 火星に比べて非常に遠い距離にあるから
  - (3) 火星: イ, ウ しし座の星: ア, エ
- 【14】(1) 冬 (2) 1028hpa (3) ア

#### 〈英語〉

- [1]  $\bigcirc$  (1) 2 (2) 1 (3) 2  $\bigcirc$  (1) children (2) churches
  - (3) (1) Miss Lavelace has already gone home.
    - (2) They have just arrived in Tokyo.
  - (4)(1) has been (2) are
- 【2】(1) マーチ夫妻は娘をピアニストにしました。
  - (2) 私を「ショーティ」と呼ばないでください。
  - (3) その話が私を悲しませた。
  - (4) あなたはあなたの部屋をきれいにしておかなければならない。
  - (5) テニスをすることは、私を幸せにする。(テニスをすると楽しくなる。)
- 【3】(1) 庭を散歩することや食事をとること (2)1) (No), (she) (didn't).
  - 2) (They) (made) (otedamas) for Akiko and her friends. (3) 1
  - (4) キャンプに行き、火をおこしたことや夕食を作ったこと。 また、浜辺に行き、浜辺を掃除したこと。
- 【4】(1)① 私は最初の日に遅れてはならない
  - ② 忙しすぎて、今日はあなたを連れていけない
  - ⑤ スーザンは用意をしに2階にかけ上がった
  - (2) d (3) c (4) e
- [5] I
- [6] ①ア②イ

この調査票の問題の一部は下記より引用しております。

- 『正答率50%以上の入試問題』株式会社旺文社
- 『5科実力テスト 中3』富士教育出版社
- 『5科集中 中2』株式会社教学研究社
- 『社会の完成』教育書籍株式会社

数学【8】【9】(埼玉)

社会【3】(埼玉)【6】(佐賀改・埼玉・沖縄・大分改)【7】(愛媛・宮崎改)

理科【1】(長崎)【2】(鳥取)【6】(神奈川)【7】(京都)【9】(岩手)

【10】(北海道)【11】(徳島)【13】(長野)【14】(福岡)

英語【6】(京都)